

樺太殖民地撰定報文



本  
上  
八  
日

# 樺太殖民地撰定報文

17-27

三二七、力行二

庫	文	開	内
函	一	三一九	和
架	冊	號	書

611  
3109  
152



例

本書は二十六年ヨリ四十二年マテ五箇年間邦領樺太ニ於ケル殖民地撰定調査事業ノ結果ヲ編輯セシモノニシテ其目的ハ殖民ニ適スル土地ノ狀況ヲ絞シ農牧專業企畫ノ参考ニ資セントスルニ在リ

且其調査數年ニ互リ交通市場其他ノ事情ニ多少變遷アルノミナラス地名ノ如キモ漸次改正セラレタルヲ以テ調査當時ノ狀態ト最近ノ事實トヲ比較参照シテ取捨補正シ勸メテ實地ニ適合センコトヲ期セリ

一 本書ニハ調査セシ一地域ノ面積狹少ナル所ハ原野ト稱セスシテ單ニ何々撰定地トシ數地名間ニ跨ルモノハ何々間原野若クハ撰定地トシタリ

一 參照ニ資スル爲本書記事ニ關係アル本島山野ニ自生セル普通植物ノ解説、島内各地ニ於ケル氣象表及重要農作物播種收穫期及收穫量ヲ附録トシテ卷末ニ載セタリ

凡例

和三一〇九  
號

凡例

一本書總敘ニ於ケル地理、地勢、地質、氣候、動植物等ノ各事項ハ本廳刊行ノ樺太要覽樺太鑛産調査概報樺太植物調査概報等ヲ參照編輯シテ、  
 一本書掲ケル處ノ實地調査ハ三十八年ニハ事務囑託小室太右衛門同辻井常次郎同石井謙吾同江尻多門三十九年ニハ事務囑託古林芳三郎同小室太右衛門同辻井常次郎同辻井常次郎四十年ニハ事務囑託小室太右衛門四十年及四十二年ニハ技手小室太右衛門同守谷民治等編纂ニハ技手細田成吾之ニ從事シ調査編纂ニ關シテハ技師折内壬五郎終始之ヲ監督ノ任ニ當レリ

明治四十三年一月

樺太廳 第二部

樺太殖民地撰定報文

目次

樺太殖民地撰定一覽圖

第一章 總敘

第一節 本島狀況一斑

第二節 殖民地撰定事業ノ經過

第三節 留多加三原野殖民地撰定圖

第二章 中央凹地帶

第一節 留多加原野

第二節 鈴谷原野

第三節 内淵原野

ウリウリ間殖民地撰定圖

第三章 ウリウリ間

目次

三五



第一節 ドロ原野……………三七

第二節 トマリオンナイ撰定地……………三八

第三節 トイクシ撰定地……………三八

第四節 オーホイ撰定地……………三九

第五節 ナイチヤ原野……………三九

第六節 モゴチ原野……………四〇

第七節 チシヤ撰定地……………四一

第八節 チモトナイ原野……………四一

第四章 西能登呂 真岡間……………四三

第一節 ペシトマナイ撰定地……………四七

第二節 ソーニ撰定地……………四七

第三節 エルイ撰定地……………四八

第四節 トクスナイ撰定地……………四八

第五節 カルバシモナイ撰定地……………四八

第六節 アトツタンナイ撰定地……………四八

第七節 ヤロマナイ撰定地……………四九

第八節 キトウシナイ撰定地……………四九

第九節 南ナヤシ原野……………五〇

第十節 モシラルシナイ撰定地……………五一

第十一節 シラルシナイ撰定地……………五一

第十二節 ナイイホロ ンシヨネコロ間原野……………五二

第十三節 トコンボ原野……………五五

第十四節 トーブン原野……………五六

第十五節 オコー原野……………五七

第十六節 アウンナイ撰定地……………五八

第十七節 タラントマリ撰定地……………五八

第十八節 ヒロチ オハトマリ間原野……………五九

第五章 旗 クシムンナイ 岡間……………六三

第一節 テイヤ撰定地……………六六



第二節	アラクワイ撰定地	六七
第三節	ウエントマリ撰定地	六八
第四節	ボロトマリ撰定地	六八
第五節	トンナイケン原野	六八
第六節	トコタン原野	七〇
第七節	ノトロ原野	七一
第八節	トイブツ撰定地	七三
第九節	ノタサン原野	七四
第十節	トマリオロ原野	七五
第十一節	ナイカロ原野	七七
クシエンナイロ原野		
境間殖民地撰定圖 (其一、其二)		
第六章 境間		
第一節	フンモオマナイボ原野	八一
第二節	ルウクシナイ原野	八四
第三節	オタシユ原野	八七
		八八

第四節	チンナイ原野	八九
第五節	ライチシカ原野	九〇
第六節	コタントル原野	九二
第七節	イチヤラ撰定地	九三
第八節	エントクスナイ原野	九三
第九節	ナイコトル原野	九四
第十節	フロチ原野	九五
第十一節	ボロケシ原野	九六
第十二節	エストル原野	九六
第十三節	チオナイ撰定地	九七
第十四節	モロロチ撰定地	九八
第十五節	ボンナヤシ原野	九八
第十六節	北名好原野	九九
第十七節	サクコタン撰定地	一〇〇
第十八節	ヨッキナイ撰定地	一〇一

チハサニ間殖民地撰定圖

ルツタカ川上流沿岸原野殖民地撰定圖

第七章

チハサニ間及ルツタカ川上流沿岸

第一節 チベサニ原野

第二節 アラクリ原野

第三節 トーブツ原野

第四節 コチヨベツ撰定地

第五節 ナイオンナイ撰定地

第六節 フレツマ原野

第七節 小ヤマソベツ撰定地

第八節 大ヤマソベツ原野

第九節 メナベツ原野

第十節 トーボロ原野

第十一節 オチヨボカ原野

第十二節 ロレー原野

第十三節 キムナイ原野  
第十四節 ルツタカ川上流原野

チハサニ間殖民地撰定圖 (其一、其二)

第八章 アイ、敷香間

第一節 アイ原野

第二節 イタタクスナイ撰定地

第三節 オタサン撰定地

第四節 ボロナイ撰定地

第五節 マヌイ原野

第六節 チカボロナイ原野

第七節 マカボロナイ間撰定地

第八節 カシボ撰定地

第九節 ウエンコタン原野

第十節 シルトル撰定地

第十一節 サクコタン撰定地

第十二節 ボンコタントル撰定地

第十三節 ニートイ原野

第十四節 コタンケン原野

第十五節 ナヨロ原野

附録

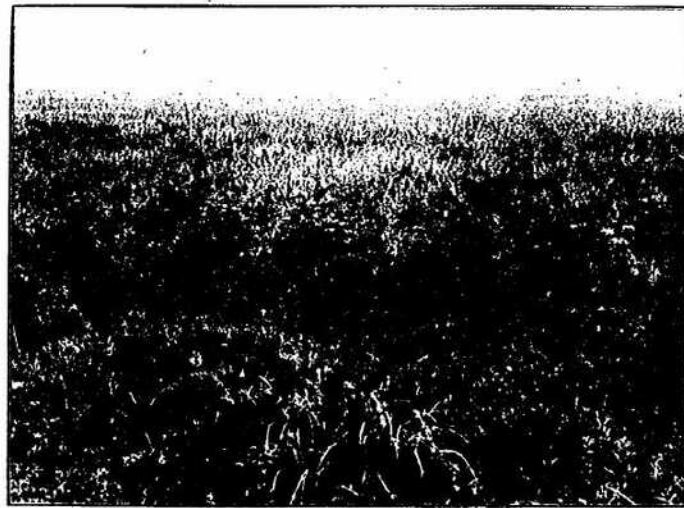
樺太野生植物

平均氣温表

重要農作物播種收穫期節及收量表



地原草ニ於ケル馬力新墾ノ状況



中央凹地ニ於ケル地原草



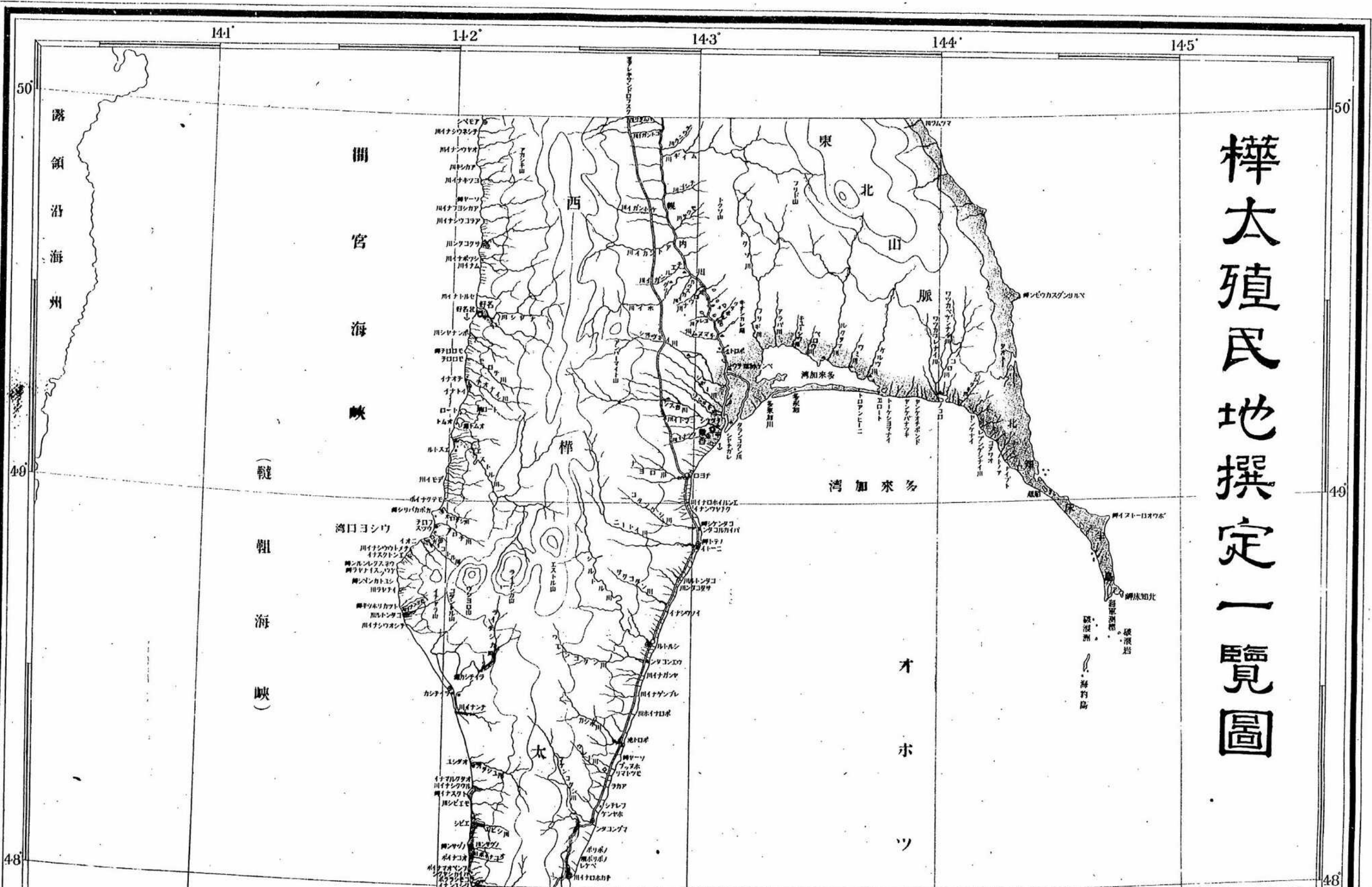


況狀ノ茂繁木草ルケ於ニ地定撰民殖



落部村農ルケ於ニ野原谷鈴





樺太殖民地撰定一覽圖

隣領沿海州

開官海峡

靛靛海峡

オホツ

48

48

47

47

46

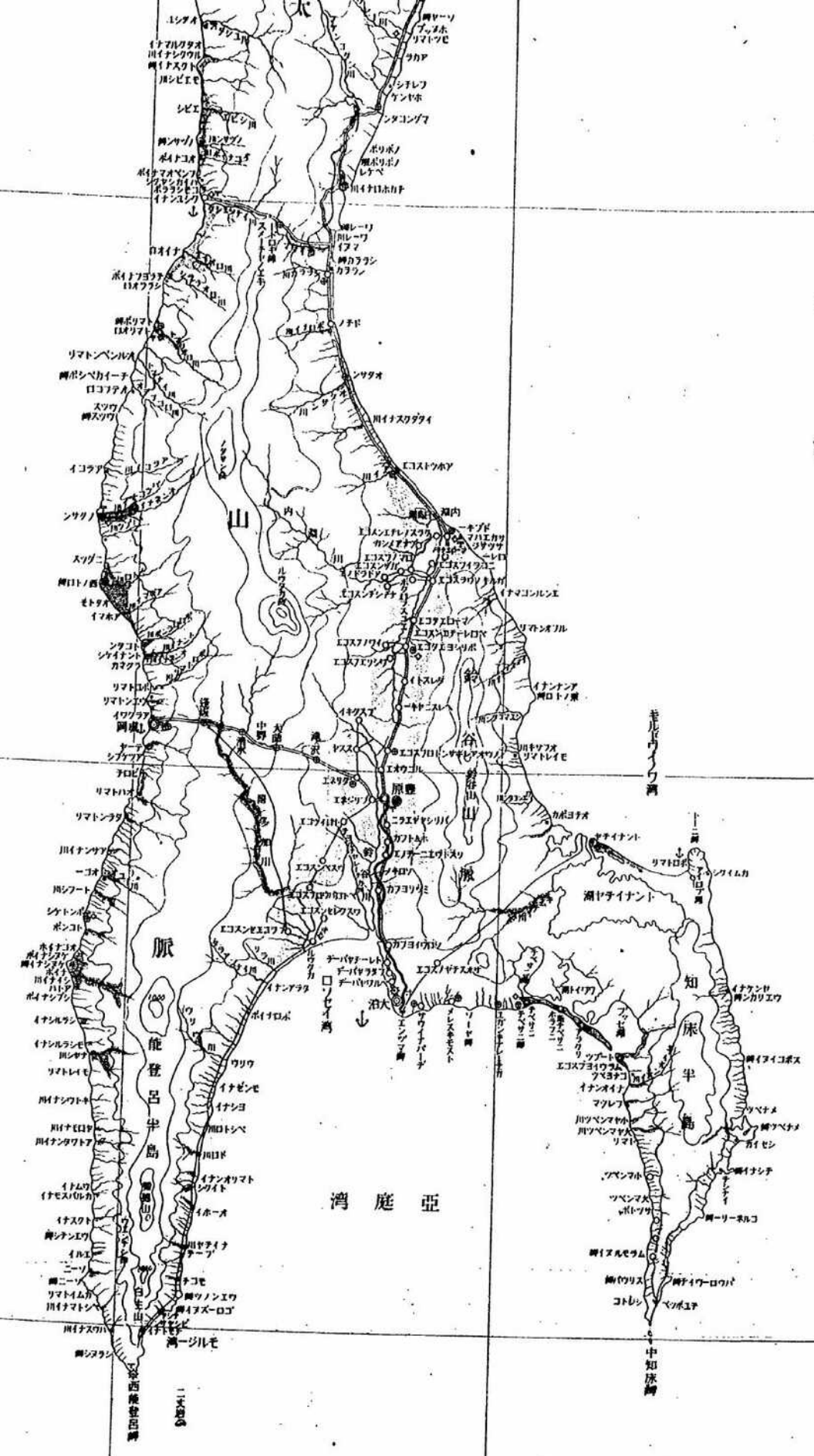
46

水  
ツ  
ク  
海

日  
本

海

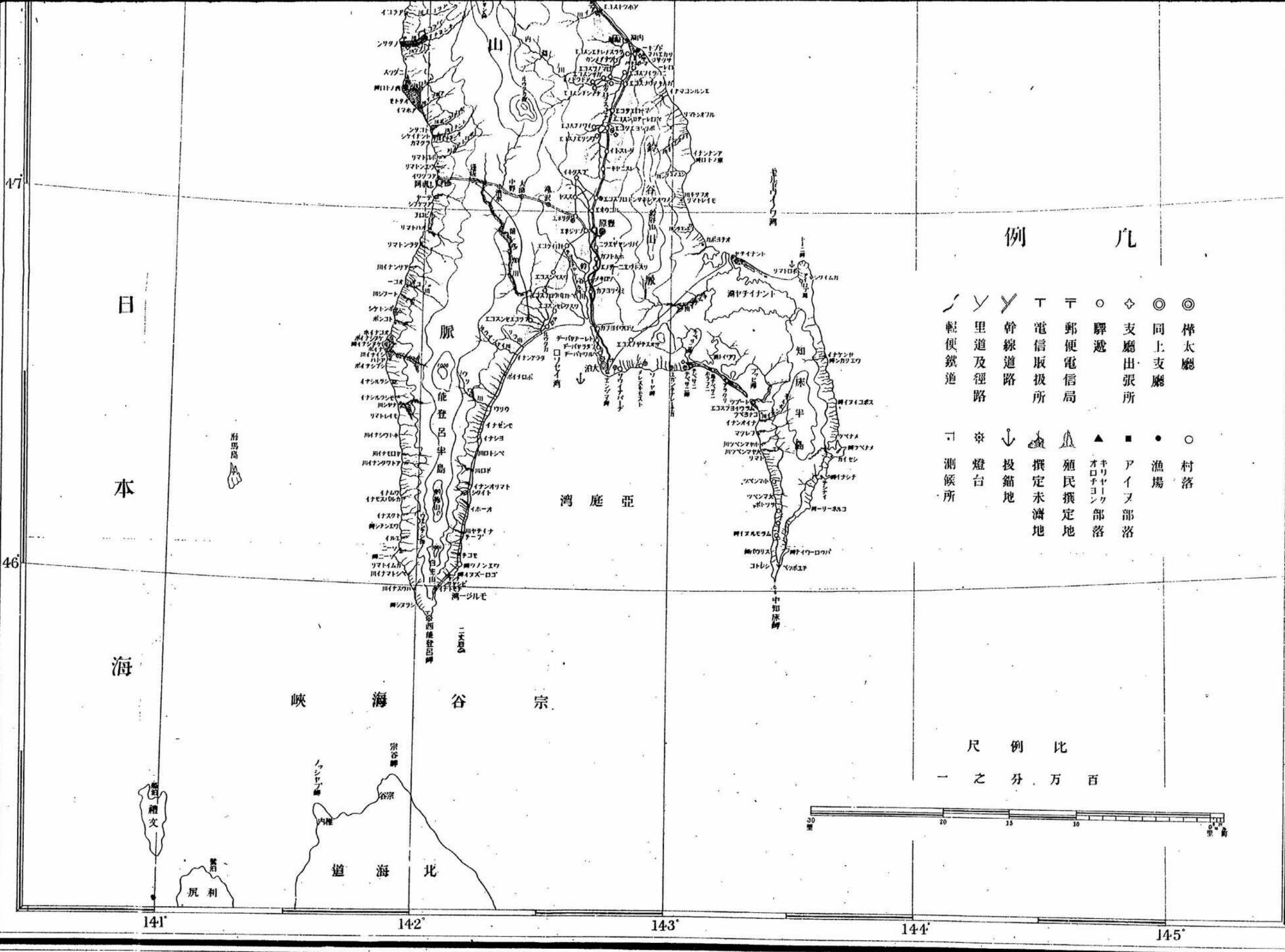
宗 谷 海 峽



例 凡

- ◎ 樺太廳
- ◎ 同上支廳
- ◇ 支廳出張所
- 驛遞
- 〒 郵便電信局
- 丁 電信取扱所
- ▽ 幹線道路
- ∟ 里道及徑路
- 〃 輕便鐵道
- 村落
- 漁場
- アイヌ部落
- ▲ キリヤーク部落
- ▲ オロチヨク部落
- ▲ 殖民撰定地
- ▲ 撰定未済地
- ↓ 投錨地
- ⊙ 燈台
- ⊙ 測候所





凡 例

- ◎ 樺太廳
- ◎ 同上支廳
- ◇ 支廳出張所
- 驛遞
- 〒 郵便電信局
- 丁 電信取扱所
- Y 幹線道路
- Y 里道及徑路
- ノ 輕便鐵道
- 村落
- 漁場
- アイヌ部落
- ▲ オロチヨク部落
- ▲ 殖民撰定地
- ▲ 撰定未済地
- ↓ 投箱地
- ※ 燈台
- 測候所

尺 例 比

一 之 分 万 百

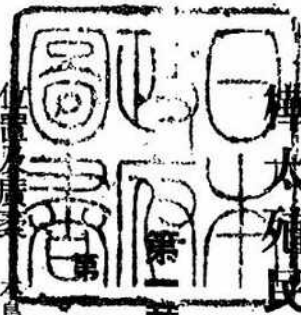




# 樺太殖民地撰定報文

## 第一章 總敘

### 節 本島狀況一斑



本島ハ北日本ノ北部ヲ占メ「オホーツク」海ノ西隅ニ位シテ長ク南北ニ横ハリ最狹部  
 四海里ノ間宮海峡ヲ隔テテ露領沿海州ニ面シ南ハ宗谷海峡ヲ挟ミテ北海道本島ノ宗谷岬ト相對シ其間  
 僅ニ二十餘海里ニ過キス西端ハ東經百四十度二十八分ナル「ラフ」岬ニ始マリ東端ハ東經百四十四度四  
 十分ナル北知床岬ニ終リ北ハ北緯五十四度二十分ナル「エリサベス」岬ニ始マリ南ハ北緯四十五度五十  
 四分ナル西能登呂岬ニ達ス南北ノ延長二百六十里東西ノ幅員七里乃至四十里ニシテ全面積ハ四國九州  
 ヲ合シタルモノヨリ大ナリト雖モ現ニ我カ領土タル北緯五十度以南ハ延長約百二十里面積約二千三百  
 方里ナリ

地勢 沿岸線ハ段丘海ニ迫リ極メテ單調ニシテ出入ナク西海岸ハ殆ト子午線ト平行シテ北端ヨリ南  
 端ニ達シ僅ニ「ウシヨロ」クシユンナイ「真岡」等ノ開灣アルノミ東海岸ハ北半ハ一直線ヲ爲セトモ南部

ハ北知床岬中知床岬西能登呂岬等アリテ南方ニ廣大ナル灣口ヲ開ケル多來加、亞庭ノ兩灣ヲ擁セリ内  
部ハ之ヲ西部山地帶東部山地帶中央凹地帶ニ區別スルコトヲ得ヘシ  
西部山地帶ハ本島ノ西部ニ偏在シ連互セル西樺太山脈一帯ノ高地ニシテ高度他ニ優リ北緯五十度以南  
ニ於テハ北緯四十九度三十分附近ニテ邦領第一ノ高峰ナル「アンバーマイト」峰（ニンクツヌプリ）  
トナリ海拔四千餘尺ニ達シ遠ク中央凹地帶ヨリ望ムコトヲ得ヘシ北緯四十八度以南ニ至リテ漸ク高度  
ヲ減シ「クステンナイ」「マヌイ」ノ地狹部ニ於テ最低ク再ヒ高度ヲ増シ「ノタサン」岳（スパンベルグ）  
「ルツタカ」岳「イチヤラ」山等峙テ西能登呂岬ニ終ル主脈西方ニ偏スルヲ以テ東側ニハ内淵留多加鈴  
谷等ノ大川アレトモ西方ハ斜面急ニシテ水流ノ見ルヘキモノ少ナシ

東部山地帶ハ多來加灣頭ヨリ「ドブキ」ニ至ル間山脈斷絶シテ海ニ没セルヲ以テ南北兩地ニ區別セラ  
ル北地帶ハ奇峰重疊セル東北山脈トナリ北緯五十度附近ニ於テ幅員最モ廣ク海拔二千尺ニ達スル「チ  
アラ」山トナリ西南ハ多來加湖北南東ハ北知床岬ニ至リ高度最モ低ク其脈波上ニ隱見シテ海豹島ニ達  
ス南地帶ハ海拔二千五百尺ノ鈴谷山ヲ擁スル鈴谷山脈ヲ脊梁トシ南方「コルサコフ」高原トナリ南東ハ  
「トンナイチヤ」「チベサニ」等ノ湖沼ヲ湛ヘタル「トンナイチヤ」低地トナリ更ニ中知床半島ヲ觸起シ  
「トーニアニワ」山脈トナリ海拔千五百尺ニ達シ中知床岬ニ至ル本地帶ハ分水嶺東方ニ偏在スルカ故  
ニ「オホーツク」海ニ面スル地方ハ山岳海ニ迫リテ平地ナク河身短小急流ナルモ西方斜面ハ之ニ反シ河

流ハ緩傾ノ丘陵ヲ過キテ平原ニ連ナルヲ以テ河流大ニ發達シ且ツ其數多シ  
中央凹地帶ハ國境ヨリ亞庭灣ニ至ル間東西兩山地帶間ニ存在シ南北ニ貫通スル一帯ノ平地ニシテ東部  
山地帶ノ多來加ヨリ「ドブキ」マテ中絶セル爲メ自ラ南北ノ二部ニ區別セラレ北中央凹地帶ハ「ツイ  
ミ」「ボロナイ」兩川ノ流域ニシテ延長七十餘里アリ内邦領ニ屬スル部分ハ延長二十八里幅員五里乃  
至八里ナリ大部分ハ所謂「ツンドラ」ト稱スル低濕地ニシテ河岸ノ一部ヲ除キテハ五六尺乃至十數尺ノ  
泥炭層ノ上ニ諸種ノ蘚苔類及灌木類ヲ生シ「オロチオン」人「ギリヤーク」人等ハ馴鹿ヲ放牧ス南中央凹  
地帶ハ「アイ」川附近ヨリ鈴谷河口附近ニ至ル約二十五里ニ互ル内淵鈴谷留多加諸川流域ノ平野ニシテ  
北地帶ニ於ケルカ如キ大濕地ナク土地肥沃農牧ニ適セリ

之ヲ要スルニ本島ヲ縦貫セル三地帶中廣潤ニシテ地味肥沃ナル農耕適地多キハ中央凹地帶ニシテ東西  
ノ兩山地帶ハ平地ニ乏シキカ故ニ從テ農牧適地少ナシト雖到ル處鬱蒼タル森林ニシテ良材ニ富ムノミ  
ナラス又石炭其他ノ礦物ヲ藏セリ然レトモ海岸線ハ凹凸極メテ少ナク安全ナル港灣ナキヲ以テ適當ナ  
ル位置ヲ撰ヒテ人工ヲ加ヘ島外トノ連絡ヲ安全ナラシメサルヘカラス

地質 邦領樺太ヲ構成スル岩石ハ北海道ニ酷似スルカ如シト雖結晶片岩比較的廣キ區域ヲ占メ火成  
岩甚タ少ナキヲ異ナレトス而シテ地勢ノ項ニ記述セシカ如ク本島ハ東西兩部ノ山地帶及中央凹地帶  
ノ三地帶ヨリ成リ各帶特異ノ地貌ヲ呈スルハ地質構造ト密接ナル關係ヲ有スルモノニシテ各地帶ノ地



質ヲ見ルニ西部山地帯ハ白堊紀及第三紀ノ兩層ヨリ成リ東部山地帯ハ結晶片岩系及砂岩粘板岩等ヨリ成レル古成層ニヨリテ構成セラレ中央凹地帯ハ兩山地帯間ノ一大陥没地帯ナリトス各岩層ノ走向ハ概ネ子午線ト併行スルモノ多キヲ以テ海岸線ハ單調ニシテ岬角ハ南或ハ北ニ突出シテ南又ハ北ニ展開セラル港灣ヲ擁シ大河ハ南流若クハ北流シ山脈ハ孰レモ南北ニ連互ス

岩石ノ分布ヲ概記スレハ水成岩ハ東部山地帯ニアリテハ主トシテ結晶片岩系及古世界ニ屬スルモノナレトモ「トシナイチヤ」低地及東北山脈ノ東南部ハ第三紀層及中世層ヨリ成リ中央凹地帯ニ面スル西側部ハ直ニ第四紀層ヲ以テ被蔽セラレ鈴谷山脈ヨリ流ルル河床ニハ砂金ヲ産シ「トシナイチヤ」低地ノ所々ニ起伏スル丘陵ノ三紀層ニハ石炭ノ薄層アリ西部山地帯ニアリテハ白堊紀其脊梁ヲナシ第三紀層之ヲ被蔽シ兩側ニ沿ヒテ延長シ西部山地帯ノ過半ヲ構成スル廣大ナル石炭層ハ本地層ニアリ中央凹地帯中北部ニアリテハ「ボロナイ」河畔ニ點々安山岩ノ露出セル外堅硬ナル岩石ヲ見ス「ツンドラ」ヲ成セル地盤ハ第四紀層ニ屬スル粘土及砂礫ニシテ厚層ノ泥炭之ヲ蔽ヒ南部ニアリテハ粘土及砂礫ノ上概ネ壤土若クハ腐植土ヲ以テ被覆セララル

火成岩ノ分布ハ西部山地帯ニアリテハ其露出甚クシテ到ル處之ヲ見サルナク北緯五十度附近「ウシヨロ」灣頭ニハ閃綠岩様脈岩及輝石安山岩廣キ區域ヲ占メ「ライチシカ」「ウシヨロ」「コタントル」等ノ圓錐火山簇登セリ東海岸ニアリテハ「コタンケシ」附近及「ウエンコタン」以南「ワトレ」ニ至ル海

岸一帶ハ安山岩ヨリ成リテ岩塊海ニ迫リ有名ナル突岬ノ險アリ中知床岬ハ花崗岩ノ斷崖海岸ヨリ崛起シテ北方ニ延長セリ又海馬島ハ下部ハ三紀層ナルモ其上ニ火山岩被覆セリ

接觸變質岩ハ中知床半島及東北山脈ノ五十度附近ニアリ古世層岩石ノ花崗岩ニ依リテ變質セルモノナリ

氣候 邦領樺太ハ其位置西半球ニ於ケル佛國巴里北米加奈陀「オッタワ」地方ト略同緯度ニシテ英國倫敦獨國伯林ニ比シテハ遙ニ南部ニアリト雖地形狹長ニシテ南北緯度ノ差四度餘東西經度ノ差約三度沿岸ハ暖寒二流ニ洗ハレ東方ハ大洋ニ面シ北西ハ大陸ニ接スルヲ以テ氣候ニ著シキ變化アリ一箇年間ノ平均氣温ハ氷點下一度乃至五度ノ間ニアリテ南西ヨリ東北ニ向ヒテ漸降シ夏期ハ比較的溫暖ナルニモ拘ラス冬季ハ寒冷ニシテ其差南西部ニ於テ二十二三度内部及北東部ハ二十七八度ニ及ヒ盛夏ノ候ニアリテハ内部ノ温度往々三十二三度ニ昇ルコトアリト雖嚴寒ニ於テハ零下四十度以下ニ降ルコトアリ一年ヲ通シ最モ寒キハ一月ニシテ最モ暑キハ八月ナリ又各地中平均温度最高キハ真岡ニシテ大泊之ニ次キ豊原「ガルキノウラスコエ」敷香ト漸次遞下ス降雪ハ沿海地ニ於テハ一二尺ニ過キサレトモ内部及北東部ニ於テハ五尺内外ニ達ス風位ハ冬季ハ北風夏期ハ南東風多ク冬期ハ降雪ト共ニ暴風ノ伴フコトナキニアラサルモ長時間ニ互ル降水少ナキヲ以テ天候陰鬱ナルコト少ナク夏期ハ概ネ靜穩ニシテ暴風ノ通過スルコト稀ナレハ天氣良好ナルコト多シ春秋ノ雨季ハ風位ノ轉換期ニシテ暴風ノ襲來スル



コトアリ就中晩秋初冬ノ候ハ概ネ天氣陰鬱ニシテ靜穩ナル日少ク春季ニ比スレハ秋季ハ著シク溫暖ナリトス

而シテ氣象ニ最モ影響アル海流ニ就テ概述スレハ暖流ハ所謂對馬海流ノ名稱アル黒潮ノ支流ニシテ一ハ北海道ノ西岸ニ沿ヒテ宗谷海峽ニ入り直チニ東偏シテ北見海岸ヲ洗ヒ西能登呂岬ノ東方ニ於テ亞庭灣ニ流入シ東北ニ流レ中知床岬ヲ遶リ東海岸ニ沿ヒ北流シ一ハ利尻禮文南島ノ西岸ヲ洗ヒ海馬島ヲ合ミ「トコンボ」岬ヨリ西海岸ニ沿ヒ國境以北マテ北流シ沿岸一帯ノ氣候ヲ溫和ナラシムルノミナラス漁業上大ナル關係ヲ有セリ寒流ニハニアリテ一ハ本島ノ東部ヲ洗フ所謂樺太海流ニシテ東北岸ニ沿フテ南下シ北知床岬ニ遮ラレ南進スルニ從ヒ漸次西偏シテ中知床岬ノ東側ニ衝突シテ再ヒ陸地ヲ離レ一部ハ南進シテ北海道枝幸方面へ一ハ中知床岬ノ沖合ヨリ西能登呂岬方面ニ流走ス一ハ間宮海峽ニ流入スル所謂「リマン」海流ニシテ大陸ニ沿ヒテ日本海ニ出ツルモ本島西海岸ニ及ホス關係少ナシ

之ヲ要スルニ本島ノ氣候ハ大陸的ナルカ故ニ冬期ハ著ルシク寒冷ニシテ沿岸ノ海水結氷シ又流水ノ爲メ數箇月間船舶ノ交通杜絶スルモ之ニ反シ夏期ハ温度高キカ故ニ草木ノ生育良好ニシテ到處鬱蒼トシテ繁茂シ米ヲ除キ普通ノ穀類ハ概ネ登實スルコトヲ得ヘシ又潮流ノ關係ニヨリ氣候調和セラルルト共ニ魚介ヲ産スルコト多ク位置温度ニ比シテ天然ノ生産力豊富ナリトス

植物

本島ノ植物帶上ニ於ケル位置ハ寒帶ノ中部及北部ニ當リ露國博物學者「シユミット」氏ハ植物ノ分布ヲ(一)多來加灣以南ノ東海岸及「ドユイ」(露領)以南ノ西海岸(二)第一區域外ノ部ノ二區ニ分チ更ニ之ヲ左ノ六帶ニ區別セリ

- (一)海岸帶(ハマナシ、カラフトイバラ、タカネイバラ等ヲ生ス)
- (二)下層潤葉樹帶(ヤマハンノキ、ミヤマハンノキ、イタカヘデ、ナナカマド、サンザシ、ヤナギ等ヲ生ス)
- (三)針葉樹帶(トドマツ、エゾマツ、グイマツヲ生ス)
- (四)上層潤葉樹帶(カバ類、コブノキ、ハンノキ類ヲ生ス)
- (五)假松帶(ハヒマツヲ生ス)
- (六)高山草帶(諸種ノ高山草ヲ生ス)

植物所生ノ状態ハ略北海道ト大差ナキモ其種類少ナク生長亦遲緩ナリ然レトモ本島特有ノ「グイマツ」(色丹松又ハ樺太落葉松)ノ如キハ樹齡三百年以上直徑三尺高サ十七八間ニ達スルモノナキニアラス

明治三十九年宮部理學博士及三宅農學士ノ調査ニ依レバ本島所生植物ノ數ハ約一千種アリ就中樹木ノ種類九十五種ニシテ喬木二十九種小木十二種灌木四十六種蔓木八種ナリトス而シテ森林ハ針葉樹林其



鴨、雁、白鳥、雀、ミンサザイ、ノツコ、オナガ、ムシクイ等ナリ

### 第二節 事業ノ經過

拓地殖民ノ實ヲ舉ケント欲セハ其土地ノ状態ヲ知悉シタル後諸般ノ施設ヲ爲ササルヘカラス是ヲ以テ本島領有後殖民ニ適スル土地ノ廣袤ヲ概測シ兼テ地勢土質氣候植物交通水利並水害ノ有無及露領時代農牧經營ノ狀況ヲ調査スル必要ヲ認メ殖民地撰定及區畫施設規程ヲ定メ之ニ準據シテ事業ヲ開始シタリ

殖民地撰定調査ニ於ケル撰定ノ標準ハ

- 一 農牧ニ適スル土地
  - 二 地積十萬坪以上ノ土地
  - 三 傾斜二十度以下ノ土地
- ニシテ地積十萬坪以下ノ土地ト雖地形ニヨリテ撰定スルコトアリ
- 調査ノ方法ハ「ブリスマチツクコンパス」「クライノメーター」及間繩等ヲ用ヒ一撰定地毎ニ豫メ基點ヲ定メ少ナクトモ三百間毎ニ測線ヲ入レ地形ヲ概則シ左ノ事項ヲ調査ス
- 一 地名

- 二 位置及廣狹(地積)山川沼湖丘陵ノ狀況
  - 三 土 性
  - 四 樹林草原地ノ區別
  - 五 河水ノ水量水質及河岸河底ノ狀況
  - 六 雨雪出水ノ量及水害ノ有無
  - 七 動植物
  - 八 氣 候
  - 九 耕牧適否ノ區別
  - 一〇 區畫施設ノ適否
  - 一一 附近農作物ノ狀況
  - 一二 交通ノ便否
  - 一三 道路排水施設ノ要否
  - 一四 舊部落ノ位置及狀況
  - 一五 從來ノ町村界ニシテ確然ト分界セルモノ
- 前記ノ調査ヲ終ヘタルトキハ一撰定地毎ニ二萬五千分一ノ殖民地撰定圖ヲ調製シテ地積ヲ算出シ斯ク





即チ調査シタル總面積三億八千七百三十一萬九千二百四坪(十二萬九千三百三町六段四畝四步)内農耕適地一億八千二百二十五萬二千三百六十坪(六萬四千五百七十町七段八畝二十步)牧場適地一億七千八百八十二萬七千五百六十四坪(五萬九千六百九町一段五畝十四步)改良後農牧適地四百三十八萬六千坪(千四百六十二町步)泥炭地二千二百七十四萬五千坪(七千五百八十一町六段六畝二十步)ニシテ改良後農牧適地及泥炭地約九千町步ヲ除クモ直接農牧ニ利用シ得ヘキ土地十二萬町步餘ニ達シ農耕適地ニハ一戸七町五段步ノ農民八千戸ヲ收容シ得ヘク牧場適地ハ一頭三町步ヲ要スルモノトシテ約二萬頭ノ家畜ヲ飼養スルコトヲ得ヘシ

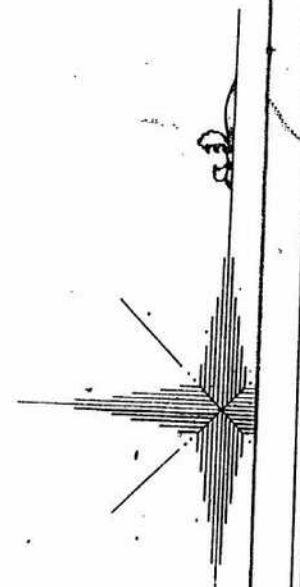
以上數年ニ互リ調査シタル箇所ハ比較的交通利便地味良好ナル地ヲ撰定シタルモノナレハ尙此等ノ地域中河川上流地方及海岸附近ニ於ケル臺地等ニモ將來地方ノ開發セララルト共ニ農牧ニ利用セララルヘキ土地少ナカラス又敷香以北國境ニ至ル沿海及靛内川流域ニモ牧畜ニ適スル土地存在スヘキモ此等ハ暫ク第二期ノ調査ニ讓ルコトトセリ

而シテ各節ニ細説スルカ如ク比較的平坦ナル豐饒ノ地ニ富ミ面積廣大ナルハ中央凹地帯ニシテ邦領中殖民地トシテ最重要ノ地位ニアリ夙ニ露領時代ニ於テ農牧ノ業經營セラレ三十八年領有後農民ノ移住スルモノ既ニ約千戸ニ達シテ開墾耕種漸次進歩シ將來利用セララル程度多カルヘシト雖モ濕潤ナル地少ナカラサレハ開拓ノ進歩ト共ニ排水ノ施設ヲ爲ササルヘカラス

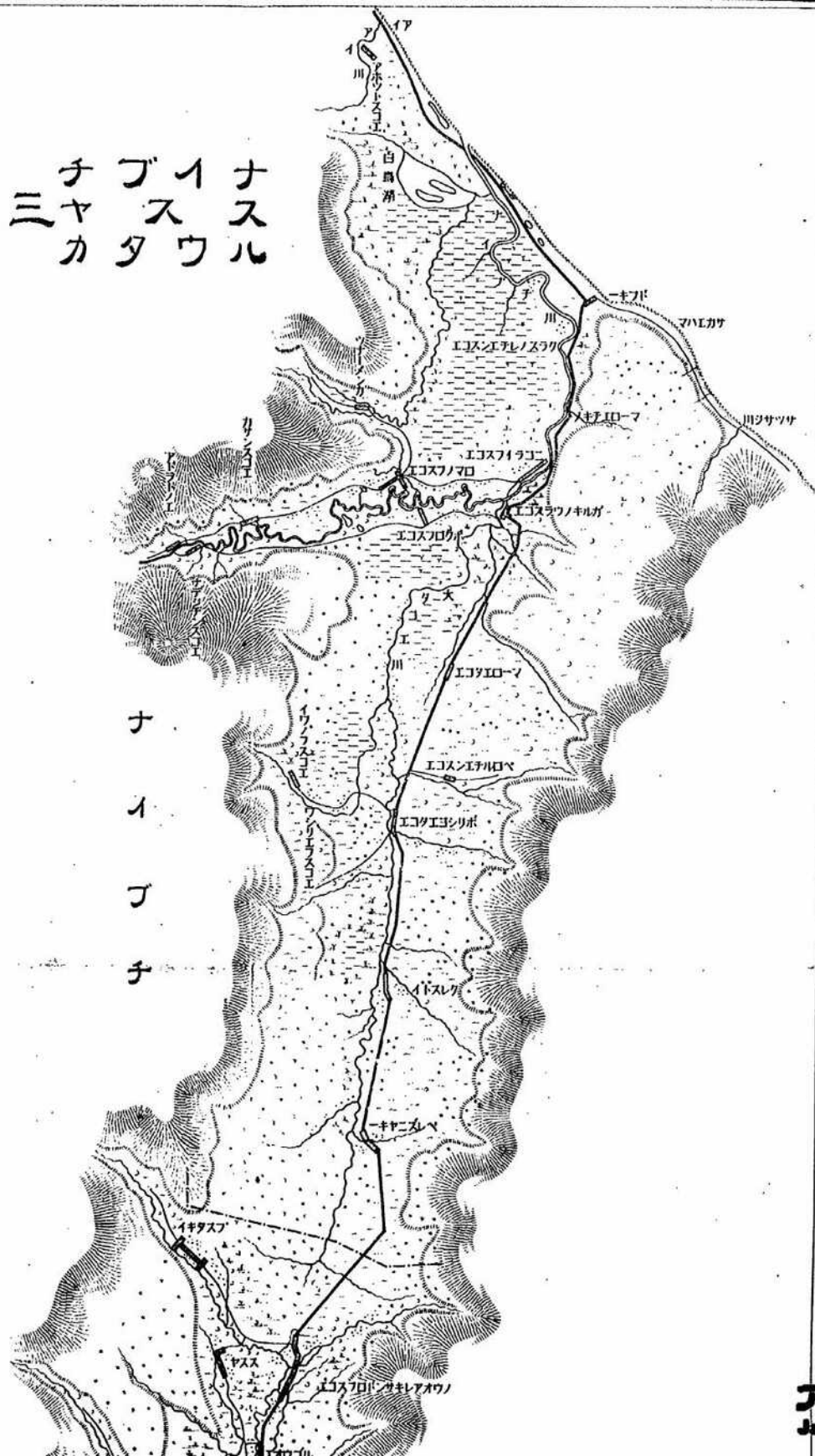
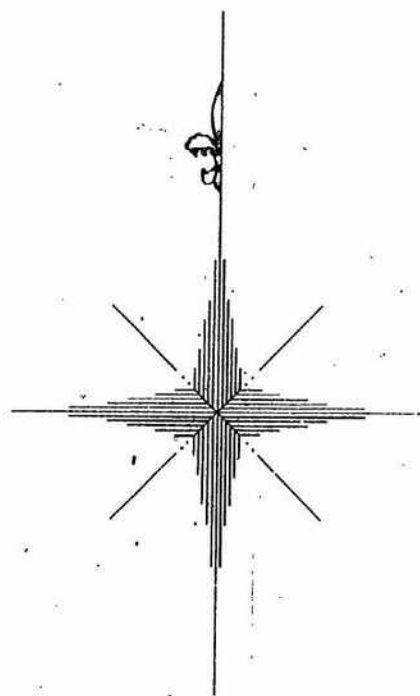
中央凹地帯ヲ除ク以外ノ地ハ一箇所ニ於ケル地積多カラサルモ直接農牧ニ利用セララルヘキ地積多ク又改良施設ヲ要スル箇所甚タ少ナン然レトモ眞岡附近ノ一部ヲ除ケハ未タ人跡稀ニシテ交通不便ナルカ故ニ移住開墾ニ從事スルコト困難ナルモノアリ是ヲ以テ一般ヲ通シテ海陸ノ交通機關ヲ完備ナラシムルコト移民招來地方開發上最モ急務ナリトス











農牧經營上本島土地ノ生産力如何ハ其土地ノ位置地味及事業經營ノ方法ニ依リ差違アルヘシト雖露領時代經營ノ狀態氣候所生植物ノ狀態三十九年以來ノ移住農民ノ成績等ヲ綜合スレハ之ヲ北海道北部地方ニ比シ經營其宜シキヲ得レハ敢テ遜色ナカルヘク假令多少不利ナル點アリトスルモ耕作段別ヲ増加シ又飼料ニ供スヘキ野草多ク氣候家畜ノ飼育ニ障害ナキヲ以テ純穀農ニ依ラス農牧混同組織ヲ採ル時ハ却テ實收ヲ増加スルコト困難ニアラサルヘシ

月地撰定圖

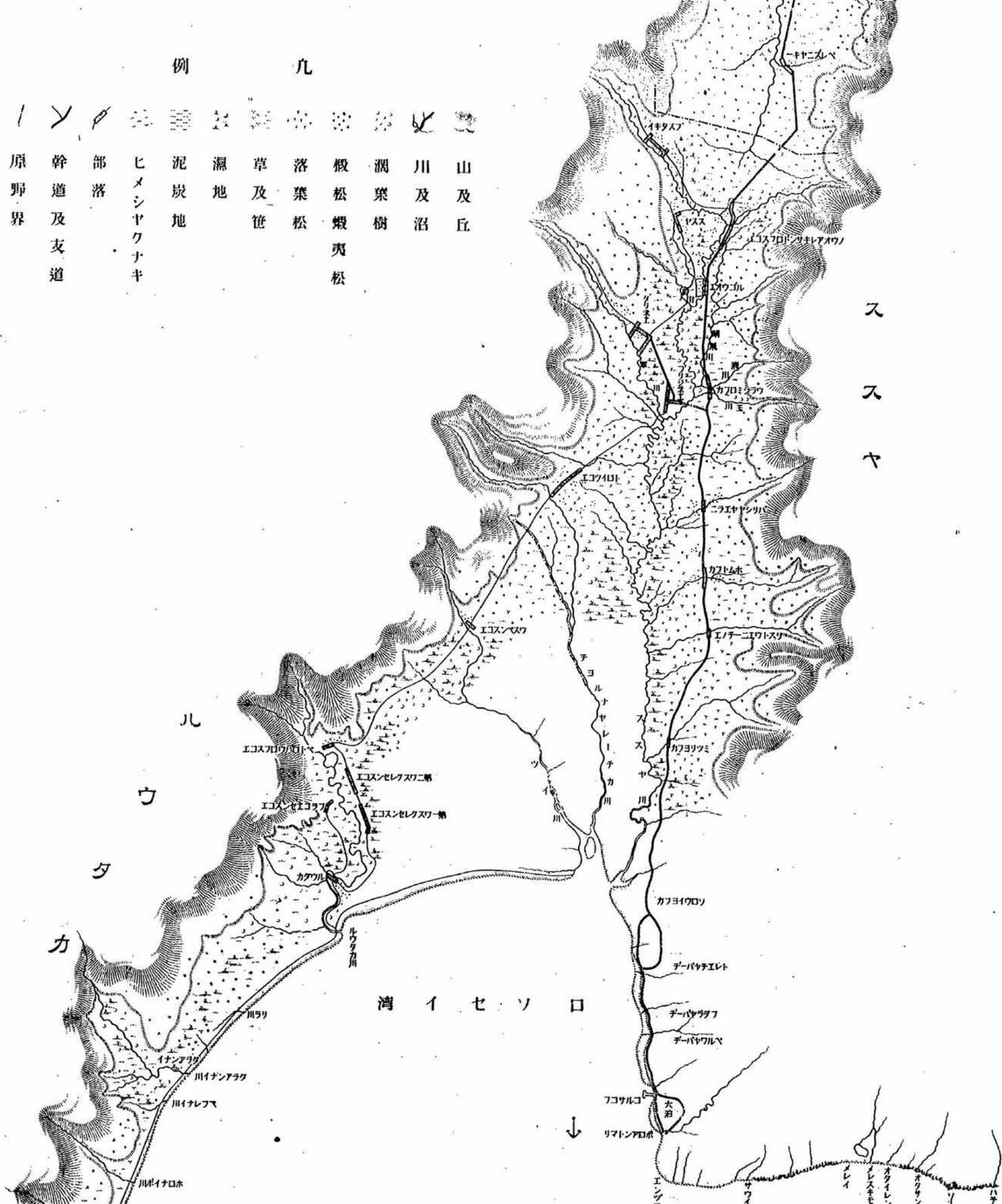


ナスル  
ブイ  
チヤカ  
三原堅殖民地撰定圖



- |  |  |
|--|--|
| 例  | 凡  |
| <br>山及丘 | <br>川及沼   |
| <br>落葉松 | <br>概松蝦夷松 |
| <br>草及笹  | <br>漏地      |
| <br>泥炭地   | <br>部落      |
| <br>幹道及支道 | <br>原野界     |

- |  |  |
|--|--|
| 例  | 凡  |
| 山及丘<br>川及沼<br>潤葉樹<br>楡松 蝦夷松<br>草及笹<br>濕地<br>泥炭地<br>ヒメシヤクナキ<br>幹道及支道<br>原野界 | 山及丘<br>川及沼<br>潤葉樹<br>楡松 蝦夷松<br>草及笹<br>濕地<br>泥炭地<br>ヒメシヤクナキ<br>幹道及支道<br>原野界 |



ス  
ス  
ヤ

ル  
ウ  
タ

カ

湾 イ セ ソ ロ





## 第二章 中央凹地帯

本島ノ北端「エリサベス」岬ヨリ西能登呂岬マテ連互シ西部山地帯ノ脊骨ヲナセル西樺太山脈ト東部山脈ノ多來加灣頭ニ没シ再ヒ「ドブキ」附近ニ起リテ「ススヤ」山脈トナリ中知床岬ニ走レル中間ハ即チ南部樺太ニ於ケル中央凹地帯ニシテ北「アイ」川附近ヨリ南鈴谷河口ニ至ル延長約二十五里幅員數里ニ互レル平野ヲナス之ヲ内淵鈴谷留多加ノ三大河流域ニ依リ區分シ原野名ヲ附スレハ其地積左表ノ如シ

原野名	農耕適地	牧場適地	改良後適地	泥炭地	計
留多加	10,311,100坪	5,958,500坪			5,000,000坪
鈴谷	8,127,000坪	3,840,000坪			5,000,000坪
内淵	3,650,000坪	8,400,000坪			5,000,000坪
計	10,618,000坪	13,198,500坪		17,000,000坪	30,816,500坪

即チ總地積二億五千六百五十三萬七千六百二十四坪ノ内農耕適地一億五百八十六萬一千六十坪牧場適地一億三千三百二十四萬一千五百六十四坪泥炭地一千七百四十三萬五千坪ニシテ地積ノ廣大ニシテ地味ノ良好ナル樺太南部ニ於テ最モ農牧殖民地トシテ有望ナル部分ナリトス尙此外亞庭灣ニ沿ヒ「ソイ

「鈴谷南川間」ニ在セル約五百萬坪ノ濕地アレトモ改良施設ノ必要アルヲ以テ之カ調査ヲ後日ニ譲  
リタリ

各原野中地積最モ大ナルハ内淵原野ナレトモ高臺地濕地多キヲ以テ農耕適地比較的少ナク之ニ次クハ  
鈴谷原野ニシテ農耕適地ノ歩合最モ多ク留多加原野ハ地積最モ少ナク農耕地ノ歩合亦鈴谷原野ニ比シ  
遙ニ劣レリ内淵川ハ「ノタサン」岳ノ東北麓ニ源ヲ發シ西部山地帯ヲ蜿蜒東南ニ流レテ數多ノ支流ヲ  
合セ「ナデヂンスコエ」ニ至リテ内淵平原ニ出テ「ガルキノウラスコエ」ニ於テ「タコエ」川ヲ併  
セ北走シテ東海岸ニ注ク河口附近ハ幅廣クシテ小船ヲ繫留スルニ足リ又十里ノ上流「ナデヂンスコ  
エ」マテハ小舟ヲ通スルモ其上流ニ至リテハ水勢急ニシテ舟楫ノ便ナシ鈴谷川ハ源ヲ西部山脈ニ發シ  
東南ニ流レテ各支流ヲ併セ亞庭灣ニ注ク水勢急ナルノミナラス流木ノ停滯多キヲ以テ舟楫ニ便ナラス  
留多加川ハ源ヲ留多加岳ニ發シ南流シテ亞庭灣ニ注ク河口ヨリ二三里ノ間ハ川崎船ヲ通スルコトヲ得  
ヘシ

此等三川流域ノ平野ハ「ペレズニヤキ」附近及「ベトロバウロフスコエ」附近ノ高臺地ヲ以テ相連  
絡シ以テ南部中央凹地帯ヲ形成ス

本區域内ニ於ケル森林一般ノ狀況ヲ概述スレハ留多加川流域ハ本島中有數ノ森林ニシテ林相優美ナル  
ノミナラス蓄積最モ多ク「とどまつ」「えびまつ」落葉松ノ良材ヲ産シ平地ニハ落葉松及諸種ノ潤葉樹

ヲ生ス鈴谷川流域ニアリテハ山地ニハ針潤兩樹混生シ平地ニハ落葉松及潤葉樹多シ此地方ハ露領時代  
ヨリ住民多カリシヲ以テ部落附近ハ森林ノ荒廢セル所少ナカラサルモ河川ノ上流地方ニハ尙林相ノ良  
好ナルモノアリ内淵川流域中「ドブキ」ガルキノウラスコエ附近ハ數回火災ニ罹リ廣大ナル燒跡地  
ニ針潤ノ稚樹點々後生シ唯河岸ニ僅ニ潤葉ノ樹林アルノミナレトモ「ナデヂンスコエ」附近ヨリ上  
流ハ「とどまつ」「えびまつ」ノ良林トナリ又山嶺ノ中半以上ハ潤葉針葉兩樹ノ混淆林トナル

本區域ハ露領時代ヨリ殖民地トシテ經營セラレ三十八年領有前ニハ六十餘ノ農村部落アリテ戸數千餘  
戸ヲ算シタリ部落ハ河川沿岸及道路ニ沿ヒ一里乃至三里ヲ隔テテ建設セラレ密居制ニ依リ所謂露式丸  
太造ニシテ防塞ニ適セリ然レトモ土地ノ制度定マラス不完全ナル休田法ニヨリ概シテ樹林ノ難ヲ避ケ  
水害ナキ草生地ヲ撰ミ開墾耕作セシヲ以テ圃場ハ各所ニ點在シテ不規則ナル形狀ヲ呈シ又多年肥料ヲ  
用ヒタルコトナケレハ地味瘦薄トナリ生産力少ナシ各戸一二町歩ヲ作付シ領有前ニハ耕地ノ段別千餘  
町アリシモ殆ト荒廢ニ歸セリ農業經營ノ方法ハ農牧混同ノ組織ニ依リシモノノ如キモ専ラ生計ノ必要  
ヨリ家畜ノ蕃殖ニ重キヲ置キ耕地ニ柵ヲ設ケテ却テ家畜ヲ放牧スルノ状態ナリシカ故ニ肥培ノ事業ハ  
發達セサリキ作物ノ種類ハ小麦、ライ麥、馬鈴薯、燕麥、甘藷、胡瓜、蕪菁、豌豆等ヲ主ナルモノト  
シ各相當ノ收穫アリタルカ如シ

交通ハ陸上大泊ヲ起點トシテ豊原ヲ經テ「ドブキ」ニ至リ北部地方ニ通スル幹線道路、豊原ヨリ真岡

及「ルウタカ」ニ至ル道路及各部落ニ至ル徑路アリテ概ネ車馬ヲ通シ又大泊豊原間ニハ輕便鐵道アリ海上ハ本區域ノ南端ヨリ數里ニシテ大泊港アリ亞庭灣内ニ於ケル要港ニシテ内部地方物資ノ吐吞口ナリ又同地ヨリ「ルウタカ」其他亞庭灣内ノ地方ニアリテハ小汽船ノ便アリ本島中陸海共交通最モ利便多キモ將來土地ノ開發セララルト共ニ幾多ノ改良施設ヲ爲ササルヘカラス

### 第一節 留多加原野

#### 位置及地勢

本原野ハ留多加川ノ兩岸「ベトロバウロフスコエ」ヨリ「ウスペンスコエ」ニ至ル沿道及留多加河口ヨリ海岸ニ沿ヒ西南「ウリウ」川ニ至ル沿海平地ノ總稱ナリ留多加川ハ留多加岳ニ源ヲ發シ南流シテ亞庭灣ニ注ク下流ノ幅三十餘間ニシテ鈴谷川ト共ニ灣内ニ於ケルニ大河ナリ原野ハ東「チヨルナヤレーチカ」川支流ヲ以テ鈴谷原野ニ接シ北西ハ山趾ニ限ラレ西南ハ亞庭灣ニ面ス地形概ネ平坦ナレトモ「ベトロバウロフスコエ」以東ハ緩傾斜ヲナシ「ウスペンスコエ」方面ハ「ツイミ」川上流沿岸ヲ除キ概ネ卑濕ナリ留多加川「タラアンナイ」川及「ウリウ」川沿岸ハ乾濕其度ヲ得直接農耕適地多キモ一部分濕地ヲ混セリ

面積 總面積五千二十六萬七百五坪

#### 内譯

一千三十一萬四千二百五坪

農耕適地

三千九百九十四萬六千五百坪

牧場適地

#### 氣候

鈴谷原野ノ中央豊原地方ニ比スレハ較々溫暖大泊地方ト略々同一ニシテ夏期ハ南風冬期ハ北風若クハ西北風多シ春霜ハ六月上旬ニ止ミ秋霜ハ九月中旬ニ來リ雨量多キハ七月ニシテ八九月ニ至リ順次減少ス植物生育ノ時期ハ五月乃至十月ニシテ雪ハ十一月初旬降り始メ積雪三四尺翌年四月中旬融解スルヲ普通トシ夏期ノ温度比較的高ク濃霧ナキヲ以テ農耕上大ナル利益アリ

#### 土性及植物

土地ノ位置ニ依リテ差違アリ湖葉樹林地ハ表層暗黒色腐植土三四寸次層褐色砂質壤土一尺乃至三尺下層壤質粘土若ハ砂礫ヲ普通トシ殊ニ河岸ノ沖積土ハ其層二尺乃至四尺ニ達シ地味最モ肥沃ナリ此等ノ地ハ留多加「タラアンナイ」「ウリウ」其他河川沿岸ニシテ農耕上最モ重要ナル部分ナリトス所生ノ樹種ハ「わかだも」「やちだも」「はんのき」「やなぎ」「しらかんば」等ニシテ下草ハ「ななつば」「ぼらな」「あぢみ」「しらくさ」「またどり」「えぞにう」「あぢぬわら」「とくさ」等ナリ

留多加川左岸「タラアンナイ」「ベトロバウロフスコエ」方面ノ一部ニ存スル草原濕地ハ表層腐植土二三寸次層腐植質壤土二尺乃至三尺下層帶青色或ハ帶褐色壤質粘土ニシテ「あぢぬわら」「すげ」「よし」等ヲ生ス



山趾及濕地ノ一部分ナル針葉樹林中乾燥地ハ表層腐植土二三寸次層褐色粘質壤土一尺乃至三尺下層茶褐色壤質粘土或ハ砂礫土ナリ濕地ハ腐植土二尺内外下層ハ概ネ帶青色粘土ニシテ所生植物ハ濕潤地ニハ落葉松「えぞまつ」ノ下ニ「ひめしやくなき」蕨若ク生シ乾燥地ニハ「とどまつ」ニ少シク落葉松ヲ混シ下草ハ「からまつさう」「あひぬわら」等ナレトモ「ペトロバウロフスコエ」以東ノ山脚ニハ矮小ナル笹粗生シ「タラアンナイ」以西ニハ笹ノ丈五六尺ニ達スルモノアリ

**排水水害及用水** 原野中「ブラゴエセンスコエ」第二「ワスクレセンスコエ」及「ウスペンスコエ」ノ南部ニアル濕地ハ排水溝ヲ設クルノ必要アリ而シテ留多加川其他ノ河川何レモ水害ナク水質ハ清澄ニシテ飲料ニ適スレトモ「ツイミ」川ハ濕地ノ間ヲ流ルルヲ以テ微濁ヲ帶ヘリ

**部落及農牧ノ狀況** 本原野中留多加川沿岸及豊原ニ至ル沿道ニハ一里乃至二三里ヲ距テテ三十戸ノ密集部落アリ此等ハ皆露宿時代ニ於テ建設シタルモノニシテ家屋ハ概ネ九太造ニシテ防寒ニ適シ又厩舎ノ設ケアリ部落ノ附近ニハ耕地ノ荒廢セルモノ少ナカラシテ牧草ノ能ク繁茂セル所アリ露宿時代ニ於ケル耕作法ハ水害ナキ肥沃ナル草原地ヲ撰ミ耕作シタルモノニシテ地力衰フルニ至レハ之ヲ放置シテ他所ヲ新墾耕作セシカ如ク耕地ハ彼處此處ニ點々シテ一定セス又耕種ト共ニ牧畜ヲ盛ニ營ミシカ如ク「タラアンナイ」方面ニハ夏期ノ放牧場トシテ使用シタル形跡アリ

今各部落ニ於ケル現在家屋及既墾地段別左ノ如シ

部落名	家屋數	既墾地段別
ルウタカ	三〇	二八、六
ブラゴエセンスコエ	三二	一四、八
第一ワスクレセンスコエ	二七	二九、六
第二ワスクレセンスコエ	三〇	三七、六
ペトロバウロフスコエ	二七	一七、〇
ウスペンスコエ	三〇	二一、六
計	一七四	一四九、二

**交通及市場**

道路ハ豊原ヨリ「トロイツコエ」「ウスペンスコエ」「ルウタカ」ヲ經テ留多加川口ニ出テ更ニ海岸ニ沿ヒ西南西能登呂岬ニ至ルモノト大泊ヨリ豊原ニ至ル幹線道路ヨリ分岐シテ「ソロウキヨフカ」ヨリ鈴谷河口ヲ渡リ「ルウタカ」ニ到ルモノトアリ豊原ヨリ來ルモノハ露宿時代開墾セシ儀多年修理ヲ加ヘサルヲ以テ破損甚シク又「ソロウキヨフカ」ヨリ來ルモノハ鈴谷河口一里餘ノ渡船場アルカ故ニ共ニ交通便利ナラス唯留多加河口ヨリ沿岸各部落ニ至ル間ハ共ニ車馬ヲ通スヘシ海上ハ五月ヨリ十月ニ至ル間ハ大泊ヨリ留多加河口及其附近ヲ航行スル小蒸汽船及川崎船アルヲ以テ

不便ナク又冬期結氷後ハ馬糞ノ通行自由ナルカ故ニ却テ夏期ニ比シ運輸旅行ニ便利多シ  
「ルウタカ」ニハ二三ノ雜貨商アリ日用品ヲ辨スルコトヲ得ヘキモ多量ノモノハ大泊ヨリ移入スルヲ便  
利トス又「ルウタカ」ニハ大泊支廳出張所郵便局等アリ

### 第二節 鈴谷原野

#### 位置及地勢

鈴谷川及其支流沿岸並「チヨルナヤレーチカ」川及其支流沿岸ノ平野ヲ總稱シテ  
鈴谷原野トス北ハ「ベレズニヤキー」ノウオアレキサンドロフスコエ」間ニ在ル分水高地ヲ以テ内淵  
原野ニ界シ東ハ鈴谷山脈相連リ西ハ西樺太山脈ヲ限ラレ西南ハ「チヨルナヤレーチカ」川及其支流ヲ  
以テ留多加原野ニ境シ南ハ鈴谷川「チヨルナヤレーチカ」川及「ツイミ」川流域ノ廣大ナル濕地ニ接  
ス地勢山趾附近ノ緩斜面ヲ除クノ外ハ一般平坦ニシテ東西ノ幅員狭キハ二里餘ニ過キサルモ延長十二  
里餘ニ達シ中央凹地帶中農牧地トシテ最モ有望ナル區域ニ屬ス

#### 面積

總面積九千三百十萬九千九百九十九坪

#### 内譯

五千八百二十五萬七千八百五十五坪

農耕適地

三千四百八十四萬四千六十四坪

牧場適地

#### 氣候

留多加原野ト大差ナキモ霜雪ノ時期稍々晩レ冬期ノ溫度低シト雖東西南山脈ニ依リテ海潮  
氣象ノ影響ヲ遮斷セラレ濃霧ノ襲來ナク且ツ夏期ノ溫度比較的高キカ故ニ植物ノ生育最モ良好ナリ春  
霜ハ六月上旬ニ止ミ秋霜ハ九月中旬ニ來リ雪ハ十月中旬乃至下旬ニ降り始メ十一月月中旬根雪トナリ積  
ルコト三四尺ニシテ翌年四月下旬ニ至リ融解ス

#### 土性及植物

湖葉樹林中乾燥地ハ表層黑色腐植土三四寸次層砂質壤土一尺乃至二尺餘下層砂質  
壤土若クハ砂礫土ヨリ成リ同濕潤地ハ表層黑色腐植壤土四寸乃至七寸次層粘質壤土又ハ粘土ノ厚層  
ヨリ成ル此等ノ地ハ主トシテ河岸ノ地ニシテ地味最モ肥沃ナリ樹種ハ「あかだも」最モ多ク「はんの  
さ」「ななかまど」「しらかんば」「やなぎ」にはとこ」「やんざし」等之ニ次キ樹下「ぼらな」「ななつば」  
「あのみ」「さくら」「よもぎ」「きたどり」「えぞにら」「あしぬわら」等アリ濕潤ナル地ニハ「はんのさ」  
最モ多ク「やちだも」「しらかんば」ノ類混生シ下草ハ「すげ」「よし」「あしぬわら」「みづばせを」「やまそ  
てつ」ノ類多シ針葉樹林地ハ表層黑色腐植土二寸乃至四寸次層粘質壤土或ハ礫質壤土ニシテ下層ハ  
粘土トス濕地ハ腐植土二三尺ニシテ下層ハ粘土ナリ此等ノ地ハ山趾附近及「ミツリヨフカ」リストウ  
エニチノエ」附近ニ多ク農耕地トシテハ改良ヲ要スルモノ多シ樹種ハ直徑七八寸ヨリ一尺五六寸ノ「と  
どまつ」落葉松ノ單純林多キモ間々「しらかんば」「はんのさ」等ヲ混セリ下草ハ「あしぬわら」「やまそ  
てつ」又ハ蘚苔類ニシテ伐採跡地ニハ「しらかんば」ノ稚樹ヲ生シ落葉松ノ純林ハ濕地ニ多ク下草ハ

蘇苔又ハ「ひめしやくなき」ナリ

草原ハ概シテ湿地多ク上層黒色腐植質壤土四五寸ノ下壤質粘土又ハ粘土ヨリ成ルヲ普通トスレトモ稀ニ蘇苔ヲ生シ腐植土ノ深サ五六尺ニ達スル泥炭性湿地アリ豊原「ルゴウオエ」間及鈴谷河下流地方ノ如キ是ナリ所生ノ草類ハ「よし」「えぞみそはぎ」「あざみ」「あやめ」「すげ」「あいぬわら」「やちぼうす」「やちぶき」等ナリ

**排水水害及用水** 原野中濕潤ナル土地約十三分ノ一アリ此等ノ土地ハ排水ヲ施設シ乾燥セシメテ後耕耘セサルヘカラス水害ノ虞アルハ「ブリジネエ」「トロイツコエ」「ノウオアレキサンドロフスコエ」等ニシテ融雪期ニ於テ鈴谷河ノ水漲溢シ流域沿岸ヲ浸漬スルコトアリ鈴谷川ハ下流ニ於テ微濁ヲ帶フルモ上流及支流ハ一般清冽ニシテ飲料ニ適セリ

**部落及農牧ノ狀況** 本原野ハ露領時代殖民地トシテ最も重要ナル位置ヲ占メ豊原(元ウラジミロフカ)ニハ殖民監督官ヲ置キ農民ヲ監督獎勵シタリト云フ部落ハ大泊ヨリ「ドブキー」ニ至ル幹線道路及豊原ヨリ「ルウタカ」ニ至ル道路及其附近ニ一里乃至三三三里ヲ距テテ存在シ戸數十數戸乃至百數十戸アリ耕作ノ狀況ハ「ルウタカ」原野ニ記述シタルカ如ク粗笨ナル休田法ニ依リ家畜ヲ多ク飼養シタルカ如シ

今各部落ニ於ケル在來家屋數及既墾地ノ段別ヲ擧クレハ左ノ如シ

部 落 名	家 屋 數	既 墾 地 段 別
ブスタキ	三一	七六、〇
ノウオアレキサンドロフスコエ	七二	五五、〇
ルゴウオエ	四七	一四、〇
ウラジミロフカ	六〇	六八、〇
ブリジネエ	五五	五一、〇
ダリネエ	七八	八〇、〇
トロイツコエ	一〇二	一一四、〇
バリシヤヤエラニ	二五	七八、〇
ホームトフカ	三七	三六、〇
リストウエニチノエ	一五	七六、〇
ミツリヨフカ	一二	二〇、〇
計	六〇九	一〇、〇
		七八八、〇

**交通及市場** 幹線道路ハ大泊ヨリ來リ本原野ヲ貫通シテ「ドブキ」ニ至リテ東海岸ニ出テ又「ノウオアレキサンドロフスコエ」ヨリ分岐シテ「ヌスヤ」「ブスタキ」ニ至ル道路アリ眞岡道路ハ豊原ヨリ西方「ブリジネエ」ニ至リ「ダリネエ」ヲ經テ西部山脈ヲ横斷シテ西海岸眞岡ニ至リ「ルウタカ」道路ハ「ブリジネエ」ヨリ分岐シテ南方「トロイツコエ」ヲ經テ「ルウタカ」ニ至ル共ニ車馬ヲ通スヘシ又輕便鐵道ハ大泊豊原間ニ開通シ交通ノ便利大ナリ

豊原ハ樺太廳其他諸官衙ノ所在地ニシテ諸種ノ商舖多ク各部落ヨリ遠キモ四里ニ滿タサルヲ以テ日用ノ物資ハ豊原ヨリ購入スルコトヲ得ヘシ

### 第三節 内淵原野

**位置及地勢** 本原野ハ内部樺太ニ於ケル三大流域ノ一ナル内淵川及其支流「タコエ」川沿岸ノ平地及内淵河口ヨリ東西沿海ニ開展シタル土地ノ總稱ナリ南方ハ「ノウオアレキサンドロフスコエ」ト「ベズニヤキ」トノ間ニ於ケル分水高地ヲ以テ鈴谷原野ト相向背シ北方ハ東海岸ニ終リ西ハ西樺太山脈ト東ニ連互セル山脈トニ抱擁セラレ南北ノ延長約十四里東西ノ幅員狭キハ二里廣キハ六里ニ達ス地勢内淵河口ヨリ南方上流ニ向テ漸高シ河ヲ境トシテ東西ニ岐ル東方ハ山麓ヨリ河岸ニ緩傾斜ヲ爲シ西方ハ概ネ平坦ニシテ樹林草原又ハ濕地泥炭地等ヲ交フ

内淵川ハ源ヲ西部山脈ニ發シ東南ニ流レ「ガルキノウラスコエ」附近ニ於テ「タコエ」川ヲ併セ水量幅員ヲ増加シ北流シテ「ドブキ」ノ北ニ至リ東海岸ニ注ク其間屈曲頗ル多キモ河口ヨリ數里ノ間ハ舟楫ノ便アリ右岸ノ平野ハ概ネ農耕ニ左岸ノ高燥地ハ牧場ニ適セリ

**面積** 總地積一億一千三百七十七萬五千坪

内譯

三千七百二十八萬九千坪	農耕適地
五千八百四十五萬一千坪	牧場適地
一千七百四十三萬五千坪	泥炭地

**氣候** 本原野ハ東海岸ニ開展セルヲ以テ「オホツク」海ヨリ來ル海風ノ影響ニヨリ鈴谷原野ニ比スレハ稍々低溫ニシテ從テ霜雪ノ時期モ四五日乃至一週間遲延スルヲ常トス即チ春霜ハ六月中旬ニ終リ秋霜ハ九月中旬ヨリ來リ雪ハ十月中旬乃至下旬ヨリ降り始メ積ルコト四尺内外ニシテ翌年五月上旬融解ス而シテ冬期ノ低溫ナルニ比シ夏期高溫ナルヲ以テ植物ノ生育良好ナリ

**土性及植物** 土性ハ土地ノ高低及乾濕ニ依リ大約左ノ數種ニ分類スルコトヲ得ヘシ

一、幹線道路ニ沿ヒタル「ベズニヤキ」「ドブキ」ノ間ノ高燥地ハ上層三四寸ノ腐植土下層礫土或ハ粘土ニシテ其深サ二尺以上ニ及フ



- 二、内淵川及各支流沿岸ノ平野ハ上層砂質壤土一尺乃至五尺下層ハ壤質粘土又ハ砂礫ヨリ成ル
- 三、内淵川左岸針葉樹林地及泥炭地ニ接續スル草生湿地ハ共ニ上層腐植土一尺内外下層ハ概ネ青色又ハ褐色粘土ナリ

四、泥炭地ハ「マアロイタコエ」ノ西方「ボクロフスコエ」ノ南方「ニコライスコエ」ヨリ「ドブキ」ニ至ル間ニアリテ其深サ五六尺下層概ネ青色粘土ナレトモ内部ニ至レハ腐植質ノ深サ十餘尺ニ達スル所アリ

所生植物ハ内淵川及各支流沿岸ニハ幅五十間乃至二百間ノ潤葉樹林アリ其生育ノ良好ナルハ「タコエ」川ニ沿ヒ上流「イワノフスコエ」附近ニ至ル平地ナリ樹種ハ「あかだも」「やちだも」「はんのき」「やなぎ」「さんざし」等ニシテ下草ハ「ぼうな」「なつば」「いたどり」等ナリ幹線道路西部ノ平地並ニ高燥地ハ針潤混滑林又ハ針葉樹林ニシテ樹種ハ高燥地ニアリテハ「とどまつ」「えぞまつ」落葉松「しらかんば」平地ニアリテハ落葉松ヲ生シ既ニ生育停止期ニ達シ枯死セルモノアリ幹線道路ノ東部ハ山腹ニ至ルマテ針葉樹林ノ燒跡地ニシテ「しらかんば」落葉松ノ稚樹點々生育スルノミナリ泥炭地ハ概ネ草生地ニシテ諸種ノ雜草蘚苔ニ所々「しらかんば」落葉松ヲ生セリ

排水水害及用水 本原野ニ於ケル農耕適地ハ主トシテ内淵川及其支流沿岸ノ地ニシテ此等ノ土地中濕潤ニ過クル草生地及樹林アルヲ以テ充分ナル排水ヲ施ササルヘカラス又「ガルキノウラスコエ」

ヲ中心トセル「ニコライスコエ」「マアロイタコエ」「ボクロフスコエ」「ロマノフスコエ」等ハ恰モ内淵川ト其支流「タコエ」川トノ合流點ニアリ土地平低ナルヲ以テ毎年融雪ノ際ニハ概ネ河水汎濫スト云フ河水ハ内淵川ハ「ロマノフスコエ」ヨリ上流「タコエ」川ハ「ポリシヨイタコエ」ヨリ上流ハ飲料ニ適スルモ其他ハ泥炭地若クハ湿地ヲ通過スルカ故ニ多クハ有機質ヲ含有シ潤濁セルヲ以テ之ヲ使用スルコトヲ得ス故ニ溪間ノ小流ニヨルカ又ハ井ヲ掘鑿セサルヘカラス

部落及農牧ノ狀況 本原野モ亦鈴谷原野ト同シク露領時代ヨリ殖民地トシテ開發セラレ幹線道路沿内淵川及其支流沿岸ニハ二三里ヲ隔テテ部落ヲ設置セラレタリ耕作ノ狀況ハ留多加、鈴谷兩原野ト大差ナキモ本原野ハ氣候ノ關係上一層牧畜ニ重キヲ置キタルカ如ク現今「ガルキノウラスコエ」附近河川沿岸ニハ栽培牧草(主トシテ「チモシー」種)ノ能ク繁茂セル面積少ナカラス其各部落ニ於ケル在來家屋及既墾地段別ヲ舉クレハ左ノ如シ

部落名	家屋數	既墾地段別
ベレズニヤキ	四〇	三〇、〇
クレストイ	四七	四〇、〇
ポリシヨイタコエ	四五	三八、〇
イワノフスコエ	三三	三八、〇

ベ	ロ	レ	チ	ン	ス	コ	エ	一	八	三	六、〇
マ	ア	ロ	イ	タ	コ	エ	二	八	五	〇、〇	五〇、〇
ガ	ル	キ	ノ	ウ	ラ	ス	コ	エ	五	二	六八、〇
ニ	コ	ラ	イ	ス	コ	エ	五	二	七	八、〇	七八、〇
マ	ア	ロ	イ	チ	キ	ノ	七	六	〇	六、〇	六〇、〇
ク	ラ	ス	ノ	チ	エ	ン	ス	コ	一	六	三四、〇
ド	ブ	キ	一	〇	〇	〇	二	六	一	〇、〇	一〇、〇
ロ	マ	ノ	フ	ス	コ	エ	三	八	五	〇、〇	五〇、〇
ホ	ク	ロ	フ	ス	コ	エ	一	五	三	六、〇	三六、〇
ガ	ザ	ン	ス	コ	エ	二	五	二	六	〇、〇	二六、〇
ア	ド	ラ	ド	ノ	エ	一	四	七	〇	七、〇	七〇、〇
ナ	デ	ジ	ヂ	ン	ス	コ	二	一	三	〇、〇	三〇、〇
ズ	ナ	ー	メ	ン	カ	一	八	一	六	〇、〇	一六、〇
ア	ホ	ツ	ト	ス	コ	二	〇	五	六	〇、〇	六〇、〇
計									五〇五	五五九、〇	

三三

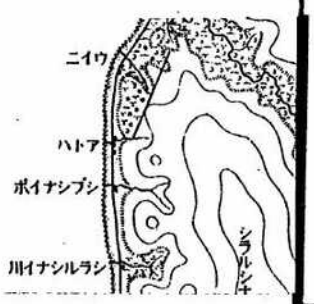
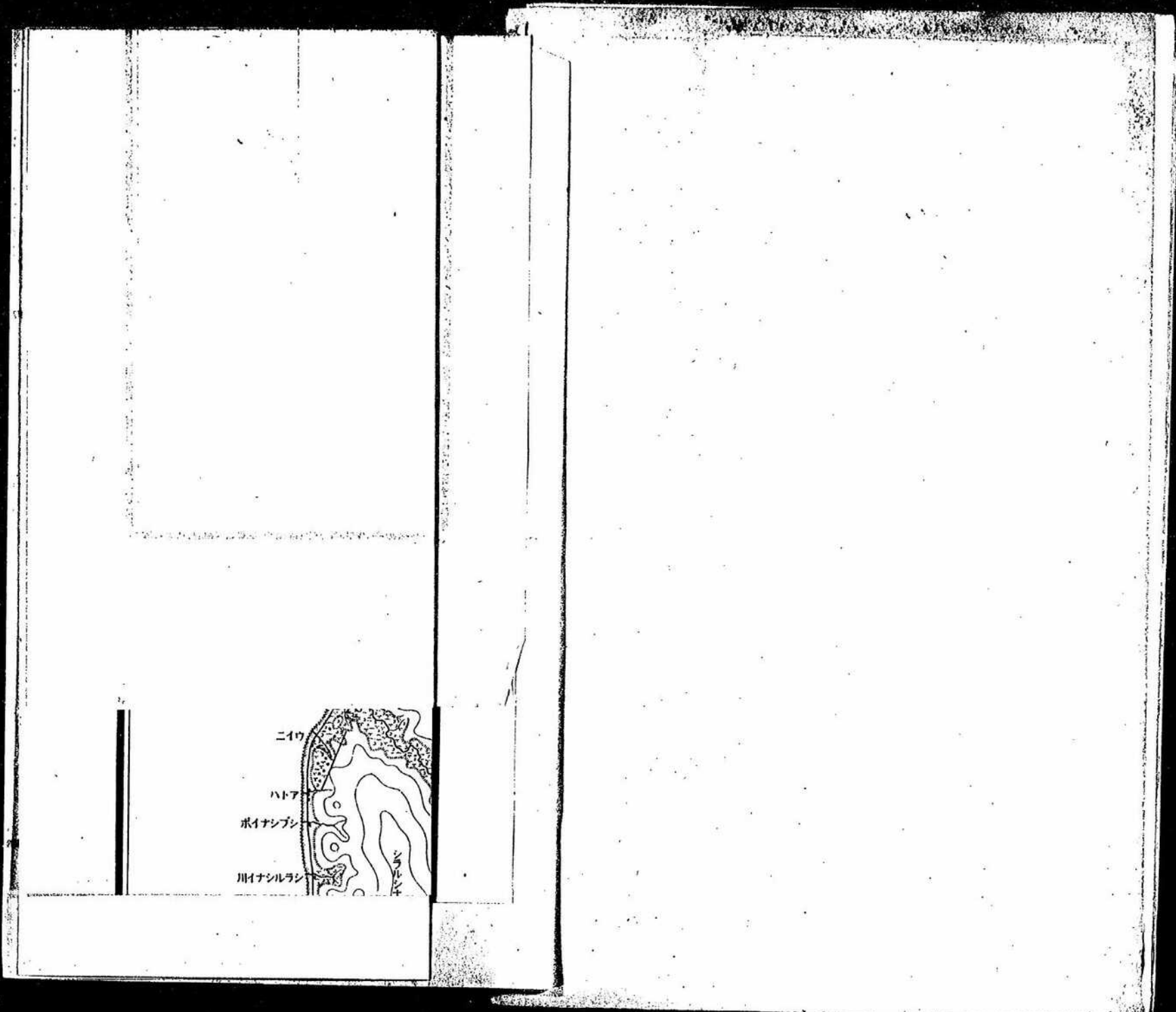
(備考既墾地中ニハ牧草地ヲモ含ム)

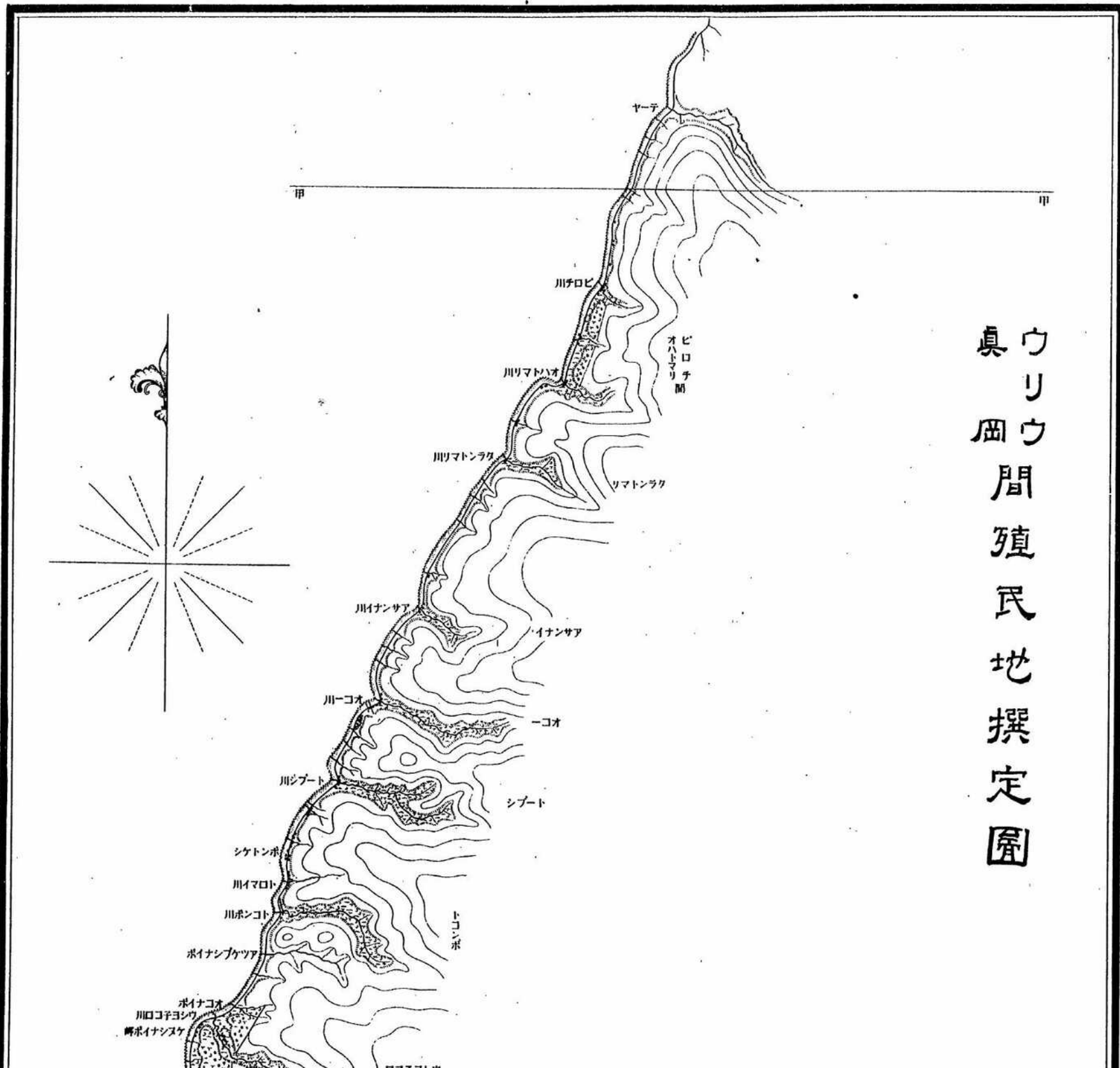
交通及市場

大泊ヲ基點トシ北部ニ通スル幹線道路ハ鈴谷原野ヨリ來リテ本原野ノ中央ヲ貫通

シ東海岸「ドブキ」ニ至リ海岸ニ沿フテ北上ス又内淵川左右岸及「イワノフズコエ」等ニ至ル支線道路アリテ各部落ヲ連絡シ河川ヲ横斷スル所ニハ橋梁竝ニ渡船アリテ車馬ヲ通ス

「トブキ」ニハ豊原支廳出張所郵便局及數戸ノ商舖アリ其他ノ部落ニモ日用品ヲ販賣スルモノアルヲ以テ日常必須ノ物品ハ略々辨スルコトヲ得ヘキモ多量ノモノハ豊原市街ヨリ仰カサルヘカラス其距離最モ近キハ五里遠キハ十五里ナリ



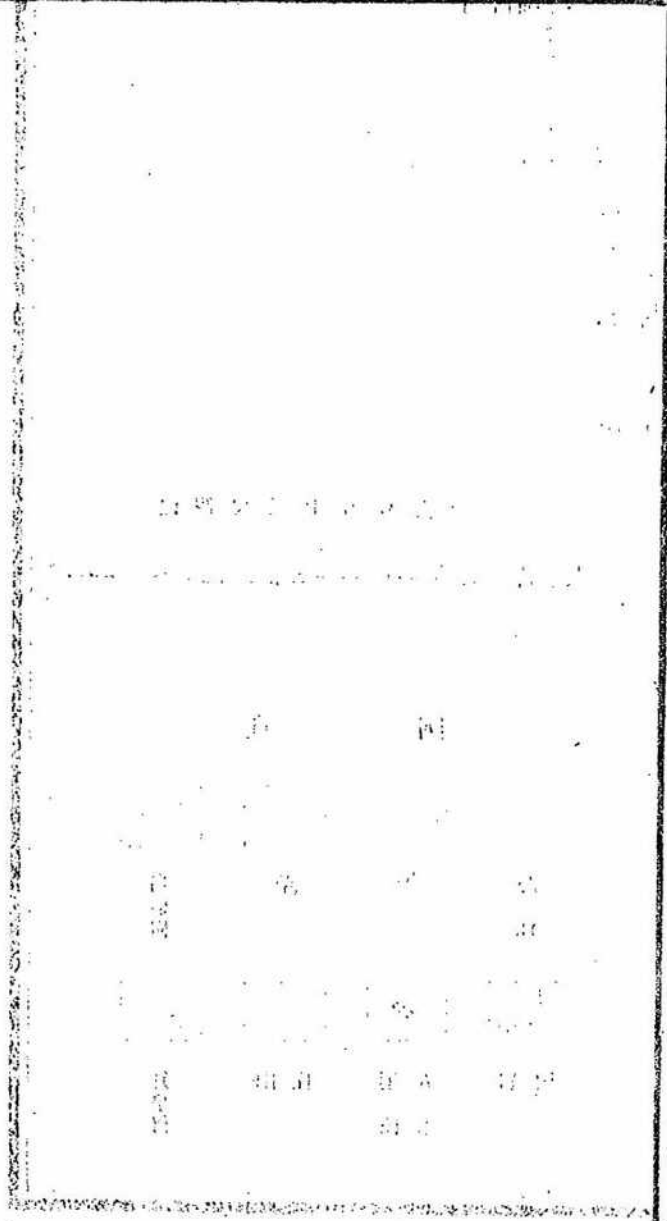


ウリウラ間  
殖民地  
撰定園









### 第三章 ウリウ西能登呂間

中央凹地帯探定地ノ西南端「ウリウ」ヨリ亞庭灣ニ沿ヒ西能登呂岬ニ至ル沿海線ノ延長十八里間ハ本區域ニシテ此ノ間ニ於テ探定シタル原野ハ左ノ八箇所ナリ

原野名	農耕適地	牧場適地	改良後地農	泥炭地	計
下口	1,100,000				1,100,000
トマヤオンナイ	350,000				350,000
トイグシ	100,000				100,000
オホイ	100,000				100,000
ナホイ	300,000				300,000
モシヤ	1,000,000				1,000,000
ナシヤ	150,000				150,000
ナトナイ	1,000,000	500,000			1,500,000
計	5,300,000	500,000			5,800,000

即チ總面積四百四十萬坪内農耕適地三百六十萬坪牧場適地八十萬坪ニシテ一箇所ノ地積大ナルモ百二

十萬坪小ナルハ僅ニ十萬坪ニ過キス此等ノ地ハ西樺太山脈ニ源ヲ發シ東流シテ亞庭灣ニ注ク河川流域ノ平地及海岸ニ沿ヒタル臺地ニシテ海岸ニ接近シ比較的交通ノ便利ナル地區ノミヲ探定シタリ然レトモ河川ノ大ナルモノナク從テ中央平野ノ如ク豐饒ナル土壤ニ乏シキモ濕地其他改良施設ノ必要アル地域少ナケレハ其利用ノ程度大ナリトス

本區域内ニ於ケル河川ノ主ナルモノハ「ドロ」トマリオンナイ「ナイチャ」モゴチノ四川ニシテ其幅十間乃至二十間アリ「やまめ」「ひわな」「うぐひ」等ノ小魚多ク又鱒ノ湖上夥シク就中「ベシトル」「ナイチャ」兩川ハ保護河川ナリ

森林一般ノ狀況ハ「ドロ」「ナイチャ」附近ハ「とどまつ」「えぞまつ」「しらかんば」「はんのき」ななかまど」等ノ混生林若クハ針葉樹ノ純林ニシテ其生育良好ナレトモ南方「ライトマリ」ヨリ西能登呂岬方面ニ進ムニ從ヒ針濶混生ノ疎林トナリ生育良好ナラス

交通ハ大泊ヨリ「ウリツ」マテ陸上十五里「ルウタカ」ヨリ七里半アリ「ウリツ」ヨリ南方「ライトマリ」マテ十一里間ハ海岸ノ砂上ヲ通行スルニ過キス所々私設渡船場アレトモ滿潮ノ時或ハ波濤高キ日ニアリテハ行通杜絶スルコトアリ更ニ「ライトマリ」ヨリ西能登呂間ハ山脈延テ海岸ニ迫リ或ハ斷崖トナリ或ハ岩石海濱ニ堆積スルアリ殊ニ「ライトマリ」ノ險アルヲ以テ陸上ノ交通最モ困難ナリ海上ノ交通ハ夏期ハ沿海各漁場ニ出入スル汽船、小廻船アルヲ以テ比較的便利ナレトモ冬期ハ全ク交通杜絶ス

絶ス

本區域ニハ海岸一里乃至二里ヲ隔テテ十六箇所ノ漁場アル外未タ部落ヲ形成シタル所ナク從テ商舖トテモナケレハ物資ヲ得ルコト甚タ困難ニシテ遠ク大泊市街ヨリ求メサルヘカラス  
交通及市場ノ狀況前述ノ如クナルヲ以テ移民ヲ收容セムト欲セハ陸路ヲ開鑿シ又大泊ヲ基點トシテ沿岸各地間ニ小汽船ノ定期航海ヲ開クノ必要アリ

### 第一節 ドロ原野

位置及地勢 本原野ハ留多加原野ノ南十四里「ドロ」川沿岸ノ地ニシテ地形東西ニ延長シ三方山ヲ以テ圍マル唯東方ノミ亞庭灣ニ臨ム

面積 總面積百二十萬坪 農耕適地

土性及植物 河岸ノ地ハ砂質壤土深サ三尺乃至五尺アリテ地味肥沃ナレトモ沿海二三百間ノ地ハ卑濕ニシテ耕作容易ナラス概ネ「やなぎ」「はんのき」とどまつ」ノ疎林ニ樹下「ななつば」「ぼらな」「ふき」「しもつけそら」「とくさ」「あざみ」ヲ生ス

氣候 留多加原野ト大差ナシ

排水水害及用水 海岸附近ノ濕地ハ排水ノ必要アリ「ドロ」川ハ下流ハ潤濁セルモ上流及支流



ハ清涼ニシテ飲料ニ適シ水害ノ憂ヲ認メス

**交通及市場**

本地ハ陸路大泊ヨリ二十一里ニルウタカヨリ十四里ニシテ海濱ノ砂上ヲ往來スルニ過キス附近ニハ漁舍ノ所々ニ散在スルノミニシテ物資ハ遠ク大泊ヨリ移入セサルヘカラス然レトモ未タ海上ノ交通不便ナルヲ以テ困難ナルヘシ

**第二節 トマリオンナイ撰定地**

本地ハ「ルウタカ」ヲ距ル南方十五里「トマリオンナイ」川ニ沿ヒタル狭長ノ地ニシテ幅約二百間延長二千五百間地積三十五萬坪三方山ニ圍マレ東方亞庭灣ニ面ス河岸ノ地ハ砂質壤土ニシテ三尺乃至四尺アリ河岸ヲ距レ山趾ニ近ツクニ從ヒ粘質壤土トナリ其深サ二尺乃至三尺アリ共ニ地味良好ナリ所生植物ハ「やなぎ」「あかだも」「しらかんば」「とどまつ」「えぞまつ」ノ混淆林ニ「ななつば」「ぼうな」「ふき」「あざみ」「しもつけそう」笹等ノ下草アリ湿地ナクシテ概ネ直ニ耕作ヲ爲シ得ヘク河水ハ飲料ニ適シ水害ノ憂ナク氣候及交通等ハ「ドロ」原野ト大差ナシ

**第三節 トイクシ撰定地**

本地ハ北「トマリオンナイ」ト南「オーホイ」トノ中間「トイクシ」川沿岸ノ地ニシテ延長約二千間幅五十間地積十萬坪アリ「やなぎ」「はんのき」等ノ疎林ニ「ななつば」「ぼうな」「ふき」等ヲ生シ一般砂質壤土ニシテ地味肥沃農耕ニ適ス「トイクシ」川ハ清澄ニシテ飲料ニ供スルコトヲ得ヘク交通其他ノ狀況ハ「ドロ」原野ニ同シ

**第四節 オーホイ撰定地**

「トイクシ」ノ南方「オーホイ」川沿岸ノ地ニシテ地積二十萬坪沖積壤土ヨリ成リ地味良好農耕ニ適ス全地「やなぎ」「はんのき」「しうり」「しころ」ノ疎林ニ「ぼうな」「ななつば」「あざみ」「ふき」ヲ生ス河水ハ飲料ニ適シ交通其他ノ狀況ハ「ドロ」原野ト大差ナシ

**第五節 ナイナヤ原野**

**位置及地勢** 「オーホイ」ノ南方「ナイチヤ」川沿岸ノ地ニシテ地勢狹長延長約四千間幅員海岸附近ニ於テ五百間内外アレトモ上流ニ至ルニ從ヒ次第ニ狹少トナル

**面積** 總面積六十萬坪 農耕適地

**土性及植物** 河岸ノ地ハ砂質壤土ナレトモ沿岸ヲ距ルニ從ヒ粘質壤土トナリ共ニ其深サ三尺乃至五尺アリテ地味良好ナリ所生植物ハ「やなぎ」「はんのき」「あかだも」「しらかんば」等ノ闊葉樹ノ疎

林ニ點々「とどまつ」えぞまつ」ヲ交へ「ななつば」わさみ」ぼうな」いたどり」等ノ下草アリ  
排水水害及用水 全地濕地ナキヲ以テ排水ヲ爲ササルモ直ニ耕作スルヲ得ヘク水質ハ良好ニシ  
テ飲料ニ適シ又水害ノ憂ヲ認メス

交通及市場 交通其他一般ノ狀況ハ「ドロ」原野ニ同シ

### 第六節 モゴチ原野

位置及地勢 「ルツタカ」ヲ距ル南十九里西能登呂岬ヲ距ル北七里「モゴチ」川沿岸ノ地ニシテ  
延長三千間幅員三百間内外南北西ノ三面山ヲ繞ラシ東方ノミ亞庭灣ニ面シ地勢東方ニ緩斜ス

面積 總面積百萬坪 農耕適地

土性及植物 一般沖積ヨリ成ル壤土ニシテ地味肥沃ナリ所生植物ハ「やなぎ」はんのき」しう  
り」しころ」しらかんば」ノ疎林ニ點々「とどまつ」えぞまつ」ヲ交へ下草ニハ「ななつば」わさみ」  
「ぼうな」いらくさ」笹等ヲ生セリ

排水水害及用水 本地内ニハ所々ニ濕地アレトモ排水容易ナリ河水ハ下流ハ微濁ヲ帶フルモ飲  
料ニ供スルコトヲ得ヘシ又河岸高キヲ以テ水害ノ憂ナク水深キカ故ニ里餘ノ間磯舟ヲ湖上スルコトヲ  
得ヘシ

交通及市場 交通其他ノ狀況ハ「ドロ」原野ト大差ナシ

### 第七節 ナシヤ撰定地

「モゴチ」原野ノ南方一里「ナシヤ」川沿岸ノ狭少ナル地ニシテ地積十五萬坪「やなぎ」はんのき」  
らかんば」とどまつ」えぞまつ」笹及雜草ヲ生セル砂質壤土ニシテ地味良好直ニ耕作スルコトヲ得ヘ  
シ「ナシヤ」川ハ少シク濁ヲ帶フルモ飲料ニ供スルコトヲ得ヘク氣候其他ノ狀況ハ「ドロ」原野ト大差  
ナキモ交通ハ陸上「ライトマリ」ノ險アリ海上亦小舟ノ便少ナキヲ以テ一層不便ナリトス

### 第八節 ナモトナイ原野

位置及地勢 西能登呂岬ヲ距ル北方三里「ルツタカ」ヲ距ル西南二十六里本區域内ニ於ケル最  
南端ノ撰定地ニシテ「ナモトナイ」川沿岸ノ平地及高臺地ヲ含ミ地勢西北ヨリ東南ニ漸降シ海岸ニ至  
リ斷崖ヲ形成ス

面積 總面積八十萬坪 牧場適地

土性及植物 河岸ハ平地少ナク概ネ高臺地ニシテ地味肥沃ナラサレトモ「やなぎ」はんのき」し  
らかんば」なら」ななかまど」とどまつ」えぞまつ」等ノ混生疎林ニ笹及雜草ノ繁茂良好ナルノミナ

ラス河水清澄土地高燥ナルヲ以テ牧場地トシテ最モ適當ナリ

**交通及市場** 交通ハ西能登呂岬ノ殆ト最端ニ入り陸上ハ岩石堆積シテ歩行尙ホ困難ナルノミナラス附近漁場トテモナケレハ夏期ト雖船舶ノ出入スルモノナキヲ以テ其便ニ依ルコト能ハス氣候ハ潮流ノ關係上變化甚シキカ如キモ温度ハ略々「ルウタカ」地方ト同一ナリ

### 第四章 西能登呂真岡間

本區域ハ西能登呂岬ヨリ西海岸ニ沿ヒ北真岡ニ至ル三十六里間ニシテ其撰定調査シタルハ左ノ十九箇所ナリ

原野名	農耕適地	牧場適地	牧改良後地	泥炭地	計
ヘシトマナイ	140,000				140,000
ソ	140,000				140,000
エ	40,000				40,000
トク	140,000				140,000
カル	100,000				100,000
アト	140,000				140,000
ナ	140,000				140,000
キ	140,000				140,000
南	140,000			140,000	280,000
モ	100,000				100,000
シ	40,000				40,000
ウ	140,000	140,000			280,000
ナ					
イ					
ホ					
コ					
ロ					
間					
計	1,400,000	140,000		140,000	1,680,000

第四章 西能登呂真岡間

四三

計	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000
トコンボ	6,500,000			6,500,000
トイブシ	9,000,000			9,000,000
オコ	8,000,000			8,000,000
アサンテイ	1,800,000			1,800,000
タラントマリ	1,700,000			1,700,000
オハトマリ	100,000	1,100,000		1,200,000
計	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000

即ち總面積千五百三十五萬四千坪農耕適地千八十九萬六千五百坪牧場適地四百二十六萬七千五百坪泥炭地十九萬坪ニシテ農耕適地ノ割合甚々多シ

此等ノ地ハ皆西樺太山脈ニ源ヲ發シ西流シテ日本海ニ注ク諸川流域ノ平地及沿岸ニ沿ヒタル臺地ニシテ海岸ニ接近シ交通比較的便利ナル地區ヲ撰定シ前掲ノ地積ヲ得タルモ尙上流地方及海岸傾斜地等ニハ將來農牧ニ利用セラルヘキ土地少ナカラス

本區域中ニ於ケル河川ハ二十餘アレトモ分水嶺ト海岸トノ距離近ク幅二十間乃至二十四五間ニ達セルハ僅ニ「南ナヤシ」「シイナイ」ノ二川ニシテ其他ハ四五間乃至七八間ニ過キス從テ沿岸廣潤ナル平野ナキモ水流急ナルヲ以テ濕潤ナル土地少ナク直接農耕ニ著手セラルヘキ地積多シ河水ハ概ネ清澄ニシテ「やまめ」「あめまき」「さわな」「さくら」等ノ小魚ヲ産シ殊ニ「トーブシ」「タラントマリ」「アサンナイ」

「オコー」「トコンボ」「南ナヤシ」等ノ諸川ハ鮭ノ浜上ヲ以テ著名ニシテ共ニ保護河川ナリ

本區域内海岸一帯ノ林相ハ粗惡ナル針澗混澗林ニシテ就中真岡「オハトマリ」間及「ナイボロ」附近ノ如キハ幾度カ火災ニ罹リタル遺地ニシテ僅ニ「しらかんば」「さんざし」等ノ稚樹ヲ存スルノミ「南ナヤシ」附近ヨリ西能登呂岬ニ至ルニ從ヒ澗葉ノ疎生地ト無立木地ト相錯綜セリ上流地方及山骨山脈ニ至リテハ針澗混澗林及純林ニシテ林相ノ美ナルモノアリ樹種ハ針葉樹ニ在リテハ「とどまつ」「えぞまつ」ノ二種ニシテ落葉松ハ全ク之ヲ見ス澗葉樹ニ在リテハ「あかだも」「やちだも」「しらかんば」「はんのさ」「いたや」「ななかまど」「やなぎ」「さんざし」にはとこノ類ヲ主トスレトモ此ノ地方ハ氣候ノ比較的溫暖ナル爲メ島内他ノ地方ニ於テ見サル所ノ「やまざくら」「ぶどう」「こくわ」「しろろ」「はりざり」「しらり」等ヲ生セリ

本區域内ノ陸上ハ未ダ道路ナク纔ニ海濱ノ砂上ヲ往來スルノミ就中西能登呂「ソーニ」間ノ如キハ著名ノ難所ニシテ通行最モ困難ナリ河川中渡船ノ存スルハ五箇所ニシテ其他ハ渡船ナク橋梁ナキヲ以テ融雪及霖雨ノ際ハ交通杜絶スルヲ常トス海上ハ四月ヨリ十月ノ間ハ概シテ靜穩ナレハ磯舟又ハ川崎船等ヲ用ヒ各地間ヲ往復スルコトヲ得ヘク又各漁場ニ出入スル汽船ノ便アルヲ以テ地方住民ハ多ク其便ヲ利用シテ運輸ヲナシ又越年ノ物資モ亦此期ニ於テ準備スルヲ常トス此ノ地方ノ海岸ハ甚シキ結氷ヲ見ス四時航海ヲ爲シ難キニアラサルモ海岸一ノ港灣ナキヲ以テ安全ニ船舶ヲ碇繋スル能ハス



之ヲ要スルニ當地方ノ現在ハ交通不便ノ狀態ニアルヲ以テ移住者ヲ招致セント欲セハ海岸ノ道路ヲ開  
鑿シ小蒸汽ヲ以テ沿海ノ定期航海ヲ開始スルノ必要アリ

此地方ニ於テハ未タ農牧業ヲ經營セルモノナキモ「トコンボ」「南ナヤシ」其他ニ於テ栽培セル馬鈴薯  
及各種ノ蔬菜類ヲ見ルニ生育良好ナルヲ以テ氣候ト綜合スレハ眞岡地方ニ於ケル成績ニ劣ラサルヤ必  
セリ

四十一年五月末西能登呂眞岡間ニ於ケル現住者ハ總計百五十戸ニシテ内アイヌ二十九戸朝鮮人二戸清  
國人六戸アリ此内「テイヤ」原野ニ於ケル移住農民ヲ除ケハ他ハ悉ク漁業者ノミニシテ「トロマイ」ノ  
四十戸「ビロチ」ノ十戸「トープシ」ノ十二戸「タラントマリ」ノ十戸ヲ主ナルモノトシ其他ハ一二戸乃至  
四五戸點々散在スルノミナリ而シテ以上ハ眞岡ヨリ南方「ナイボロ」ニ至ル間ノ區域ニ於ケル狀態ニ  
シテ「ナイボロ」以南ニアリテハ半里乃至一里間ニ散在セル特許漁場ノ外漁民ノ在住スルモノナク殊  
ニ「モイレトマリ」ヨリ西能登呂ニ至ル十六里間ハ「ソーニ」河口ニ一箇所ノ特許漁場アルノ外全ク無人  
ノ境ナリトス

斯ノ如キ狀況ナルカ故ハ物資ハ殆ト眞岡ヨリ隨時移入スルヲ常トシ各地ヲ通シテ多數ノ貨物ヲ貯藏セ  
ルカ如キ商舖ハ之ヲ見ルコト難シ四十二年ニ至リ「ホントケシ」ニ眞岡支廳出張所及郵便局ヲ設ケラレ  
タリ

### 第一節 ペシトマナイ撰定地

西能登呂岬ヲ距西北四里西海岸眞岡ヨリ南方三十二里「ペシトマナイ」川沿岸ノ地ニシテ延長八百  
間幅員二百間内外ニシテ地積十七萬坪「やなぎ」「はんのき」ノ疎林ニ「ななつば」「ぼうな」「あざみ」笹  
等ヲ生シ概ネ粘質壤土ヨリ成リ農耕ニ適ス附近數里ノ間ハ絶テ人家ナク又道路モナク纔ニ海岸ヲ往來  
スレトモ斷崖及岩石ノ堆積スル所アリテ交通最モ不便ナリ物資ハ遠ク眞岡ヨリ移入セサルヘカラサル  
モ海上ノ交通亦便利ナラス氣候ハ眞岡地方ト大差ナキカ如シ

### 第二節 ソーニ撰定地

眞岡ヲ距ル南三十里「ソーニ」川沿岸ノ狹長ナル地ニシテ延長約二千間幅員二百間地積十五萬坪粘質  
壤土ニシテ農耕ニ適シ河岸ハ「やなぎ」「はんのき」「しらかんば」「ななつば」「ぼうな」「あざみ」等ヲ生  
シ海岸附近ノ草原濕地ニハ「あひぬはら」「よし」「すげ」等ヲ生ス「ソーニ」川ハ少シク濁色アルモ飲料  
ニ適シ海岸ノ濕地ハ排水ノ必要アリ「ソーニ」河口ニ漁舍一戸アルノミニシテ附近人家ナク道路ハ素  
ヨリ加工シタルモノニアラサレハ交通困難ナリ

第三節 エルイ撰定地

「ソーニ」ノ北方一里餘「エルイ」川沿岸ノ地ニシテ地積八萬坪農耕ニ適スル粘質壤土ナリ所生植物交通市場其他ノ狀況「ソーニ」ト大差ナシ

第四節 トクスナイ撰定地

真岡ヲ距ル南二十七里「トクスナイ」川沿岸ノ地ニシテ地積十三萬五千坪「やなぎ」「はんのき」ノ疎林ニ「あざみ」「ぼうな」「ななつば」「ふさ」「とくさ」「あいぬわら」等ヲ生セル粘質壤土ニシテ農耕ニ適ス交通其他ノ狀況ハ「ソーニ」ニ異ナラス

第五節 カルバシモナイ撰定地

真岡ヲ距ル南方二十六里「カルバシモナイ」川沿岸ノ地ニシテ地積十萬坪粘質壤土ヨリ成リ「やなぎ」「はんのき」等ノ疎林ニ雜草笹ヲ生シ農耕ニ適ス

第六節 アトワタンナイ撰定地

真岡ヲ距ル南方二十四里「アトワタンナイ」川沿岸ノ地ニシテ地積十七萬坪粘質壤土ヨリ成リ農耕ニ適ス所生植物ハ「やなぎ」「はんのき」ノ疎林ニ「あざみ」「ぼうな」「ななつば」「ふさ」「しらべ」等「あいぬわら」及笹等ナリ河水ハ飲料ニ適シ交通市場ハ「トクスナイ」ニ同シ

第七節 ヤロマナイ撰定地

真岡ヲ距ル南方二十三里「ヤロマナイ」川沿岸ノ地ニシテ地積十三萬坪「やなぎ」「はんのき」ノ下ニ「あざみ」「ななつば」「ふさ」「とくさ」「しらべ」等ヲ生セル粘質壤土ニシテ地味肥沃農耕ニ適ス交通其他ノ狀況ハ「トクスナイ」ニ同シ

第八節 キトウシナイ撰定地

真岡ヨリ南方二十二里「キトウシナイ」川沿岸ノ地ナリ地積三十五萬坪「やなぎ」「はんのき」「しうり」「あかだも」等ノ潤葉樹ニ點々トどまつ「えぞまつ」ヲ生シ下草ハ「あざみ」「ぼうな」「ななつば」「ふさ」「とくさ」「しらべ」「あいぬわら」等ナリ一般粘質壤土ニシテ地味肥沃農耕ニ適ス交通其他ノ狀況ハ「トクスナイ」ニ同シ

### 第九節 南ナヤシ原野

位置及地勢 真岡ヲ距ル南二十里「南ナヤシ」川及其支流一帯ノ地ニシテ略三叉形ヲナシ本流沿岸最モ廣濶ニシテ南支流之ニ次キ北支流最モ狭小ナリ地勢東ヨリ西ニ緩斜シ東南北ノ三方ハ山ヲ以テ圍マレ西方ノミ海ニ面ス

面積 總地積三百二十二萬坪

内訳

三百三萬坪 農耕適地

十九萬坪 泥炭地

土性及植物 本流沿岸ノ地ハ概ネ砂質壤土ニシテ肥沃ナレトモ山趾ニ近ツクニ從ヒ粘質壤土トナリ地味少シク劣レリ本流沿岸ニモ少シク濕地ナキニアラサルモ就中南支流ハ概ネ濕潤ニシテ泥炭地ヲ混セリ所生植物ハ平地ニ在リテハ「やなぎ」「はんのき」等多ク稀ニ「わかだも」ヲ混スレトモ山趾及臺地ニ在リテハ「とどまつ」「えぞまつ」「はんなつば」「ぼうな」「しもつけそう」「いらくさ」「とくさ」「あざみ」「ふき」「いたどり」及笹等多キモ濕地ニハ「すげ」「よし」「あいなわら」ヲ生ス排水水害及用水 本支流沿岸ノ濕地ハ排水容易ナルモ南支流沿岸ニ存スル泥炭濕地ハ河底下ノ

標高上大排水溝ヲ掘鑿セサレハ耕地トナスコト難カルヘシ河水ハ微濁ヲ帶フルモ尙飲料ニ供シ得ヘク河底淺キヲ以テ水害ノ憂ナキニアラス

交通及市場 南「ナヤシ」川口ニハ私設渡船場アリ南一里ニシテ「モイレトマリ」北一里ニシテ「モシラルシナイ」ノ漁場アル外附近人家ナク又道路トテモナケレハ纔ニ海濱ノ砂上ヲ往來スルノミ物資ハ真岡ヨリ移入セサルヘカラス

本地ニハ農業專業ノモノナキモ四十年來居住セル秋田縣人長泉賢勝外三名カ河口附近ニ於テ各二三段歩ヲ開墾シ馬鈴薯蔬菜等ヲ栽培セル結果ニ依レハ何レモ生育良好ニシテ真岡地方ニ於ケル状態ニ異ナラス

### 第十節 モシラルシナイ撰定地

真岡ヲ距ル南十九里「モシラルシナイ」沿岸ノ地ニシテ地積十萬坪砂質壤土ニシテ「やなぎ」「はんのき」「ぼうな」「ななつば」「あざみ」「ふき」等ヲ生シ地味肥沃農耕ニ適ス水質微濁ヲ帶フルモ尙飲料ニ供スルコトヲ得ヘク交通其他ノ狀況ハ「南ナヤシ」ニ同シ

### 第十一節 シラルシナイ撰定地

「モシラルシナイ」ノ北方一里「シラルシナイ」川沿岸ノ地ニシテ地積六萬坪土性植物其他ノ狀況「モシラルシナイ」ニ同シ

### 第十二節 ナイボロ間原野

#### 位置及地勢

本原野ハ北ハ「オコナイボ」ヨリ南ハ「アトワ」ニ至ル沿海一帯ノ地及「シイナイ」川及「ウシヨネコロ」川沿岸ノ平地ヨリ成リ東南北ノ三面ハ山ヲ以テ圍マレ西方ノミ海ニ面ス地勢平坦ニシテ農耕ニ適スルハ河岸ノ地ニシテ其他ハ海岸ノ臺地及山趾ノ延テ稍々平坦トナリタル部分ナレハ起伏多キモ數條ノ小澤其間ニ存シ傾斜亦急ナラサルカ故ニ牧畜經營ノ地トシテハ最モ適當ナリ「シイナイ」川ノ北方ニアル「ナイボロ」川流域ヲ以テ假定原野界トシ北部ヲ「ウシヨネコロ」南部ヲ「ナイボロ」原野トセルモ一般ノ狀況同一ナルヲ以テ茲ニハ併セテ記述スルコトトセリ

面積 總面積六百九十三萬六千五百坪

#### 内譯

三百八十萬九千坪

農耕適地

三百十二萬七千五百坪

牧場適地

更ニ之ヲ原野別トスレハ左ノ如シ

#### ナイボロ原野

總面積四百五十五萬九千坪

#### 内譯

三百十六萬四千坪

農耕適地

百三十九萬五千坪

牧場適地

ウシヨネコロ原野

總面積三百三十七萬七千五百坪

#### 内譯

六十四萬五千坪

農耕適地

百三十七萬二千五百坪

牧場適地

#### 土性及植物

河川沿岸ノ平地ハ概ネ砂質壤土又ハ粘質壤土二尺五六寸乃至三尺ノ下粘土或ハ砂礫土ヨリ成リ地味肥沃ナリ高臺地及傾斜地ハ壤質粘土七八寸又ハ腐植土二三寸ノ下褐色粘質壤土四五寸アリ下層ハ概ネ赤色粘土又ハ砂礫ニシテ地味劣レリ「ウシヨネコロ」川下流ニ存スル草原濕地ハ腐植土二尺乃至四尺ニ達スル所アリ

所生植物ハ河流沿岸ノ地ハ「わかだも」「はんのき」「やなぎ」「にはとこ」「さんざし」「ななかまど」「しこ



ろ「やちだも」「ぶだう」「こくは」等ノ雜林ニ「ぼうな」「なつば」「笹」「とくご」「あざみ」「あひぬわら」「よもぎ」「しらべ」「ぶし」「いたどり」「えぞにら」等茂生シ其生育良好ナリ

高臺地及傾斜地ニハ草地或ハ「とどまつ」「えぞまつ」ノ純林或ハ「ひたや」「はんのき」「しらかんば」「ななかまど」「しな」「なら」等ノ雜林ニ「とどまつ」「えぞまつ」ヲ交ヘタル針潤混清林アリテ一様ナラス下草ハ「あひぬわら」「よもぎ」「あざみ」「わらび」「やまとてつ」ノ類ナリ

排水水害及用水

「ウシヨネコロ」川下流ノ草原濕地ハ其濕潤ノ程度甚タシクシテ排水困難ナレトモ其他ハ耕作者各自ノ小排水ヲ以テ足ルヘシ「シイナイ川」ハ真岡西能登呂間ニ於ケル最大ノ河川ニシテ其幅十七八間乃至二十二三間アリ水量多ク流勢緩ナルヲ以テ川口ヨリ約三里ノ間ハ磯舟ヲ通スルコトヲ得ヘシ「ウシヨネコロ」川ハ其幅七八間水勢急ニシテ舟楫ノ便ナシト雖木材ヲ管流スルニ便ナリ二川共ニ下流ハ微濁ヲ帶フルモ尙飲料ニ供シ得ヘク上流及其他ノ細流ハ皆清澄ナリ「シイナイ」「ウシヨネコロ」兩川共水害ノ形跡ヲ認メスト雖所々ニ流木ノ障滞セルモノアレハ之ヲ除去スルノ必要アリ

交通及市場

本地ヨリ真岡へ十五里陸路ハ海濱ノ砂上ヲ纒ニ往復スルノミナレハ夏期ハ海上附近漁場ニ出入スル汽船又ハ川崎船等ニヨルヲ便トス

本原野ハ海岸ニ特許漁場三箇所「ケヌシナイボ」ニ七八戸ノ雜漁者現住セルノミニシテ商賈トテモナ

ケレハ物資ハ真岡ニ仰カサルヘカラス又農耕ニ從事セルモノナク唯柳谷某ノ漁場ニ於テ牛馬十數頭ヲ飼養セルノミナリ氣候ハ附近同一状態ナルヲ以テ「トコンボ」原野ノ項ニ記述シタリ

第十三節 トコンボ原野

位置及地勢

本原野ハ真岡ヲ距ル南方十二里「トコンボ」川沿岸ノ狹長ナル地ニシテ地勢東西ニ布延シ其延長約二里幅狭キハ四五十間廣キハ三百間アリ海岸ニ存スル小部分ノ草原地ヲ除クノ外ハ悉ク潤葉樹林ニシテ地味肥沃全地農耕ニ適ス

面積

總地積六十五萬三千坪 農耕適地

土性及植物

土性ハ概ネ上層腐植土二寸乃至五寸ノ下淡褐色砂質壤土又ハ粘質壤土二三尺アリ所生植物ハ「やなぎ」「はんのき」最モ多ク「あかだも」「さんざし」「にはとこ」「いたや」「しらかんば」「ななかまど」「ぶどう」等亦混生シ下草ハ「ぼうな」「なつば」「とくご」「しらべ」「あざみ」「よもぎ」「たどり」等ニシテ其生育良好ナリ

排水水害及用水

「トコンボ」川及其支流ハ皆清涼ニシテ飲料ニ適シ水害ノ形跡ヲ認メヌ河幅ハ七八間乃至十間アリテ約一里間ハ小舟ヲ通スヘシ全地甚シキ濕地ナケレハ排水ノ要ナシ

氣候

真岡附近ト大差ナク例年春霜六月初旬秋霜九月下旬又ハ十月上旬ニシテ雪ハ十一月上旬

ヨリ降り十二月根雪トナリ翌年四月下旬ニ至リ融解ス又濃霧其他農作ニ影響アル障害ナシト云フ  
**交通及市場** 本地ヨリ真岡ニ至ル十二里間ハ加工シタル道路ニアラサルモ海濱ノ砂上人馬ヲ通  
 スヘシ夏期ニアリテハ本地ヲ距ル北方二里半ノ「オコー」ニ五月ヨリ十月マテ定期船ノ出入アリ又各  
 漁場ヲ往來スル汽船又ハ川崎船ノ便アレトモ冬期ハ其便ナキヲ以テ交通困難ナリ  
 本地ノ北約半里ノ「トロマイ」ト「ラコタン」ノ海岸ハ真岡以南ニ於テ最モ漁民ノ集合セ  
 ル所ニシテ四十餘戸ノ漁民現住シ三四戸ノ商舖及開業醫アリ日用必需品ハ之ヲ辨スルコトヲ得ヘシ

**第十四節 トーブシ原野**

**位置及地勢** 本地ハ真岡市街ヲ距ル南十里半「トーブシ」川及支流沿岸ノ平地ニシテ地勢東西ニ  
 布延シ延長四千間幅員百間乃至三百間全部潤葉樹林ニシテ直ニ農耕ニ適ス  
**面積** 總面積九十四萬四千五百坪 農耕適地  
**土性及植物** 上層腐植土二三寸乃至四五寸ノ次ニ褐色粘質又ハ砂質壤土一尺四五寸乃至二尺四  
 五寸アリ下層ハ粘土又ハ砂礫ヨリ成ル所生植物ハ「はんのさ」「やなぎ」最モ多ク之ニ「あかだも」「や  
 ちだも」「さんざし」にはとこ「しころ」等ヲ混生シ下草ハ「ななつば」「ぼうな」「あざみ」「しらべな」  
 「とくさ」笹等ヲ主ナルモノトス

**排水水害及用水** 湿地ナキヲ以テ全地殆ト直ニ耕作スルコトヲ得ヘク河水ハ飲料ニ適シ水害  
 ノ憂ヲ認メス

**交通及市場** 本地ヨリ真岡ニ至ル海濱ノ砂道ハ人馬ヲ通スルコトヲ得ヘク海上ノ交通及氣候等  
 ハ「トコンボ」原野ニ同シ

**第十五節 オコー原野**

**位置及地勢** 真岡ノ南方九里「オコー」川沿岸ノ平地ニシテ延長四千間幅員五十間乃至二百間地  
 勢東西ニ長ク東南北ノ三方ハ山ヲ以テ圍マレ西方ノミ海ニ面ス

**面積** 總面積四十五萬八千坪 農耕適地  
**土性及植物** 一般沖積壤土ヨリ成リ其深サ二尺乃至三尺アリ地味肥沃農耕ニ適ス所生植物ハ  
 「はんのさ」「やなぎ」「あかだも」「しころ」にはとこ「しころ」等ノ潤葉樹ニ「しらべな」「とくさ」笹「ななつば」  
 「ぼうな」「あざみ」「こじやく」「ふさ」「いたどり」等繁茂セリ

**排水水害及用水** 「オコー」川ハ幅五間乃至八間アリ水流急ニシテ舟楫ノ便ナキモ清冽ニシテ  
 飲料ニ適シ水害ノ形跡ヲ認メス又湿地ナキヲ以テ排水ノ必要ナシ

**交通及市場** 真岡ニ至ル約九里半ノ海岸道路ハ人馬ヲ通スヘク海上ハ五月ヨリ十月マテ定期船

ノ便アリ「オコー」川口ニハ特許漁場ノ外雜漁者四戸「アイヌ」七戸清國人及朝鮮人各一戸現住シ巡查駐在所及日用品ヲ販賣スル商店アリ現住者ハ前記ノ如クナルモ鮭漁期ニハ出稼ニ來ルモノ多ク一時一部落ヲ形成ス氣候ハ「トコンボ」ニ同シ

### 第十六節 アサンナイ撰定地

眞岡ヲ距ル南八里「アサンナイ」川沿岸ノ地ニシテ地勢東西ニ長ク延長千八百間幅員四十間乃至三百間ニシテ地積十八萬五千坪地味肥沃農耕ニ適ス土性ハ上層二三寸乃至四五寸ノ腐植土ノ次ニ褐色砂質若ハ粘質壤土二三尺アリ下層ハ粘土又ハ砂礫ニシテ「やなぎ」「はんのき」「わかだも」「さんざし」「ななかまど」等ノ潤葉樹ニ「いらくさ」「笹」「とくさ」「ぼうな」「あざみ」等ノ下草アリ

「アサンナイ」及其他ノ細流ハ飲料ニ適シ水害ノ憂ナク眞岡ニ至ル海岸道路ハ人馬ヲ通シ夏期ハ漁場ニ出入スル船便アリ「アサンナイ」河口ニハ雜漁者五戸「アイヌ」三戸居住シ漁業ニ従事セルモ商舖ト稱スヘキモノナキヲ以テ物資ハ眞岡ヨリ仰カサルヘカラス

### 第十七節 タラントマリ撰定地

眞岡市街ヲ距ル南方五里半「タラントマリ」川沿岸ノ地ニシテ地積十七萬七千坪一般褐色ナル砂質壤

土ニシテ其深サ二三尺アリ地味肥沃農耕ニ適ス所生植物交通ノ状態ハ「アサンナイ」ニ異ナラス河水ハ飲料ニ適シ水害ノ憂ナシ

本地ハ眞岡以南ノ各地ニ散在セル「アイヌ」ヲ收容スヘキ豫定地ニシテ現在家屋ヲ建設セシ者十六戸アリ何レモ漁業ニ依リ生計ヲ營メリ又「アイヌ」總代川村初藏ナルモノ漁業ノ傍解業及宿業ヲ爲セリ

### 第十八節 オハトマリ間原野

位置及地勢 眞岡ヲ距ル南方三里「ビロチ」川沿岸ヨリ南「オハトマリ」川沿岸ニ至ル海岸一帯ノ地ニシテ西ハ海ニ面シ他ハ三面山ヲ以テ界ス高臺地其大部ヲ占メ分岐セル小澤其間ニ存在シ起伏多シト雖傾斜緩ナルヲ以テ牧場地トシテ適當ナリ而シテ平坦ニシテ農耕ニ適スル地ハ「オハトマリ」及「ビロチ」川沿岸ノ小部分ニ過キス

面積 總面積百三十四萬四千坪

内 譯

- 二十萬四千坪 農耕適地
- 百十四萬坪 牧場適地

土性及植物 河川沿岸ノ平坦地ハ褐色ナル砂質若ハ粘質壤土ニシテ其深サ一尺四五寸乃至二尺

アリ地味肥沃ナレトモ高臺地及傾斜地ハ上層一二寸ノ腐植土ノ下褐色壤質粘土又ハ砂礫土ヤシテ地味不良ナリ

所生植物ノ河岸ハ「やなぎ」「はなのき」「いたや」「あかだも」「ななかまど」にはとこ」等ノ混生林ニ樹下笹(丈四五尺)「とくさ」「しらべ」「いたどり」「ぼうな」「ななつば」「あざみ」「よもぎ」等繁茂セル高臺地ハ概シテ「とどまつ」「えぞまつ」等ノ針葉樹林ナリシカ如キモ露領時代野火ノ爲メ焼失シ今ハ點々所々ニ生存セルノミニシテ小笹「あいぬわら」「やなぎらん」等繁茂セル傾斜地ハ「いたや」「しらかんば」「あかだも」「ななかまど」ノ下ニ小笹「あいぬわら」「あざみ」「ぼうな」「いたどり」「えぞにう」ノ類ヲ生セリ

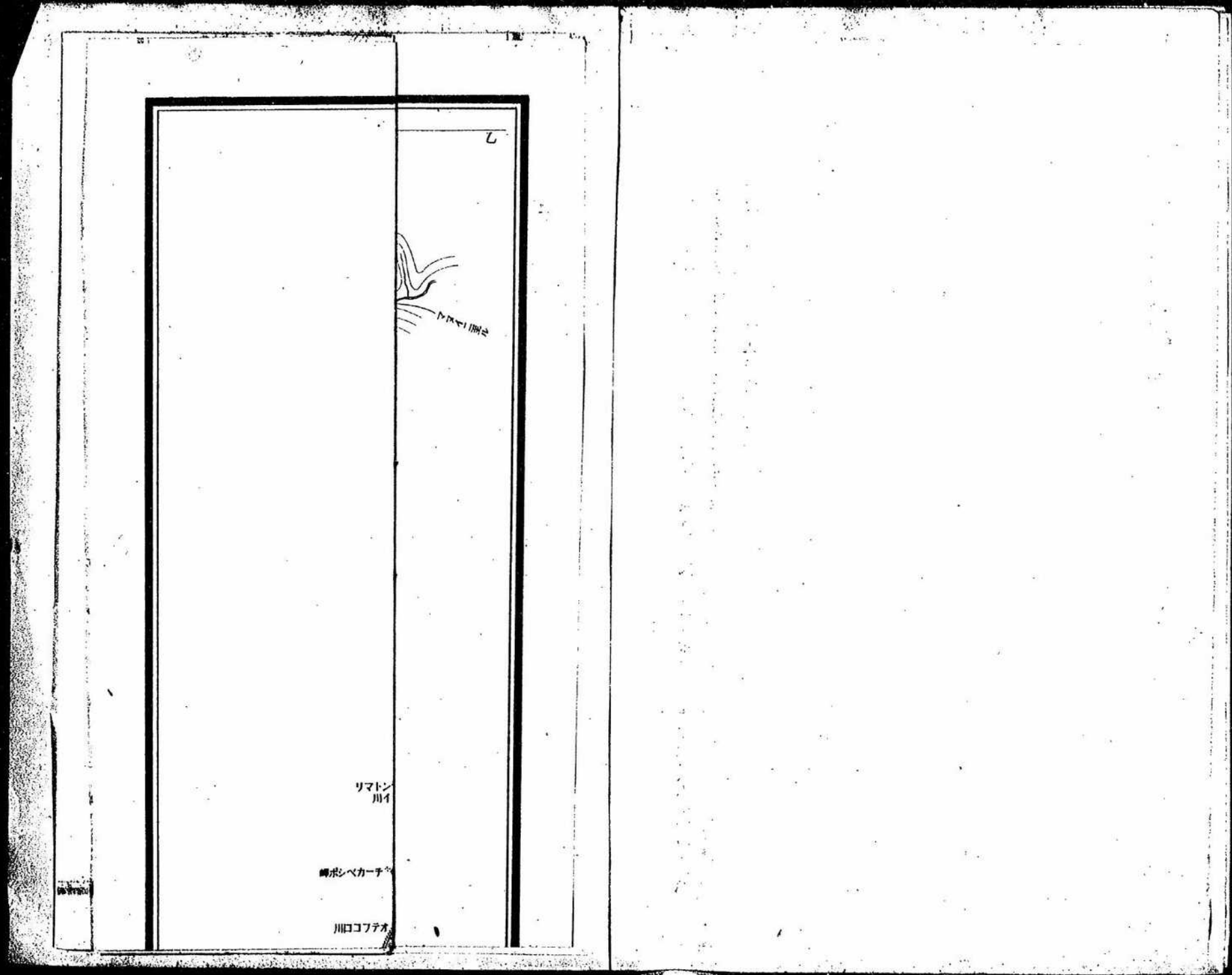
氣候 眞岡ト略同様ナルモ雪ハ此地方一帯十一月初旬ヨリ降り始メ十二月中旬根雪トナリ翌年三月下旬ニハ融解シ積雪亦多カラサルヲ以テ牛馬ノ如キハ周歲七十日内外ヲ除クノ外放牧スルコトヲ得ルト云フ

排水水害及用水 全地乾燥地ニシテ排水ノ必要ナク「オハトマリ」「ピロチ」「トマリボケシ」川ハ共ニ飲料ニ供スルコトヲ得又水害ヲ認メス

交通及市場 眞岡市街ニ至ルニハ北端「ピロチ」ヨリ約三里南端「オハトマリ」ヨリ四里半ニシテ海岸道路ハ人馬ヲ通シ海上ハ小艇船ニテ交通スルコトヲ得ヘシ「ピロチ」川口ニ十月「トマリボ

ケシ」ニ五戸「オハトマリ」川口ニ五戸ノ雜漁者アリ又「トマリボケシ」ニハ朝鮮人六七名居住シ漁業ノ傍木挽等ヲ爲シ牛馬十二三頭ヲ飼養セリ  
物資ハ眞岡市街ヨリ購入スルヲ便トス





7



リマソン  
川イ

鋼ボシベカーチ

川口コフテオ









クシエンナイ	11,100,000	11,100,000		6,400,000
計	21,400,000	16,400,000	4,000,000	3,000,000

即ち總面積三千二百六十六萬七千八百坪内農耕地一千四百四十六萬一千八百坪牧場適地一千六百八十二萬坪改良後農牧利用見込地四百三十八萬六千坪ナリ此等ノ地ハ交通便ニシテ近ク開發セラルベキ地ノミヲ撰定シタルヲ以テ尙河川ノ上流地方及海岸ノ高臺地等ニ於テモ將來農牧ニ利用セラルヘキ地域少ナカラス調査地ハ皆西樺太山脈ニ源ヲ發シ西流シテ日本海ニ注ク河川沿岸及瀕海ノ地ナリ河川ノ大ナルハ「ノトロ」「トーブツ」「オンネナイ」「バツコナイ」「オテフコロ」「トマリオロ」「クシエンナイ」等ノ諸川ニシテ幅六七間乃至二十四五間アリ屈折多キモ水流急ニシテ流域長カラサルカ故ニ沿岸廣潤ナル平野ニ乏シ瀕海地ハ廣面積ノ箇所少ナカラサレトモ概ネ濕潤ナルカ若クハ瘠薄ニシテ其利用ノ程度河川沿岸地方ニ比シ遙ニ劣ル河川ハ概ネ「あめます」「いわな」「いとう」「やまめ」「うぐい」等ノ小魚ヲ産シ又「トーブツ」「ノタサン」「オテフコロ」「トマリオロ」「ナイオロ」等ノ諸川ハ鮭鱒ノ湖上多ク共ニ保護河川ナリ

本區域内ニ於ケル森林ハ海岸附近ハ針葉ノ混淆林ナレトモ其他ハ針葉ノ純林ニシテ就中「トシナイケシ」「ノタサン」及「オテフコロ」等ハ西海岸森林中最良ノ部分ニ屬ス樹種ハ針葉樹ニアリテハ「とど

まつ」「えぞまつ」ノ二種ニシテ落葉松ハ「ノタサン」川上流ノ一部分ニ生育セルニ過キス混淆林ニアリテハ「とどまつ」「えぞまつ」ニ「やなぎ」「はんのき」「わかだも」「やちだも」「ななかまど」「さんざし」「しらかんば」「いたや」「どろのき」等ナリ

眞岡ヨリ「クシエンナイ」ニ至ル陸上三十里間ハ未タ築造シタル道路ナク辛フシテ人馬ヲ通スルハ眞岡「ノタサン」間ニシテ其他ハ纒ニ步行シ得ルニ過キス難所ト稱スルハ「トーブツ」「ニタス」間「チーカイ」「ウツス」間「チラヨフナイ」「ナイオロ」間ニシテ斷崖海ニ迫リ波濤荒キ時ハ全ク通行スル能ハス然レトモ數里ヲ隔テテ驛遞ノ設ケアリ又河川ニハ渡船場アルヲ以テ北部地方ノ如キ困難アラズ海上ノ交通ハ眞岡「ノタサン」「トマリオロ」等ノ小港アリ且ツ沿海漁場多キヲ以テ夏期ハ定期船及社外船ノ出入多ク又各地間ニ小艇船ノ便アルカ故ニ不便ヲ感スルコト少ナキモ各港灣ハ未タ加工セス且ツ碇泊地域狭キヲ以テ大船ヲ繫留スル能ハサルノミナラス天候險惡ナルトキハ碇繫スルコト難シ冬期ハ各地ヲ通シテ結氷甚タシカラサルモ天候ノ不良ナルト港灣前述ノ如キ狀況ナルヲ以テ眞岡ヲ除クノ外ハ殆ト船舶ノ出入ヲ見ス

本區域内ハ西海岸中住民最モ多ク且ツ夙ニ開發セラレシ部分ナリ眞岡ハ本島三市街ノ一ニシテ重要ナル地位ヲ占メ「クシエンナイ」「ノタサン」「トマリオロ」等ハ之ニ次クノ市場ニシテ其他十數戸乃至數十戸ノ部落少ナカラス日用ノ物資ハ殆ト隨所之ヲ辨スルコトヲ得ヘシ然レトモ住民ノ多クハ漁業者及

商業者ニシテ専ラ農耕ニ従事セルモノハ僅ニ「テーヤ」アラクワイ「ウエントマリ」ノ三部落ニ過キ  
サレトモ各漁場概ネ蔬菜ヲ栽培セサルハナク此等ノ結果ニ依レハ頗ル農耕ノ有望ナルヲ示セリ

### 第一節 テーヤ撰定地

**位置及地勢** 真岡市街ヲ距ル南方約一里「テーヤ」川沿岸ノ狹長ナル平地ニシテ東北南ノ三方  
ハ山ヲ以テ圍繞セラレ西ハ僅ニ開キテ海ニ面ス地勢西方ヨリ東南方ニ布延シ延長二千四百間幅員四五  
十間乃至二百間アリ

**面積** 總面積十九萬八千六百坪 農耕適地

**土性及植物** 上層黒色腐植土二三寸次層砂質又ハ粘質壤土二三寸ニシテ地味最モ肥沃ナリ新生  
植物ハ「あかだも」「おひよう」「はんのき」「やなぎ」「しらかんば」「いたや」「にはとこ」等ノ闊葉樹ニ「ほ  
うな」「ななつば」「あざみ」「いらくさ」「あひぬわら」「えぞにう」「とくさ」笹等ノ雜草能ク繁茂セリ

**氣候** 真岡ト同シク豊原地方ニ比シ稍々溫暖ニシテ三十九年ヨリ四十年ニ互ル霜雪ノ時期ハ春霜  
六月十四日秋霜十月四日初雪十一月二日積雪三尺乃至四尺ニシテ四月中旬ニ融解セリ

**排水水害及用水** 濕潤ナル土地ナキヲ以テ排水ヲ施スノ要ナク水害モ亦之ヲ見ス河水ハ清澄  
ニシテ飲料ニ適ス

### 部落及農耕ノ狀況

本地ニハ三十九年五月以來九月ノ移住者假小屋ヲ設ケテ居住シ二段歩乃  
至二町歩ヲ開墾作付セリ作物ハ自家用裸麥ノ外販賣用蔬菜類ニシテ其主ナルモノハ裸麥、蕎麥、馬鈴  
薯、甘藷、蘿蔔、豌豆、大豆、菜豆、蕪菁、茄子、胡瓜、葱、胡蘿蔔、牛蒡、菜種等ニシテ皆良好ナ  
ル生育ヲ遂ケ一段歩裸麥一石二三斗馬鈴薯三十俵内外ノ收穫アリ其他蔬菜モ皆相當ノ收穫アリ之ヲ真  
岡市街及附近漁村部落ニ販賣シテ百圓乃至三四百圓ノ收入ヲ得冬期ハ木材薪等ノ伐採及炭燒ニ従事セ  
リ

**交通及市場** 真岡ヨリ海岸ニ沿ヒ本地入口ニ至ル道路及本地ノ中央ニ至ル一里餘ノ道路ハ四十  
年住民共同シテ開墾シタルモノニシテ車馬ヲ通スルコトヲ得ヘシ物資ハ真岡ヨリ購買スルヲ常トス

### 第二節 フラクワイ撰定地

真岡市街ノ北端ヲ流ルル「アラクワイ」川沿岸ノ地ニシテ延長千八百間幅員廣キモ百餘間ニ過キス地  
積九萬三千五百坪上層黒色腐植土二三寸次層褐色粘質壤土二三尺アリ地味良好農耕ニ適ス所生植物霜  
雪時期ハ「テーヤ」ト大差ナク河水ハ清冽ニシテ飲料ニ用フルコトヲ得ヘシ本地ニハ三十九年以降開  
墾ニ従事セルモノ三戸アリ各自數段歩ヲ作付セリ其作物ノ種類生育ノ狀況ハ「テーヤ」ト大差ナシ豊原  
真岡ノ道路ハ本地ノ中央ヲ貫通シ真岡市街ニ接近セルヲ以テ生産物ノ販賣日用品ノ購入ニハ利便多シ

### 第三節 ウェントマリ撰定地

真岡市街ノ北方約一里「ウェントマリ」川沿岸ノ狭長ナル地ニシテ地積十一萬六千二百坪アリ土性植物及霜雪時期ハ「テイヤ」ニ同シク水害ノ憂ナク河水ハ飲料ニ適セリ  
 本地ニハ三十九年以降四戸ノ農民來住シ一町歩乃至一町五段歩ヲ作付セリ其作物ノ種類收穫量等ハ「テイヤ」ト大差ナク夏期ハ栽培セル蔬菜類ヲ真岡市街及附近部落ニ販賣シ冬期ハ炭ヲ燒キ真岡市街ニ賣出シ各相當ノ收益ヲ擧ケツツアリ真岡市街ニ至ルニハ遠キモ一里半ヲ出テス車馬ノ通行安全ナリ

### 第四節 ポロトマリ撰定地

真岡ヲ距ル北方約一里半「ポロトマリ」川沿岸ノ潤葉樹及草生地ニシテ地積九萬三千坪土性及植物ハ「テイヤ」ニ同シク地味良好農耕ニ適セリ海岸ニハ雜漁場アリ又本地内ニハ四十年來一戸ノ移住者居住シ五段歩ヲ開墾シ麥類蔬菜類ヲ耕作セリ其生育ノ狀況「テイヤ」ニ異ナラス  
 本地内ニハ徑路アリ海岸真岡ニ至ル道路ハ車馬ヲ通ス物資ハ真岡市街ヨリ仰カサルヘカラス

### 第五節 トンナイケシ原野

**位置及地勢** 真岡市街ヲ距ル北方三里半「トンナイケシ」川及其支流沿岸ノ平地ニシテ南北東ノ三面ハ山ヲ繞ラシ西ハ僅ニ開キテ海ニ面ス地勢狹長東ヨリ西ニ長ク延長三千間幅員百間乃至二百間ニシテ最も廣キモ五百間ニ過キス

**面積** 總面積九十七萬八千坪 農耕適地

**土性及植物** 河岸ハ一般沖積ヨリ成ル土壤ニシテ上層褐色壤土二尺乃至四尺下層赤色粘土ナリ  
 濕潤地ハ上層腐植土五寸乃至一尺次層褐色壤質粘土七八寸下層赤色若クハ青色粘土ニシテ共ニ地味肥沃ナリ

所生植物ハ「はんのき」「やなぎ」「しらかんば」「にはとこ」「さんざし」「やちだも」「あかだも」等ノ樹林ニ「なつば」「ぼうな」「よもぎ」「あやみ」「しらべ」「さたどり」「あさぬわら」「よし」等ノ雜草密生繁茂セリ

**排水水害及用水** 本地内ニハ所々ニ濕地アレトモ濕潤ノ度甚シカラサルヲ以テ耕作者各自小排水溝ヲ設クレハ足ルヘシ

河水ハ本流ハ下流ニ至レハ微濁ヲ帶フルモ上流及支流ハ飲料ニ適シ又水害ノ形跡ヲ認メス

**交通及市場** 真岡ニ至ル海岸道路ハ人馬ノ通行安全ナルノミナラス夏期ハ海上ノ船便自在ニシテ交通至便ナリ物資ハ多量ノモノハ真岡市街ヨリ仰カサルヘカラサルモ「トンナイケシ」河口ヨリ數

町ナル「オラントマリ」ニハ宿業雜貨商アリテ日用ノ必需品ヲ辨スルコトヲ得ヘク又附近漁村落多キヲ以テ蔬菜類ノ販賣ニハ便宜多シ  
本地ニハ未タ在住者ナク從テ作物生育ノ狀況ヲ知ルコト難シト雖霜雪ノ時期ハ「テイヤ」ト大差ナク且ン附近海岸部落ニ耕作セル蔬菜等ノ生育狀況ニ徴スレハ普通ノ作物ハ充分ナル成熟ヲ遂クルコト疑フ容レス

### 第六節 トコタン原野

**位置及地勢** 真岡市街ヲ距ル北方四里「トコタン」川沿岸ノ地ニシテ地勢東西ニ延長シ幅員下流ハ五百間アレトモ上流ニ進ムニ從ヒ漸次狭小トナリ河口ヨリ千五百間ノ所ニ至レハ僅ニ七八十間ニ過キス下流地方ノ大分ハ沼地又ハ濕地ニシテ直接農耕ニ適スルハ全地積ノ二分ノ一ニ過キス  
面積 總地積六十八萬二千坪

内 譯  
三十四萬六千坪 農耕適地  
三十三萬六千坪 改良後農牧適地

**土性及植物** 河岸ハ上層砂質壤土二三尺下層褐色粘土ヨリ成リ濕地ハ腐植土四五尺ノ下赤色若

クハ青色粘土ナリ

所生植物ハ「はんのき」最モ多ク「やなぎ」「やちだも」「しらかんば」「ななかまど」「にはとこ」等ノ潤葉樹ニ「ぼうな」「なつば」「あざみ」「いらくさ」「よし」等繁茂ス

**排水水害及用水** 下流地方ニ於ケル沼地及濕地ハ排水困難ニシテ其他排水ヲ要スル箇所多シ河水ハ飲料ニ適シ水害ノ憂ヲ認メス

**交通及市場** 真岡ニ至ルニハ海陸共ニ交通便利ナレトモ原野内ニハ居住者ナク從テ徑路タモナシ物資ハ真岡ヨリ購入スルヲ宜シトス

### 第七節 ノトロ原野

**位置及地勢** 本原野ハ真岡ヲ距ル北方約五里ノ「シーヤナイボ」ヨリ北「ニタス」ニ至ル海岸一帯ノ地ヲ總稱シタルモノニシテ東ハ山麓ヲ以テ界シ「ノトロ」岬西方ニ斗出シ略三角形ヲナス地勢平坦ニシテ南北ノ延長約六里ニ互ル廣濶ナル平原ナレトモ地味概ネ粗惡ニシテ直ニ農耕ニ適スルハ「ノトロ」川沿岸及「ニタス」附近ノ小部分ニシテ僅ニ全面積ノ十四分ノ一ニ過キス「ノトロ」川以北ノ地ハ泥炭性濕地ニシテ充分ナル排水ヲ施スニアラサレハ農牧用地ト爲シ難ク「ノトロ」川以南ノ地ハ概ネ砂地ニシテ魚立木地若クハ矮小ナル樹林草生地ナレハ放牧地トシテ利用スルヲ適當トス



面積 總面積千五十八萬六千坪

内 譯

八十六萬六千坪

農耕適地

五百六十七萬坪

牧場適地

四百五萬坪

改良後農牧見込地

土性及植物 河岸ノ地ハ褐色壤土三四尺アリテ地味良好「あかだも」「はんのき」「おひよう」ななかまど」「さんざし」にはとこ」等ノ潤葉樹ニ「ななつば」「ぼうな」「あざみ」「よもぎ」「しらくさ」「さたどり」「あいぬわら」等ノ下草アリ

山趾附近及臺地ハ黑色腐植土三四寸ノ下褐色壤質粘土ナリ植物ハ多クハ針葉樹ニシテ點々「はんのき」「しらかんば」「混生シ下草ハ「くまそてつ」「あいぬわら」藓苔等ナリ

湿地ハ樹林草生ノ二種アリ樹林湿地ハ腐植土二尺乃至五尺ニシテ下層ハ粘土又ハ砂土ヨリ成リ「やちだも」「はんのき」「やなぎ」等ニ「よし」「あいぬわら」ななつば」「みづはせを」「すげ」等ノ下草アリ草生湿地ハ概ネ泥炭性ニシテ腐植土ノ深サ七八尺ニ達スル處アリ小笹「よし」「よもぎ」「すげ」「あいぬわら」及種々ノ谷地草ヲ生セリ

「ノトロ」川以南ノ大部分ヲ占ムル砂地ハ其層深ク魚立木地若クハ矮小ナル「かしわ」「はんのき」「やなぎ」「しらかんば」「とどまつ」ノ粗林ニ小笹「かや」「あいぬわら」「たかねいばら」ヲ生セリ

排水水害及用水 前述ノ如ク湿地多キヲ以テ將來之ヲ利用セムト欲セハ大排水ヲ施スノ必要アリ「ノトロ」川ハ幅十五間乃至二十間ニシテ水量多ク流勢緩ナルカ故ニ河口ヨリ二里間ハ舟楫ノ便アリ河水ハ上流及支流ハ飲料ニ供スルコトヲ得ヘキモ河口附近ハ潤濁セルヲ以テ井戸ヲ穿ツヲ宜シトス

交通及市場 本原野南端ヨリ真岡市街ニ至ル五里北端ヨリ北方「トーブツ」部落ニ至ル約一里ニシテ原野ノ中央「ノトロ」河口北岸ニハ驛遞アリ海岸道路ハ人馬ヲ通スルモ貨物運搬ハ海運ニ依ルヲ便トス「トーブツ」ニハ旅人宿雜貨商等アリテ日用品ヲ辨シ得ヘキモ此間「ニタス」ノ輸アレハ物資ハ真岡ヨリ購入シテ回送スルヲ安全トス

### 第八節 トーブツ撰定地

真岡ヲ距ル北方十一里「ノタサシ」ヲ距ル南方一里「トーブツ」川沿岸ノ地ニシテ延長千八百間幅員百三四十間地積十八萬八千坪アリ河岸ハ沖積壤土三四尺山趾附近ハ上層腐植土三四寸ノ次ニ褐色壤土アリテ下層ハ砂礫又ハ粘土ナリ  
所生植物ハ「あかだも」「はんのき」「やなぎ」「しらかんば」「しな」「いたや」「ななかまど」にはとこ」等ニ「ななつば」「ぼうな」「しらくさ」「さたどり」「あざみ」「あいぬわら」「とくさ」等ノ下草アリ一般地味

良好ナリ

一部ニハ小排水ヲ施スノ必要アレトモ概ネ直ニ耕作スルコトヲ得ヘク水害ノ形跡ハ認メザルモ河岸一部ノ低地ハ大水ノ時ハ浸入スルコトアルヘシ河水ハ飲料ニ適セリ  
 本地ヨリ真岡及「ノタサン」ニ至ルニハ海濱ノ砂上ヲ通行シ得ヘキモ「ニタス」附近ハ風波ノ荒キ時ハ通行杜絶ス海上ハ夏秋ノ交ハ小汽船及小廻船ノ便アリ  
 「トーブツ」河口ニハ六十餘戸ノ住民アリ數戸ノ雜貨商ハ日用品ヲ販賣スレトモ多數ノ物資ハ真岡若クハ「ノタサン」ヨリ移入スルヲ宜シトス又本地ハ土人收容豫定地ニシテ既ニ河口附近ニ十數戸居住セリ

### 第九節 ノタサン原野

**位置及地勢** 真岡市街ヲ距ル北方十二里「オンネナイ」川及「バツコナイ」川沿岸ノ地ニシテ共ニ地勢狹長東方ニ布延シ平坦ナル樹林地ナリ  
**面積** 總面積二百四十萬七千五百坪 農耕適地

内 譯  
 百十二萬五千坪 オンネナイ川沿岸  
 百二十八萬二千五百坪 バツコナイ川沿岸

**土性及植物** 河岸ハ概ネ褐色壤土二尺乃至五尺ノ下粘土又ハ砂礫ヨリ成リ山趾附近ハ腐植土二三寸ノ下褐色粘質壤土四五寸アリテ下層ハ粘土又ハ砂礫ナリ

所生植物ハ「やなぎ」「はんのき」「わかだも」「やちだも」等ノ潤葉樹ノ下「ななつば」「ぼうな」「あざみ」「S. reticulata」「S. reticulata」等繁茂セリ

**氣候** 真岡地方ト大差ナシ

**排水水害及用水** 「オンネナイ」「バツコナイ」兩川共水流急ニシテ舟楫ノ便ナキモ木材ノ管流ニ適ス然レトモ所々ニ流木停滞セルヲ以テ之ヲ除去セサルヘカラス水質ハ清澄ニシテ飲料ニ供スルコトヲ得ヘク又水害ノ憂ナシ

**交通及市場** 南方真岡ニ至ル陸路ハ未タ完全ナル道路ナク纔ニ海岸ノ砂道ニ依リ人馬ヲ通スルモ風波ノ荒キトキハ交通杜絶スルコトアリ海上ハ三月ヨリ十一月マテ真岡小樽函館等ヨリ汽船ノ出入頻繁ナルヲ以テ頗ル便利ナリ

「ノタサン」市街ハ本原野ノ入口ニアリ戸數約百戸真岡支應出張所郵便局等アリ附近部落ノ市場ニシテ日用ノ物資ハ皆購入スルコトヲ得ヘシ物價ハ真岡ニ比シ約二割ノ高價ナリトス

### 第十節 トマリオロ原野

位置及地勢

本原野ハ「ノタサン」ヲ距ル北方十里「クシユンナイ」ヨリ南方七里「トマリオロ」川沿岸ノ地ニシテ地勢東方ニ布延シ延長三千三百間幅員二百間乃至六百間三方山ニ圍マレ西方ノミ海ニ面ス

面積

總面積百二十一萬五千坪

農耕適地

土性及植物

川畔ノ地ハ砂質壤土ニシテ其深サ二三尺アリ山趾附近及臺地ハ上層腐植土ニ寸乃至五寸ニシテ下層ハ粘土又ハ砂礫ヨリ成ル

所生植物ハ「あかだも」「やちだも」「やなぎ」「はんのき」「しらかんば」「しゆり」「どろ」等ノ潤葉樹ニ「とどまの」「えぞまの」ノ針葉樹ヲ混生シ下草ハ「ななつば」「よさ」「あざみ」「やまとてつ」「あいにわら」等ナリ

氣候

真岡ト大差ナキモ少シク低温ナルカ如シ

排水水害及用水

本原野ニハ濕潤ナル地多キヲ以テ充分ニ排水ヲ施スノ必要アリ水害ハ其形跡ヲ認メス「トマリオロ」川ハ幅二十五間内外アリテ四里以上ノ上流ヨリ木材ヲ管流スルコトヲ得ヘク河水ハ本支流トモ飲料ニ適ス

交通及市場

本地ヨリ陸路真岡ニ至ル二十二里「クシユンナイ」ニ至ル七里ニシテ共ニ海濱ノ砂道ヲ往來スルモ風波荒キトキハ通行困難ナル處少ナカラス海路ハ毎月數回定船ノ出入アリ又春秋ノ

間ハ社外船ノ往復多キヲ以テ交通便利ナリ「トマリオロ」河口兩岸ニハ百數十戸ノ住民アリ又真岡支廳出張所郵便局ノ所在地ナリ附近部落ノ市場ナルヲ以テ日常ノ必需品ハ概ネ辨スルコトヲ得ヘシ附近山林ニハ多ク松茸ヲ産シ又上流ニハ豐富ナル炭層アリテ樺太廳探炭試驗場アリ農耕ニハ未タ從事セルモノナキモ附近部落ニ於テ蔬菜類ノ生育ハ良好ナル結果ヲ示セリ

第十一節

イナオロ原野間

位置及地勢

本原野ハ南「チラフヨナイ」ヨリ北「クシユンナイ」ニ至ル沿海一帯ノ地ニシテ南ハ「チラフヨナイ」川ヲ以テ界シ北東ハ山麓ヲ限リトシ西ハ海ニ面ス地勢平地ニ乏シク起伏多キヲ以テ平坦ニシテ農耕ニ適スルハ「ナイヨロ」及「クシユンナイ」川沿岸ノ小部分ナリ其他ハ概ネ高臺地ニシテ牧場適地ナリ而シテ「ナイオロ」「クシユンナイ」間ニ假定原野界ヲ置キ南方ヲ「ナイオロ」原野北方ヲ「クシユンナイ」原野トセリ

面積

總面積千六百一十一萬坪

内譯

四百九十六萬坪

農耕適地

千百十五萬坪

牧場適地

之ヲ原野別トスレハ左ノ如シ

ナイオロ原野

總面積九百十八萬坪

内譯

二百六十二萬坪

農耕適地

六百五十六萬坪

牧場適地

クシユンナイ原野

總面積六百九十三萬坪

内譯

二百三十四萬坪

農耕適地

四百五十九萬坪

牧場適地

土性及植物

河川沿岸ノ地ハ概ネ褐色砂質壤土又ハ粘質壤土ニシテ其層二尺乃至五尺地味肥沃ナリ高臺地ハ上層腐植土二寸乃至五寸ノ次ニ褐色壤質粘土六七寸下層ハ粘土又ハ砂礫トス濕地ハ概ネ上層黑色腐植土五寸乃至一尺ニシテ次層ハ褐色或ハ青色壤質粘土ナレトモ「ナイオロ」川及「クシユンナイ」川下流ノ草原濕地ハ泥炭性ヲ帶ヒ其層深ク四尺乃至七尺ニ達スル處アリテ排水困難ナルカ如キ

キモ草生ヒ宜シキヲ以テ草刈場トシテ使用スルコトヲ得ヘシ

所生植物ハ河岸ノ平地ニハ「やなぎ」「はんのき」最モ多ク「わかだも」「やちだも」「ななかまど」「しらかんば」「さんざし」等之ニ次キ下草ハ「ぼうな」「なつば」「とくさ」「あざみ」「あいのわら」「よもぎ」「えぞにう」等繁茂セリ高臺地ハ海岸ニ接スル二三百間ヲ除クノ外ハ概ネ「とどまつ」「えぞまつ」ノ針葉樹林ニシテ下草ハ「あいのわら」小笹「やまそてつ」ノ類ナリ濕地ハ多ク「よし」「あいのわら」ヲ生セル草原ナレトモ「はんのき」「やちだも」若クハ落葉松「ひめしやくなき」ヲ生セル樹林濕地アリ氣候 眞岡地方ニ比スレハ稍々低温ニシテ例年春霜六月初旬秋霜九月下旬初雪十月下旬積雪四五尺ニシテ翌年四月中旬ニ至リ融解スト云フ

排水水害及用水 兩原野共河川下流地方ハ大排水ヲ施スノ必要アリ上流地方ハ排水ノ必要アル處少ナキモ融雪期ニハ或ハ浸水ノ虞アル箇所アリ河水ハ兩川共下流ハ微濁ヲ帶フルモ上流及支流ハ清流ニシテ飲料ニ適ス

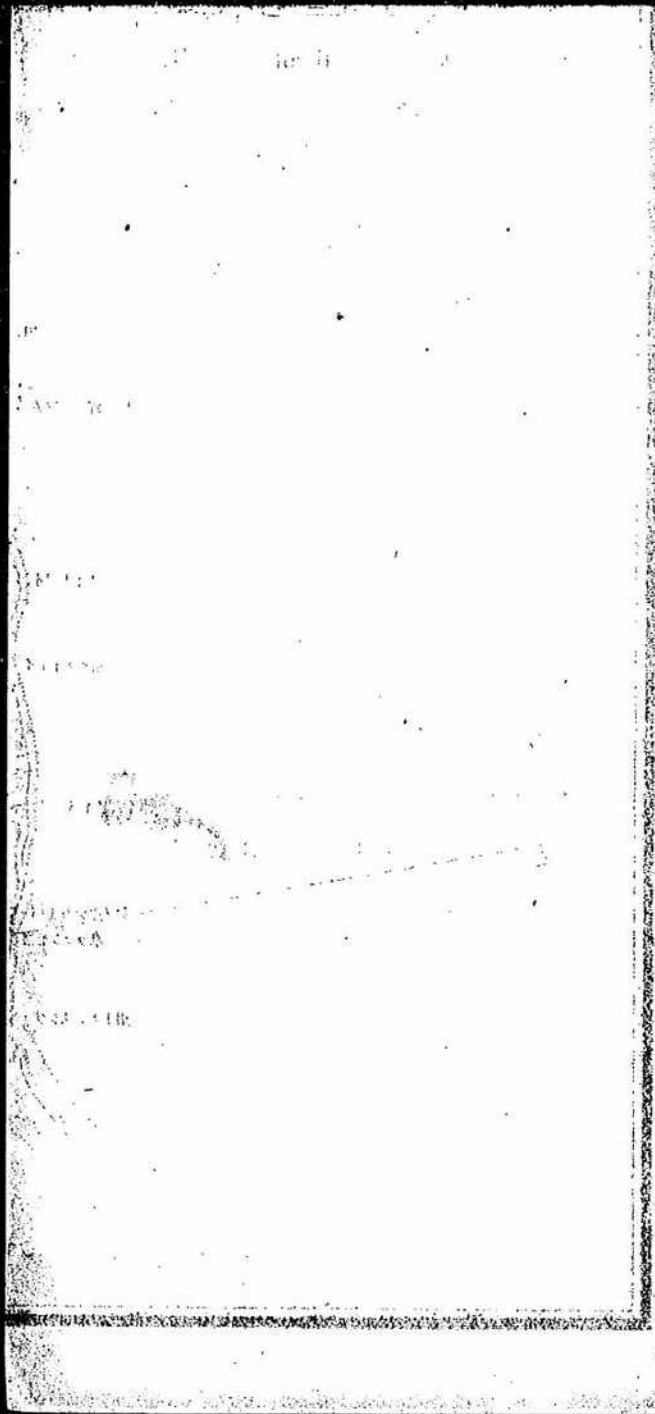
交通及市場

陸路眞岡ニ至ルニハ「ナイオロ」ヨリ二十六里「クシユンナイ」ヨリ三十里又「クシユンナイ」ヨリ東海岸「マヌイ」ニ至ル約八里ニシテ共ニ完全ナル道路ナク纔ニ人馬ヲ通スルノミ海上ノ交通ハ「クシユンナイ」ニハ夏期定期船及社外船ノ出入アリ函館小樽眞岡トノ往復便利ナリ「ナイオロ」ハ「クシユンナイ」ノ南方四里ナレハ小舟ニ依リ此等ノ出入ノ汽船ニ連絡スルヲ宜シトス



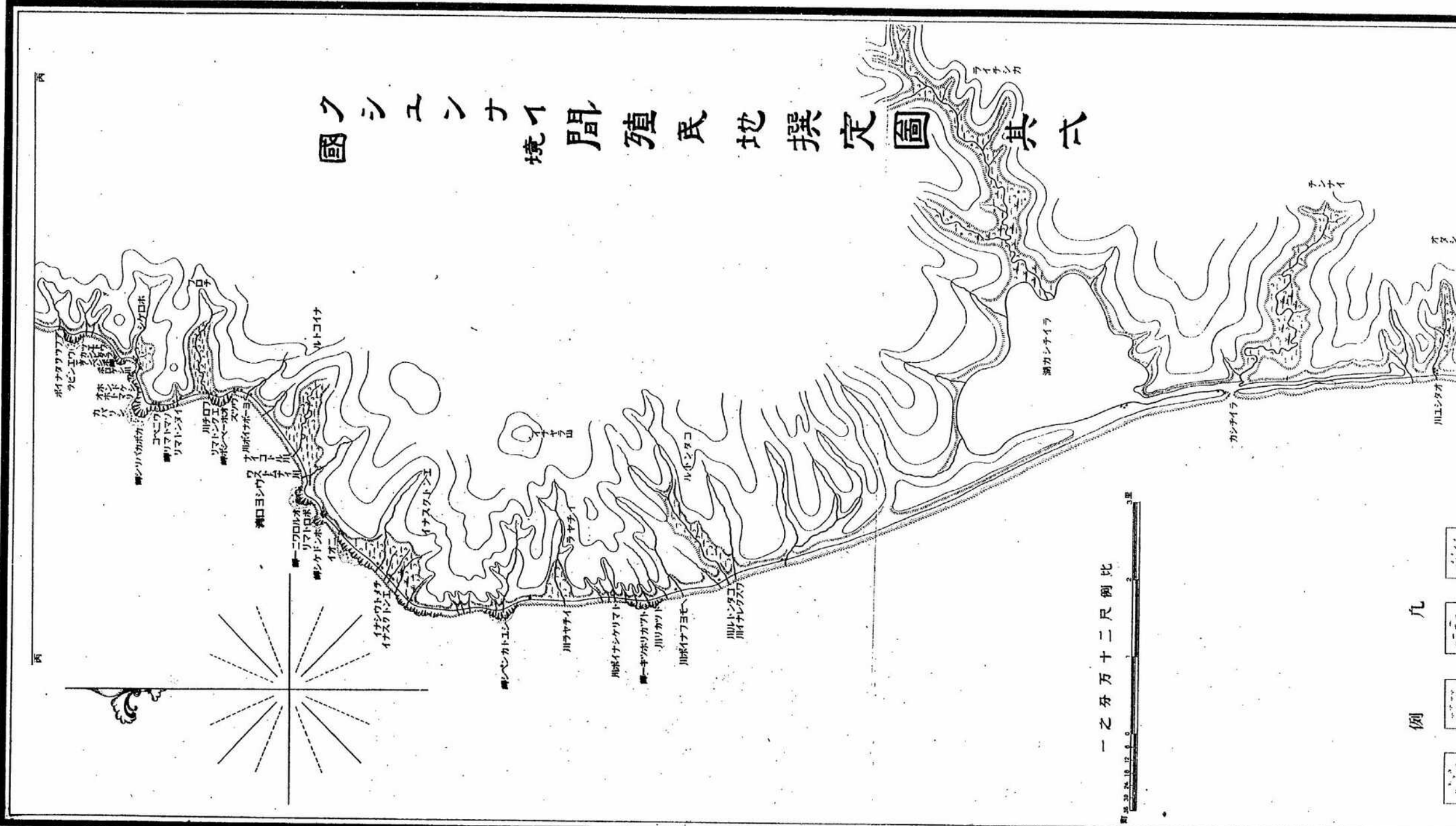
「クシユンナイ」ハ四十年市街宅地ヲ測設シ戸數約百戸眞岡支廳出張所郵便局病院及三三三戸ノ商舖宿業者アリテ裕ニ日用ノ物資ヲ供給スルコトヲ得ヘシ物價ハ眞岡ニ比シ約三割ノ高價ナリ

二原野海岸地方漁業者ノ蔬菜ヲ栽培セル外未タ農耕ニ從事スルモノナキモ「クシユンナイ」市街附近ニハ露人遺殘ノ家屋及既墾地アリ露領時代ニハ盛ニ牧畜ヲ營ミ附近一帯ノ地ニ放牧セシカ如キ形跡アリ現ニ漁業者中二三十頭ノ牛馬ヲ飼養セルモノ數戸アリ



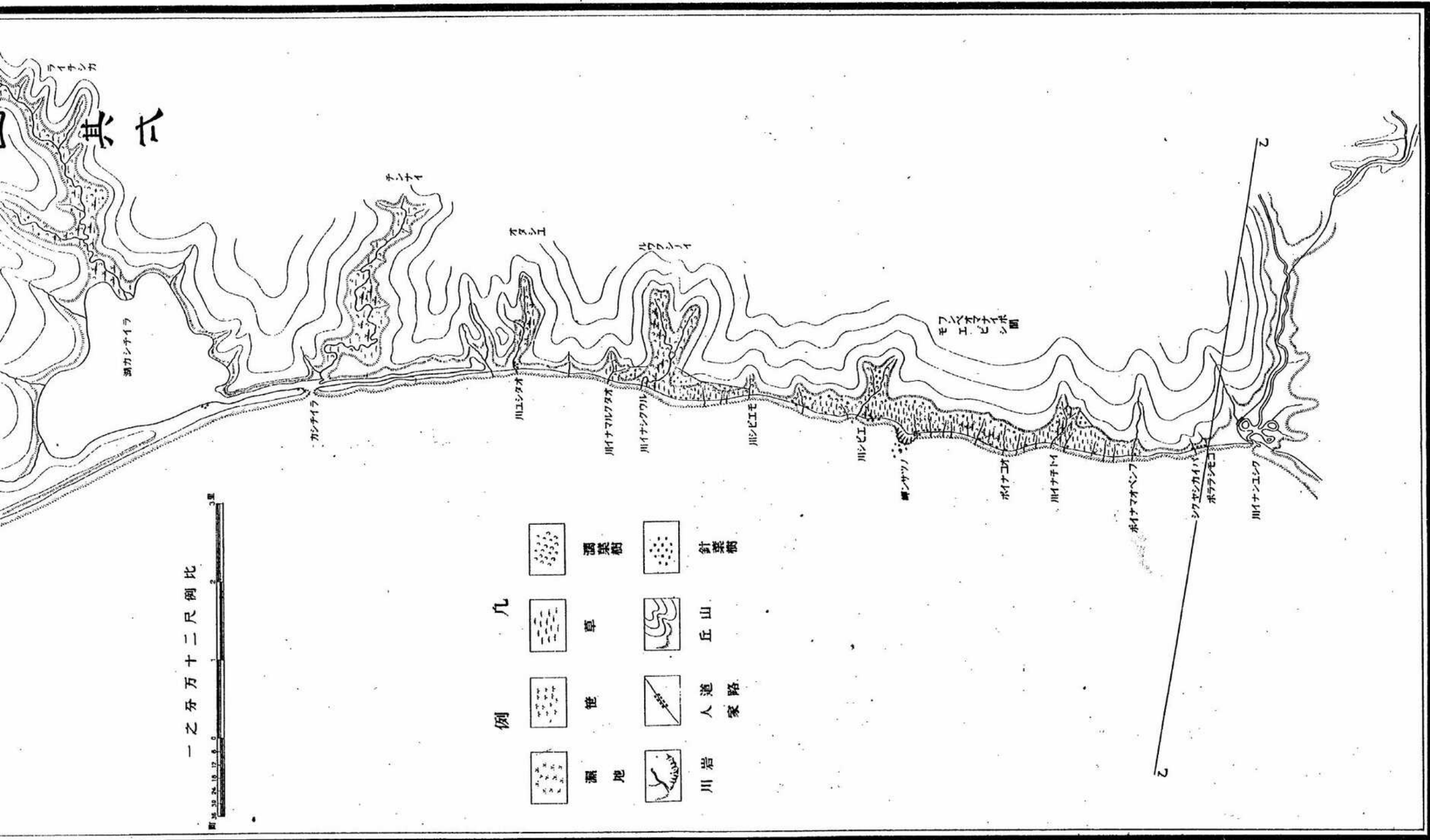


# 國ノシエニナイ 境 間 殖 民 地 撰 定 圖 其 一



一之分万十二尺例比

例 九



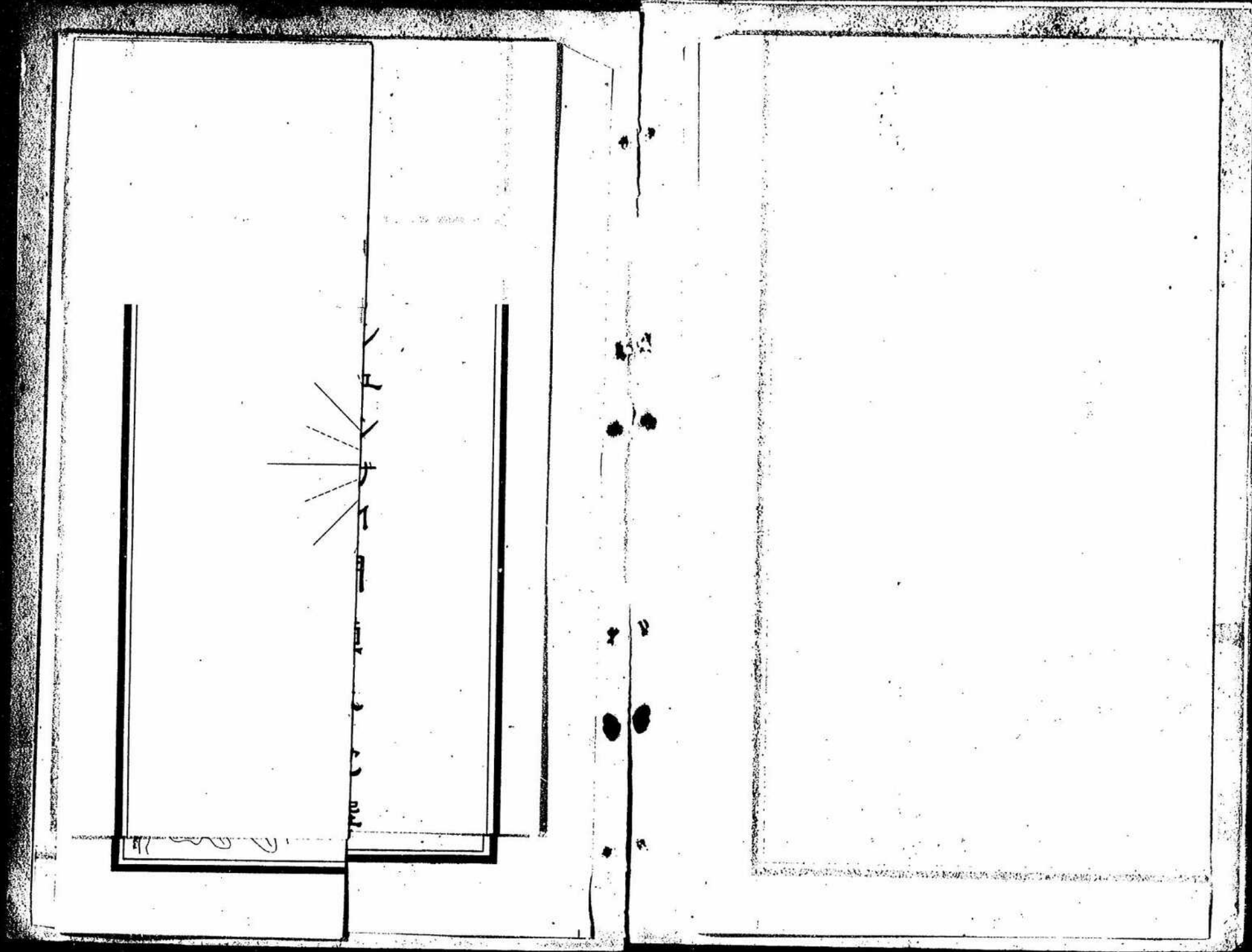
一之分万十二尺例比



例 凡

	源池		針葉樹
	笹		湧菜樹
	草		丘陵
	人道		丘陵
	川岩		人道
	人道		人道
	人道		人道
	人道		人道

裏面白紙











計	一九〇一、〇〇〇	七五八、五〇〇	五、一四〇、〇〇〇	三、四〇〇、〇〇〇
エストラル	1,100,000			9,100,000
チオナイ	1,100,000			1,100,000
モロロチ	1,100,000			1,100,000
ボシヤシ	1,100,000			1,100,000
北名好	1,100,000			1,100,000
サクコタン	2,500,000			2,500,000
ヨツキナイ	3,800,000			3,800,000

即ち總面積三千二百五十四萬五千坪内農耕適地千九百九十萬二千坪牧場適地七百五十一萬八千坪泥炭地五百十二萬坪ニシテ地積ノ大ナルモノハ「フンベオマナイボ」「モエビシ」間諸川沿岸流域及海岸臺地ヲ包含セル地、「モエビシ」川北岸ヨリ「ルウクシナイ」川流域一帯ノ地、「エストル」川及「ライチシカ」川流域ノ地ニシテ「チンナイ」「フロチ」「ナイコトル」川流域ノ地ニ次キ概シテ「ウシヨロ」岬以南ニハ大地積ノ箇所多ク以北ニハ少ナシ殊ニ北名好國境十七里間ハ山趾海ニ迫リテ平地ニ乏シク稍廣キハ「サクコタン」「ヨツキナイ」ノ二箇所アルノミナリ一般ニ西海岸南部ノ撰定地ニ比シ地積廣大ナレトモ氣候交通土質等ヲ綜合觀察スレハ其利用ノ價値劣等ナル所多シ

本區域内ニ於ケル河川ノ大ナルモノハ北名好(幅三十間内外)「エストル」(幅五十間乃至六十間)「ライ

チシカ」(幅三十間乃至三十五間)「チンナイ」(幅二十五六間乃至三十間)等ニシテ其他五六間乃至十二間ノモノ多數アレモト概ネ水流急ニシテ舟楫ノ便アルハ「北名好」「エストル」「ライチシカ」「チンナイ」等ノ數川ニ過キス各河川共概ネ小魚ヲ産スルモ鮭鱒ノ多ク沂上スルハ「北名好」「フロチ」「コタントル」ノ三川ニシテ共ニ保護河川ナリ

本區域内ハ概ネ海岸ヨリ直ニ樹林ヲ生シ殊ニ「バイカイシヤクシ」「エストル」「ライチシカ」各川「ライチシカ」及「オムト」湖畔地方ニハ落葉松ノ純林多ク分水嶺ノ中腹ヨリ潤葉樹ヲ生セリ「エストル」附近ニハ露領時代ニ落葉松ヲ伐採セシ形跡アレトモ海岸附近ヲ除キテハ濫伐及火災ノ害僅少ニシテ概シテ良材ニ富メリ

「クシユンナイ」ヨリ國境ニ至ル陸上ハ未タ修築シタル道路ナク纔ニ海濱ニ沿ヒテ通行スルニ過キス殊ニ「オタシユ」ヨリ「コタントル」ニ至ル十里間ハ輕鬆ナル砂地連續シテ歩行容易ナラス且ツ無人ノ境ナルヲ以テ旅行最モ不便ナリ其他「ホロケシ」「モテクナイボ」間「エストル」「ロート」間「チンナイ」附近北名好國境間ノ如キハ斷崖絶壁海ニ臨ミ波濤少シク荒キ時ハ通行全ク杜絶ス然レトモ此間所ニ特許漁場アリ又四十一年ヨリ「北名好」「ノツサン」「ライチシカ」「ウシヨロ」「エビシ」「アモベシ」等ニ驛遞ヲ設置セシヲ以テ少シク旅行ニ便ヲ得タリ又河川ノ徒渉スル能ハサル處ハ概ネ渡船場アリ一回五錢乃至拾錢ノ賃錢ヲ要ス



海上ハ夏期ハ「ウシヨロ」「モエビシ」北名好「アモベシ」等ニ定期船ノ航行アリ又特許漁業者及雜漁者ノ居住地ニハ春秋ノ間汽船ノ出入アルノミナラス川崎船等ヲ以テ各地間ヲ往復スルヲ以テ稍々便ヲ得レトモ冬期ハ交通全ク杜絶ス海岸線ハ屈曲少ナクシテ一ノ良港灣ナク唯「ウシヨロ」灣内「ウストマナイ」ハ南西風ヲ遮リ碇泊ノ便アルノミナリ

「クシユンナイ」ヨリ北「ルウクシナイ」ニ至ル六里ノ間ハ本區域中漁民ノ最モ多ク居住スル處ニシテ夏期ハ五百戸ヲ下ラサルモ多クハ春季ニ來リ秋期ニ歸還スルヲ以テ越年者ハ數十戸ニ過キス「オタシユ」ヨリ「ウシヨロ」岬マテハ殆ト人家ナク「ウシヨロ」ヨリ北名好間ハ半里乃至一里ヲ距テテ特許漁場點在シ北名好ハ戸數三十餘戸名好支廳ノ所在地ニシテ邦人ハ漁業雜貨商宿業等ヲ營ミ殘留露人ハ農牧及狩獵ニ從事セリ

北名好國境間ハ點々特許漁場アルノミニシテ未タ居住者少ナク「アモベシ」ハ邦領最終ノ部落ニシテ數戸ノ在住者アリテ定期船寄港ス

第一節 フンベオマナイボ 間原野

位置及地勢 本原野ハ「クシユンナイ」ヲ距ル北方約一里半ノ「フンベオマナイボ」ヨリ北「モエビシ」ニ至ル延長約五里ニ互ル海岸一帯ノ臺地及「イトネナイ」「エビシ」兩川沿岸ノ平地ニシテ東

南北ノ三方ハ山趾ヲ限リトシ西方ハ海ニ面ス地勢概ネ平坦農耕ニ適スルハ「エビシ」川ヨリ「ノツナシ」ニ至ル間及「フンベオマナイボ」附近ノ地ニシテ其他ノ臺地ト雖草生地ニシテ平坦ナル部分ハ地味不良ナラス穀類ヲ栽培スルヲ得ヘキモ概シテ牧場經營ニ使用スルヲ適當トス

面積 總面積五百八萬五千坪

内譯

九十八萬六千坪

農耕適地

四百九萬九千坪

牧場適地

土性及植物 河川沿岸ノ地ハ上層三四寸乃至五六寸ノ腐植質壤土ノ下一尺乃至一尺六七寸ノ褐色ナル砂質又ハ粘質壤土アリテ下層ハ粘土ナリ「エビシ」河口及「イトネナイ」川沿岸ノ濕地及臺地中ニ在ル草生濕地ハ概ネ上層腐植土二三寸乃至一尺五六寸ニシテ下層ハ粘土ナレトモ「イトネナイ」川沿岸最モ濕潤ノ度甚シ

臺地ノ草生地ハ上層黑色腐植土三四寸乃至六七寸或ハ腐植質壤土一尺二三寸ノ下壤質粘土又ハ砂礫土ナリ

針葉樹林及傾斜地ハ上層二三寸ノ腐植土ノ下褐色ナル壤質粘土四五寸或ハ赤色粘土及石礫ヲ混スル粘土アリテ地味良好ナラス

所生植物ハ河川沿岸ハ「やなぎ」「はんのき」にはとこ「しらかんば」「さんざし」ヲ交ヘタル潤葉樹林ニ「ぼうな」「ななつば」「あざみ」「よもぎ」「えぞにう」小笹「ふじばかま」「あいぬわら」等ノ下草アリ  
 臺地ノ草生地ハ「あいぬわら」「あざみ」「よもぎ」「えぞにう」小笹「ふじばかま」「やまそてつ」ノ類多ク樹林ハ「とどまつ」「えぞまつ」ニ「しらかんば」「いたや」「ななかまど」「さんざし」「はんのき」等混生シ下草ハ「くさそてつ」藜苔ナリ又各地ニ散在セル濕地ニハ「よし」「あいぬわら」「すげ」ヲ生シ「イトネナイ」川上流左右ノ山趾ニハ落葉松ノ純林アリ濕地ニシテ「やまそてつ」多シ

氣候

「クシユンナイ」地方ニ同シ

排水水害及用水

「エビシ」川口及臺地ニ於ケル濕地ハ濕潤ノ度甚シカラサルヲ以テ排水容易ナレトモ「イトネナイ」川沿岸ノ濕地ハ排水困難ナリ「エビシ」川及其他ノ細流ハ飲料水ニ適スルモ

「イトネナイ」川ハ飲用スルコト能ハス「エビシ」川ハ水害ノ形跡ヲ認メサルモ「イトネナイ」川下流沿岸ハ融雪期ニ浸水ノ虞アリ

交通及市場

「クシユンナイ」市街ニ至ルニハ南端「フンベオマナイボ」ヨリ一里半北端「エビシ」ヨリ六里餘海濱ノ砂道ニヨリ往來ヲナスモ夏期海上ノ靜穩ナルトキハ小廻船ノ便ニヨルヲ宜シトス

「フンベオマナイボ」

「ウシノスケ」「ノツサン」「エビシ」「モエビシ」等ニハ假小屋百七八十戸アリテ漁業ニ従事スレトモ冬期越年スルモノハ僅ニ十數戸ニ過キス物資ハ「クシユンナイ」又ハ真岡ヨリ仰カサ

ルヘカラス

第二節 ルウクシナイ原野

位置及地勢

本原野ハ「クシユンナイ」ヲ距ル北方六里半南「モエビシ」川ヨリ北「オタクルマナイ」川ニ至ル海岸一帯ノ臺地及「ルウクシナイ」川沿岸ノ平地ニシテ西ハ一圓海ニ面シ他ハ悉ク山趾ヲ以テ界ス海岸ノ臺地ハ概ネ平坦ニシテ草原樹林相半シ「ルウクシナイ」川沿岸及同川口南方草原平地ノ農耕ニ適スル外ハ概ネ牧場トシテ利用セサルヘカラス

面積

總面積三百三萬七千五百坪

内譯

百二十六萬八千坪

農耕適地

百七十六萬九千五百坪

牧場適地

土性及植物

「ルウクシナイ」川沿岸ノ平地ハ概ネ上層腐植質壤土二三寸ノ下褐色ナル砂質若クハ粘質壤土一尺二三寸乃至一尺七八寸ニシテ下層ハ粘土ヨリ成ル

濕地ハ上層腐植土二三寸乃至四五寸ノ下層腐植質壤土七八寸或ハ粘質壤土アリテ下層ハ青色又ハ赤色粘土ナリ

臺地ニアル草生地ハ上層黑色腐植質壤土七八寸乃至一尺内外ノ下褐色粘質壤土三四寸或ハ壤質粘土五  
六寸ニシテ下層ハ粘土若クハ砂礫土ナリ

樹林及傾斜地ハ腐植土一二寸ノ下褐色壤質粘土四五寸下層ハ粘土又ハ砂礫トス

所生植物ハ河岸ノ地ハ「やなぎ」「はなのき」ノ下ニ「ぼうな」「なたば」「あざみ」「よもぎ」「とくろ」  
「あいぬわら」ノ類繁茂シ臺地ノ草生地ニハ「あいぬわら」小笹「あざみ」「よもぎ」「えぞにう」「やまと  
てつ」ノ類濕潤地ニハ「あいぬわら」「すげ」「よし」「あやめ」等ヲ生ス樹林ハ多ク「とどまつ」「えぞま  
つ」ノ混生林ナルモ「ルウクシナイ」川沿岸ノ山趾ニハ落葉松ノ純林アリ下草ハ「やまとてつ」「あ  
ぬわら」蘇苔等ナリ

### 排水水害及用水

「ルウクシナイ」川沿岸及臺地ニ於ケル濕地ハ排水容易ナルヘク「ルウクシナ  
イ」川ハ微濁ヲ帶フルモ飲料ニ供スルコトヲ得ヘク又水害ノ形跡ヲ認メス

### 交通及市場

「クシユンナイ」ニ至ル六里半海岸ノ砂道ヲ往來スルモ夏期ハ海運ニ依ルヲ便トス  
物資ハ「クシユンナイ」又ハ真岡ヨリ移入セサルヘカラス

## 第三節 オタシユ原野

本地ハ「クシユンナイ」ヲ距ル北約十里半「オタシユ」川沿岸ノ狹長ナル地ニシテ西ハ僅ニ開キテ海ニ

面シ他ノ三方ハ悉ク低山ヲ以テ圍繞スル湖葉樹林ニシテ地積五十八萬坪全部農耕ニ適スト雖内部ノ廣  
キ處ハ概ネ濕潤ナルカ故ニ排水ヲ施スノ必要アリ地味及植物ハ「チンナイ」原野ト同シク「オタシユ」  
川ハ幅十三四間水流急ニシテ清澄飲料ニ適シ水害ノ痕跡ヲ認メス

「クシユンナイ」ニ至ル海岸ハ駄馬ヲ通スヘク物資ノ購入ハ「クシユンナイ」市街ヨリ爲スヲ普通トス  
レトモ夏期中ニ在リテハ南方三里強ヲ距ル「モエビシ」ニハ定期船ノ寄港アリ米噌其他ノ日用品ヲ求  
ムルコトヲ得ヘシ

「オタシユ」川口ニハアイヌ三戸現住シ漁獵ニ従事セリ

## 第四節 ナンナイ原野

### 位置及地勢

本原野ハ真岡ヲ距ル北方約十三里「チンナイ」川沿岸ノ地ニシテ東北南ノ三方ハ  
山ヲ以テ圍マル「チンナイ」川ハ其源ヲ北々東ノ山脈ニ發シ曲折迂流シテ海岸ニ至リ「ライチシカ」川  
左岸ニ注ク概ネ湖葉樹林ニシテ多少濕地ヲ含ムト雖地味肥沃農耕ニ適ス

### 面積

總面積二百五十二萬坪 農耕適地

### 土性及植物

上層ハ一般ニ腐植土六七寸乃至一尺ニシテ下層褐色壤土ノ厚層ヨリ成リ濕地ハ粘  
質壤土或ハ腐植土ニシテ下層ハ概ネ粘土ナリ

所生植物ハ「やなぎ」「はんのき」多ク「あかだも」「しらかんば」にはとこ「さんざし」ノ類點々交生シ下草ハ「あゐぬわら」とくさ「すげ」「しらくさ」「ぼうな」「ななつば」其他ノ雜草茂生シ生育良好ナリ

**排水水害及用水** 「チンナイ」川ハ幅二十五六間乃至三十間アリ流勢緩ナルヲ以テ河口ヨリ約四里ノ間ハ磯舟ノ廻上容易ニシテ貨物ノ輸送ニ便ナリ河水ハ清澄ニシテ飲料ニ適ス原野内ノ濕地ハ排水ヲ施スノ必要アレトモ施設困難ナラス

**交通及市場** 「クシユンナイ」ヨリ本地ニ達スル海岸線ハ加工シタル道路ナシト雖通行ニ大ナル困難ナシ原野ハ未タ一ノ徑路タモナク「チンナイ」川ノ舟楫ニ依ラサルヘカラス  
「チンナイ」河口ニ一ノ渡船場アルノミニシテ附近殆ト無人ノ境ナルヲ以テ物資ハ「クシユンナイ」市街ヨリ需メサルヘカラス又漁期中ハ南約七里ノ「モエビシ」ニテ米噌等ヲ購入スルコトヲ得ヘシト雖共ニ遠隔ニシテ不便ナルヲ免レス

### 第五節 ライチシカ原野

**位置及地勢** 本原野ハ「ライチシカ」湖ニ住ク「ライチシカ」川沿岸及其支流沿岸ノ潤葉樹林地ニシテ西ハ「ライチシカ」湖ニ面シ他ハ針葉樹林ヲ以テ圍マル原野中所々ニ濕地アリ殊ニ湖畔ノ濕地ハ

改良施設困難ナルヘシト雖雜草ノ生育良好ナレハ草刈場トシテ利用スルコトヲ得ヘク其他ハ農耕ニ適ス

**面積** 總面積四百二十九萬坪 農耕適地

**土性及植物** 河畔ノ地ハ砂質壤土又ハ粘質壤土一尺七八寸乃至二尺四五寸アリテ肥沃ナリ山趾附近及原野内部ニ至レハ腐植土四五寸ノ下ニ壤土五六寸乃至一尺アリ下層ハ粘土トス濕地ハ腐植土七八寸乃至二尺七八寸アリ下層ハ一般粘土ヨリ成ル所生植物ハ「やなぎ」「はんのき」「しらかんば」にはとこノ類多ク點々「あかだも」ヲ混生セリ下草ハ「あゐぬわら」とくさ「しらくさ」「すげ」「ななつば」「ぼうな」「よし」等ナリ

**排水水害及用水** 「ライチシカ」川ハ其幅三十間乃至三十五六間アリテ水量多ク緩流ナルヲ以テ河口ヨリ五里ノ間ハ二十石積位ノ船ヲ通セシムルコトヲ得ヘシ河水ハ濕地ノ汚水注入スルヲ以テ本支流トモ微濁ヲ帶フルモ尙飲料ニ供スルコトヲ得上流ニ至ルニ從ヒ清澄トナル濕地ニハ排水ヲ施スノ要アリ

**交通及市場** 「ライチシカ」河口ヨリ磯舟ヲ用ヒ「ライチシカ」湖ヲ渡リ海岸湖口ニ至ル約二里同地ヨリ「クシユンナイ」ニ至ル約十五里アリ海濱ノ砂道ハ交通容易ナレトモ原野ニ至ル湖畔及原野内ニハ徑路タモナク甚タ不便ナリトス



海岸ニハ渡船場アリ湖畔ニ三戸ノアイヌ現住スル外未タ無人ノ境ニ等シ

### 第六節 コタントル原野

#### 位置及地勢

本原野ハ「ウシヨロ」岬ノ南方「コタントル」川沿岸ノ平坦地ニシテ西ハ海ニ面シ他ノ三方ハ山ヲ遠ラス地勢東北ニ布延シ長サ三千間幅二百間乃至四百間全部農耕ニ適ス

面積 總面積八十四萬坪 農耕適地

#### 土性及植物

土性ハ概シテ上層二三寸ノ腐植土ノ下砂質壤土一尺三四寸或ハ褐色壤土一尺二三寸アリテ下層ハ粘土ヨリ成ル南方山趾ニ接スル小部分ノ濕地ハ上層黑色腐植土七八寸下層褐色壤質粘土トス所生植物ハ「やなぎ」「はんのき」「どろやなぎ」にはとこ「さんざし」「ななかまど」「しりかんば」ノ類ニシテ下草ハ「ななつば」「ぼうな」「いらくさ」「あざみ」「よもぎ」「こじやく」ノ類ナリ

#### 排水水害及用水

「コタントル」川ハ幅六間乃至十間アリ水流急ニシテ清澄飲料ニ適シ水害ノ憂ナク「やまめ」ノ類ヲ産シ保護河川ナリ

原野内一部ノ濕潤地ニハ容易ニ排水ヲ施スコトヲ得ヘシ

#### 交通及市場

本原野ヨリ「ウシヨロ」ニ至ル六里二十六町「クシユンナイ」ニ至ル二十里此ノ間ノ海岸砂道ハ人馬ノ通行容易ナルモ北「ウシヨロ」ニ至ルニハ「イチヤラ」峠ノ難所アリテ徒歩尙困

難ナリ

現今ニ於テハ「コタントル」河口ニ巡查駐在所驛遞アルノミニシテ居住者ナケレハ些少ノ物品ヲ求ムルニモ「ウシヨロ」或ハ遠ク「クシユンナイ」ニ出テサルヘガラス

### 第七節 イナヤヲ撰定地

本地ハ「ウシヨロ」ヲ距ル南四里半「イチヤラ」川沿岸ノ狭少ナル地ニシテ海岸ノ一部ヲ除クノ外ハ瀟葉樹林ニシテ地味肥沃ナリ面積十九萬五千坪農耕ニ適ス土性ハ概シテ腐植土二三寸ノ下褐色壤土一尺内外下層ハ粘土ナレトモ瀕海ノ地ハ多ク砂壤土ヨリ成ル所生植物ハ「やなぎ」「はんのき」「ななかまど」にはとこ「ノ類ニシテ下草ニハ「ぼうな」「ななつば」「あざみ」「とくさ」「あいなむら」ノ類ヲ生セリ「イチヤラ」川ハ幅五六間流勢急ナレトモ清冽ナリ交通ノ狀況ハ「コタントル」ニ異ナラス未タ來住セルモノナシ

### 第八節 エントクスナイ原野

#### 位置及地勢

本地ハ北名好ヲ距ル南二十一里「ウシヨロ」ヲ距ル二里北ハ「ニオイ」ヨリ南ハ「アパセンコオマナイ」ニ至ル海岸ノ平地及山趾ニ至ル傾斜地ヨリ成ル南東ハ山趾ノ針葉樹林ヲ以テ限

ラレ西北ハ海ニ面ス「エントクスナイ」川下流ニアル左右沿岸ノ草原地ヲ除クノ外ハ悉ク潤葉樹林ニシテ地味良好農耕ニ適ス

面積 總面積百十三萬坪 農耕適地

土性及植物 土性ハ上層黒色腐植土五六寸乃至七八寸ノ下褐色壤土七八寸ヨリ一尺五六寸ニシテ下層ハ粘土ナリ植物ハ「あかだも」「やちだも」「はんのき」「やなぎ」「どろやなぎ」「いたや」「ななかまど」にはとこ「さんざし」ノ類ニシテ下草ハ「ぼうな」「ななつば」「あざみ」「こじやく」「よもぎ」「ふし」「えぞにら」「いらくさ」「あひぬわら」等ノ雜草能ク繁茂セリ

排水水害及用水 「エントクスナイ」川及其他ノ河川ハ清澄ニシテ飲料ニ適シ水害ノ憂ナク「エントクスナイ」川沿岸ノ濕地ハ排水ノ必要アリ

交通及市場 北名好ニ至ル二十一里ノ海岸ハ纒ニ徒涉シ得ルノミ「ウシヨロ」ニ至ル二里弱同地ニハ四月ヨリ十月ニ至ル間ハ毎月三回定期船ノ寄航アリ又附近各漁場ニ往復スル汽船ノ便アリテ甚シク不便ヲ感セス日用ノ物資ハ購求スルコトヲ得ルモ冬期ノ交通ハ甚タ不便ナリ「エントクスナイ」ニハ巡查駐在所アリ特許漁場一雜漁者十二戸「アイヌ」二戸現住ス

### 第九節 ナイコトル原野

本原野ハ「ウシヨロ」灣ニ臨ミ「ウストマナイ」碇泊地ヲ距ル僅ニ半里「ナイコトル」川沿岸及其北方沿海ノ地ニシテ地積百六十五萬坪原野ノ中央ニ在ル「アントカト」ホ「沼ト海岸トノ間ハ砂土ニシテ地味良好ナラサレトモ上流沿岸ノ地ハ概ネ肥沃ナリ「はんのき」「ななかまど」「しらかんば」「かしは」ノ疎林ニ「よもぎ」「ななつば」「ぼうな」「あざみ」「あひぬわら」「かや」等ヲ生シ水質清冽牧場地トシテ最モ適當ナリ

「ウストマナイ」ニハ巡查駐在所特許漁場等アレトモ日用品ヲ販賣スル商店タモナケレハ物資ハ遠ク眞岡ヨリ移入セサルヘカラス

### 第十節 フロチ原野

本地ハ北名好ノ南方十八里「ウシヨロ」灣内「ウストマナイ」碇泊地ノ北方二里「フロチ」川沿岸ニアリ地積五十七萬坪「やなぎ」「はんのき」「しうり」「ななかまど」「あかだも」「やちだも」等ノ潤葉ノ疎林ニ「ななつば」「あざみ」「ぼうな」「ふさ」「あひぬわら」「よし」等ヲ生シ草木ノ生育頗ル良好ナリ土地ハ一般粘質壤土ニシテ其層三尺乃至四尺アリ農耕ニ適スルモ所々ニ濕地存在スルヲ以テ排水ヲ施スノ必要アリ河水ハ清澄ニシテ飲料ニ適ス

「ウストマナイ」ニ至ル海岸ノ砂道ハ通行安全ナレトモ附近物品ヲ販賣スルモノナキヲ以テ物資ハ遠ク

真岡ヨリ仰カサルヘカラス

### 第十一節 ポロケシ原野

本地「プロチ」原野ノ北方一里半「ホロケシ」川沿岸及附近ニ帯ノ地ニシテ地積三十萬坪「やなぎ」「はんのき」「とどまつ」落葉松等ノ混森林及「ななつば」「あざみ」「よもぎ」「あいぬわら」等ノ生セル草生地相混シ概ネ粘質壤土ニシテ濕地多キカ故ニ排水ヲ施スノ必要アリ河水ハ微濁ヲ帶フルモ飲料ニ供スルコトヲ得ヘク陸上ノ交通ハ「ウストマナイ」ニ至ルニモ所々難所アルヲ以テ海運ニ依ルノ外ナシ物資ハ真岡ヨリ購入セサルヘカラス

### 第十二節 エストル原野

位置及地勢 北名好ヲ距ル南方十里「エストル」川沿岸ノ地ニシテ地積廣大平坦ナレトモ海岸ヨリ約二里ノ間ハ針葉樹林ノ泥炭性濕地ニシテ近ク農牧共ニ利用困難ナレトモ其上流沿岸ハ農耕ニ適ス

面積 總面積九百三十二萬坪

内 譯

四百二十萬坪

農耕適地

五百十二萬坪

泥炭地

#### 土性及植物

「エストル」川下流沿岸ノ濕地ハ針葉樹ノ純林ニシテ堆積セル蘚苔草根全ク土化セズ其層深シ其上流沿岸ハ概ネ沖積ヨリ成ル壤土ニシテ潤葉樹林草生地相混シ濕地又少ナカラサレトモ地味概シテ肥沃ナリ所生植物ハ「やなぎ」「はんのき」「あかだも」「しうり」「ななかまど」等ニ「ばらな」「ななつば」「あざみ」「よもぎ」「しもつけそう」「いらくさ」「とくさ」「あひぬわら」「みづばせ」等ヲ生ス

#### 排水水害及用水

下流沿岸ノ泥炭濕地ハ其層深ク排水困難ナレトモ上流農耕適地中ニアル濕地ハ容易ニ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ「エストル」川ハ西海岸ニ於ケル大川ノ一ニシテ河口ニ於テ幅六十間内外アリ五里ノ上流マテ舟楫ノ便アリ下流ハ河水濁濁セルモ上流ハ飲料ニ供スヘシ又水流緩ナルヲ以テ融雪期ニハ汎濫ノ虞ナキニアラス

#### 交通及市場

本原野ハ船舶ノ碇泊スル「ウストマナイ」ト北名好トノ中間ニアリ兩地ニ至ルニハ孰レモ陸路十里ニシテ海岸ノ通路ハ所々ニ難所アリ貨物ノ運搬ノ如キハ到底望ムヘカラス故ニ波浪ノ靜穩ナル夏期ニ於テハ海運ニヨルノ外ナカルヘシ

### 第十三節 ナオナイ撰定地

北名好ヲ距ル南方五里「チオナイ」川沿岸ノ地ニシテ地積二十四萬坪所生植物ハ「モロロチ」ト大差  
ナク粘質壤土ニシテ農耕ニ適ス本地ノ入口ニ特許漁場アリ北名好ニ至ルニハ陸路困難ナルヲ以テ海運  
ニ依ルヲ便トス

#### 第十四節 モロロチ撰定地

北名好ヲ距ル南方三里半「モロロチ」川沿岸ノ地ニシテ面積二十萬坪「はんのき」とどまつ「えぞま  
つ」ノ混森林ニ「ななつば」「ぼうな」「いらくさ」「あざみ」「ふき」等能ク繁茂シ概ネ粘質壤土ニシテ少  
シク湿地アレトモ農耕ニ適ス河水ハ清冽ニシテ飲料ニ適シ北名好ニ至ル陸路ハ海岸ノ所々ニ斷崖アリ  
テ干潮時ニアラサレハ通行スル能ハサル箇所アルヲ以テ海運ニ依ルヲ安全ナリトス

#### 第十五節 ボンナヤシ原野

北名好ヲ距ル南方一里半「ボンナヤシ」川沿岸ノ地ニシテ地積三十七萬坪概ネ「はんのき」とどまつ「あ  
かだも」とどまつ「えぞまつ」ノ疎林ニ「ななつば」「ぼうな」「いらくさ」「あざみ」「あひぬわら」等ヲ  
生セル粘質壤土ニシテ地味肥沃多少湿地アレトモ排水容易ナルヲ以テ全部農耕ニ適セリ河水ハ飲料ニ  
供スルコトヲ得ヘク北名好ニ至ルニハ僅距離ナレトモ海濱ノ砂上ヲ往來スルヲ以テ波濤ノ高キ時ハ通

行スル能ハス物資ハ名好ヨリ購入スルコトヲ得ヘシ

#### 第十六節 北名好原野

位置及地勢 本原野ハ真岡ヲ距ル北方七十六里國境ヨリ南方十六里餘北「ナヤシ」川沿岸ノ地ニ  
シテ延長三千間幅員六百間内外ニシテ地勢東西ニ布延ス

面積 總面積百四十五萬坪 農耕適地

土性及植物 土性ハ概ネ沖積ヨリ成リ上層粘質壤土二尺乃至三尺下層砂礫又ハ粘土トス所生植  
物ハ「やなぎ」「はんのき」「どろ」「あかだも」とどまつ「えぞまつ」ノ疎林ニ「ななつば」「ぼうな」「し  
もつけさう」「いらくさ」「あざみ」「みづばせと」等ノ下草アリ又所々ニ露人ノ既墾地アリ

氣候 真岡地方ニ比シ稍々低温ニシテ從テ霜雪ノ時期モ多少ノ差違アリ平年ニ於ケル期節ハ春霜  
六月中旬秋霜九月上旬初雪十月中旬積雪三四尺ニシテ翌年五月上旬融解スト云フ

排水水害及用水 所々ニ散在セル湿地ハ排水ノ必要アレトモ容易ニ之ヲ爲スコトヲ得ヘク河  
水ハ飲料ニ適シ又水害ノ憂ナシ

交通及市場 五月ヨリ十月マテ六箇月間ハ毎月二回定期船ノ航海アル外附近漁場ニ汽船ノ出入  
スルモノアリテ不便ヲ感スルコトナシト雖冬期六箇月間ハ結氷流水等ノ爲メ船舶ノ出入ナク陸路ハ僅



ニ一箇月一回郵便ノ通スルノミニシテ且ツ道路險惡ナレハ甚タ不便ナリ  
北名好市街ハ戸數三十餘戸名好支廳郵便局等ノ所在地ニシテ宿業雜貨商等數戸アレハ日用品ノ購入ニ  
ハ差支ナキモ物價ハ真岡ニ比シテ三割以上ノ高値ナリ

農牧ノ狀況 露領時代ニ於テハ農牧ヲ營ミシモノ多カリシ形跡アリ現ニ殘留セル露人九戸アリ  
テ二十餘町歩ヲ耕作セリ其作物ハ小麥、燕麥、馬鈴薯、蔬菜等ニシテ何レモ生育良好ニシテ相當ノ收  
穫アリ又牛馬約六十頭ヲ所有シ夏期ハ專ラ附近ニ放牧飼養セリ

### 第十七節 サクコタン撰定地

本地ハ北名好ヲ距ル北方約五里半「サクコタン」川沿岸ノ小原野ナリ小部分ノ針濶混濬林ヲ除クノ外  
ハ濶葉樹林ニシテ地味肥沃農耕ニ適ス地積二十六萬五千坪上層腐植土二寸乃至六寸ノ下褐色壤土一尺  
四五寸下層粘土ナリ所生植物ハ「やなぎ」「はんのさ」「最モ多ク」には「こ」「しらかんば」「さんざし」等  
之ニ次ク下草ハ「ななつば」「ぼうな」「あやみ」「よもぎ」「あしぬわら」「とくさ」「くろゆり」「いらくさ」等  
ナリ

「サクコタン」川ハ其幅十間乃至十四五間飲料ニ適シ水害ノ形跡ヲ認メス  
北名好ニ至ル海岸ハ斷崖絶壁海ニ迫レル所數箇所アリテ海波靜穩ノ時干潮ヲ待ツカ或ハ急峻ナル山越

シヲ爲ササルヘカラス交通甚タ不便ナリ

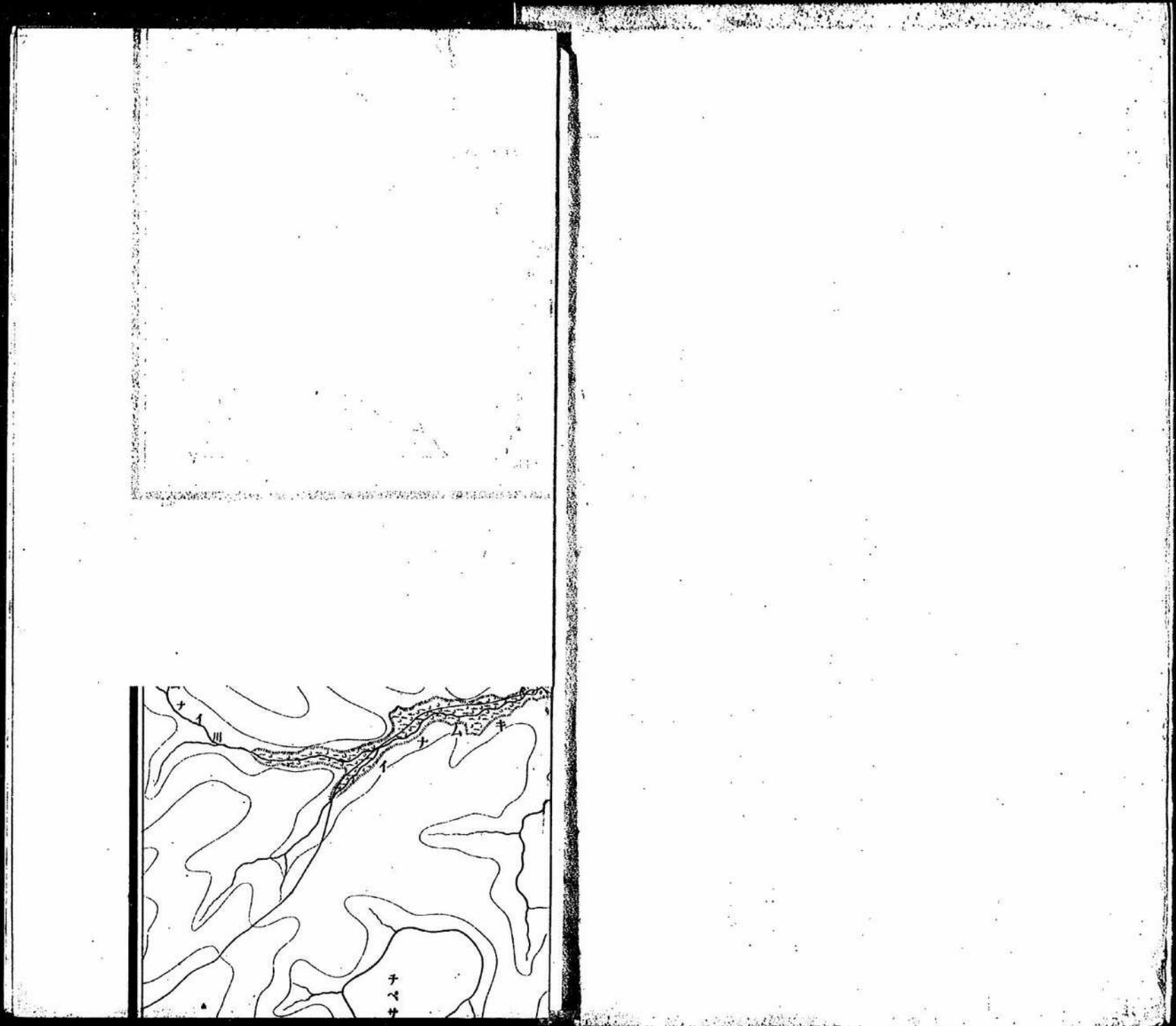
「サクコタン」河口ニハ巡查駐在所アリ雜漁者四戸「ギリヤーク」人二戸現住ス

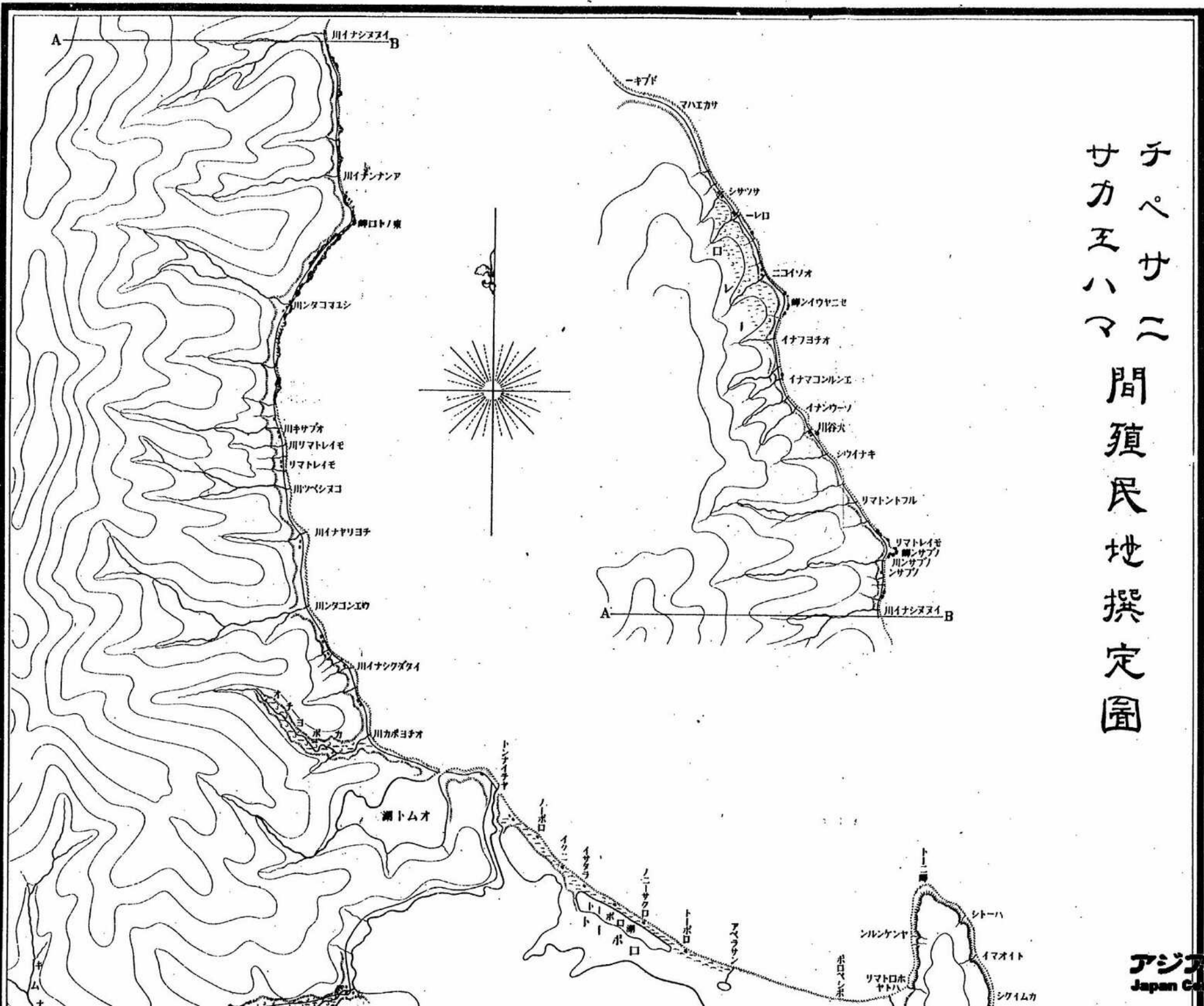
### 第十八節 ヨツキナイ撰定地

本地ハ北名好ヲ距ル北方約十一里「ヨツキナイ」川沿岸ノ平地ニシテ西ハ海ニ面シ他ハ悉ク山ヲ以テ  
圍マル延長約千二百間幅二百間乃至三百五六十間地積三十九萬八千坪アリ概ネ肥沃ナル濶葉樹林ニシ  
テ所生植物ハ「サクコタン」ニ異ナラス

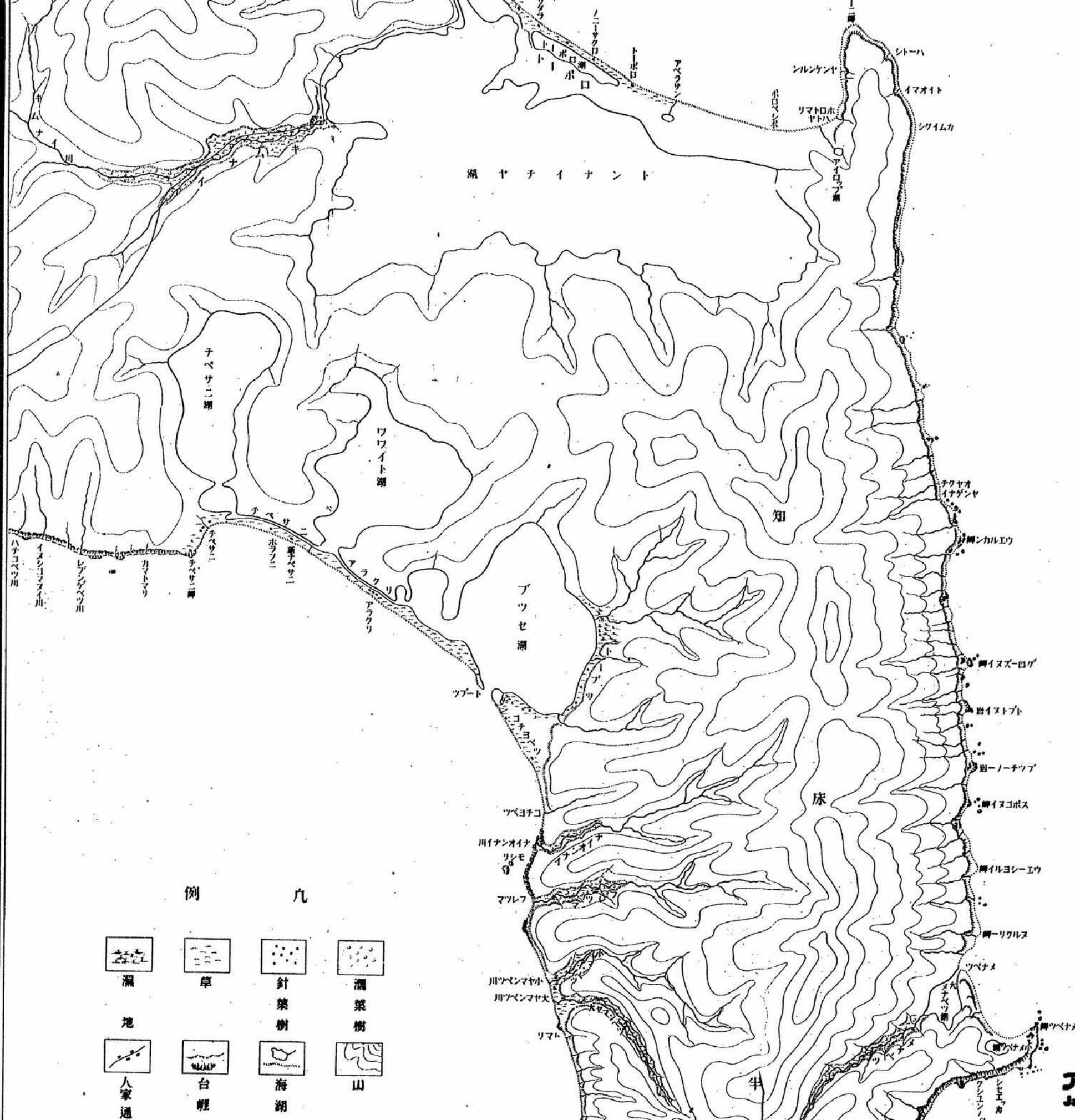
氣候ハ北名好地方ト大差ナク「ヨツキナイ」川ハ飲料ニ適シ又水害ノ憂ナシ  
北名好ニ至ル十一里間ハ通行危險ナル箇所多ク海上船ヲ用フルニアラサレハ徒歩頗ル困難ニシテ交通  
甚タ不便ナリ

「ヨツキナイ」川口ニハ漁業小屋三戸アルノミニシテ附近未タ人烟稀ナリ





チペサニ  
サカ五ハマ  
間殖民地撰定圖

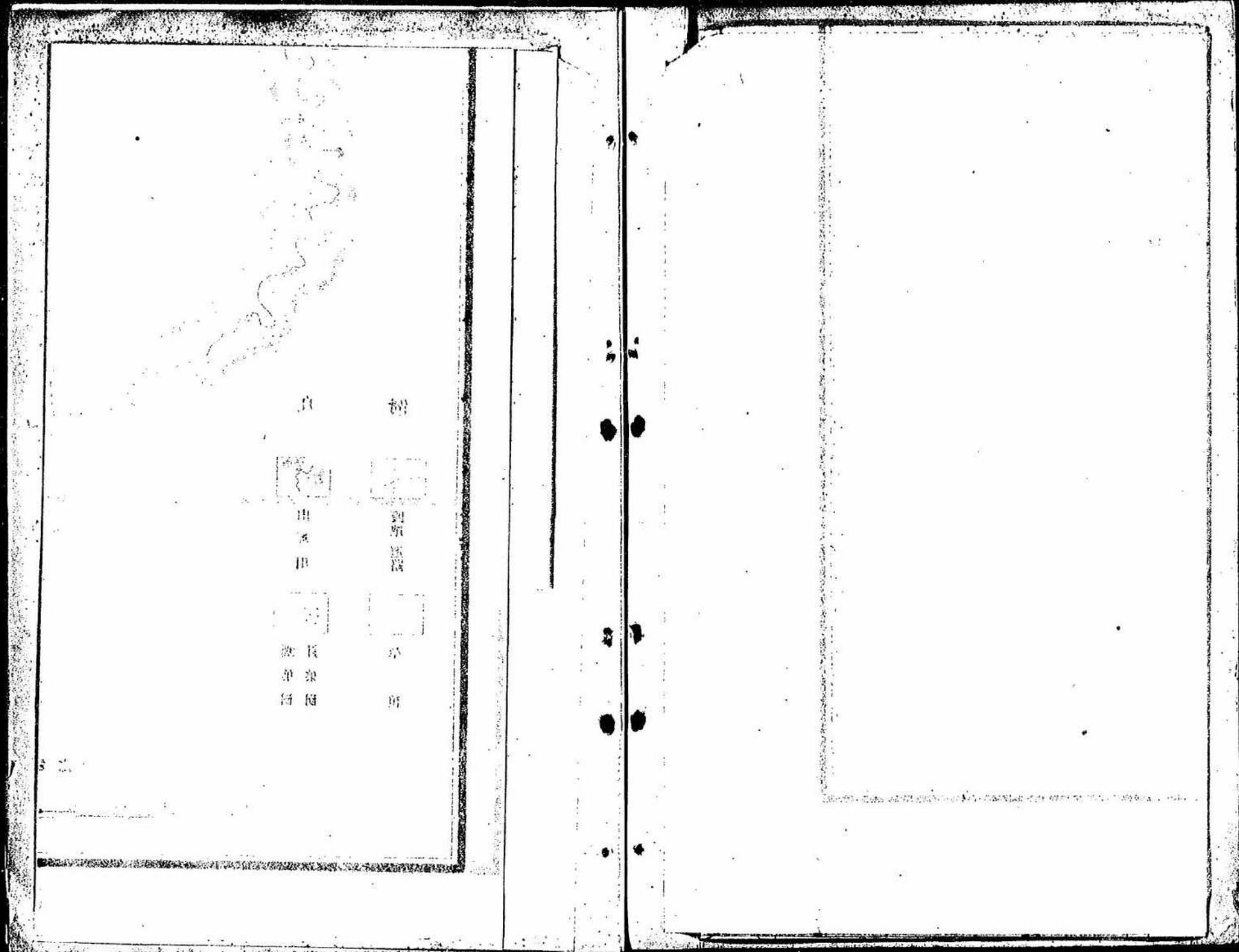


例 凡

- |     |    |     |     |
|-----|----|-----|-----|
|     |    |     |     |
| 沼地  | 草  | 針葉樹 | 闊葉樹 |
|     |    |     |     |
| 人家通 | 台地 | 海湖  | 山   |







真 朝



出  
水  
田

對  
京  
區

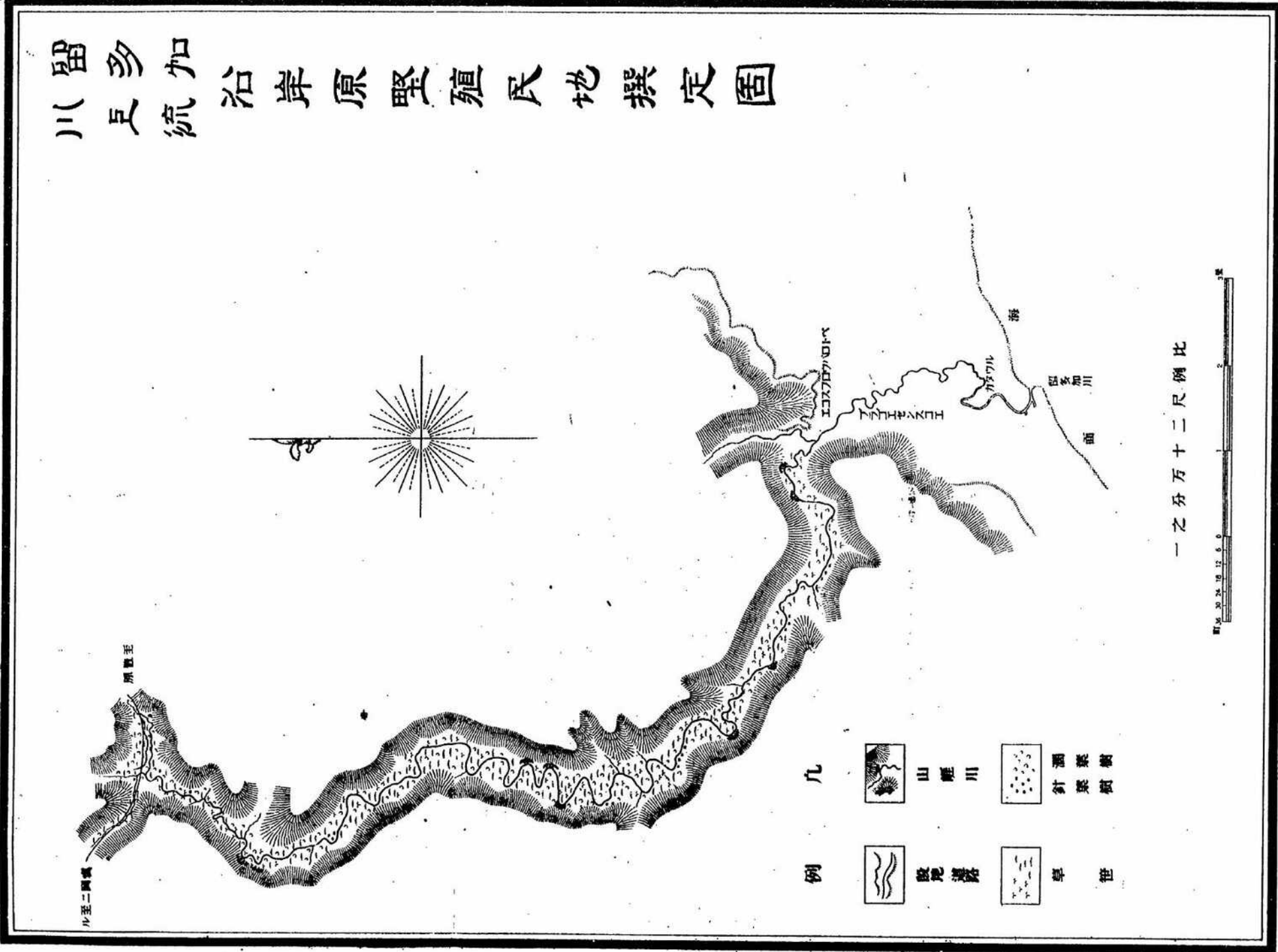


池  
長  
草  
田

分  
所



# 加多留川沿岸原野殖民地撰定圖



裏面白紙





オチヨボカ	1,350,000				1,350,000
キムナイ	3,500,000	1,100,000			4,600,000
小計	4,850,000	10,100,000			15,000,000
ルウタカ川上流	13,200,000				13,200,000
合計	19,400,000	10,100,000			29,500,000

即チ總面積三千七百七十七萬一千坪内農耕適地二千六百七十七萬一千坪牧場適地一千〇十萬坪ナリ  
 今地勢ノ大略ヲ述フレハ「チベサニ」「トンナイチャ」附近ノ地ハ一望平地ノ如シト雖「チベサニ」「ワ  
 イ」「ブツセ」「トンナイチャ」「オムト」等ノ湖水陸上ノ大部分ヲ占メ湖畔ハ平地ナキニアラサルモ臺地  
 若クハ丘陵ノ傾斜地ニシテ農牧適地比較的少ナク且ツ地味良好ナラサルヲ以テ農耕適地ニ乏シク僅ニ  
 「チベサニ」「アラクリ」「トーブツ」「コチヨベツ」「トロボロ」「キムナイ」ノ六箇所アルノミ「コチヨベ  
 ツ」以南中知床ニ至ル間及知床岬ヨリ「アイロツブ」ニ至ル間ハ知床山脈ノ山趾延テ海ニ迫リ河川亦  
 急流ニシテ平地ニ乏シキヲ以テ西部ニ於テハ「ナイオンナイ」「フレツマ」「小ヤマンベツ」「大ヤマンベ  
 ツ」各河川沿岸東部ニ於テハ「メナベツ」沿岸ヲ撰定シタルノミナリ  
 「トンナイチャ」「サカエハマ」間ニ於テハ「オチヨボカ」「ロレー」ノ二箇所アルノミニシテ此ノ區域間

ハ鈴谷山脈ノ山趾海ニ突出シ殊ニ「シユマコタン」附近ノ海岸ハ斷崖絶壁連續シテ通行シ難シ「ルウ  
 タカ」川沿岸ハ河岸ニ沿ヒ東西山趾ニ至ル間ヲ撰定シタルヲ以テ地勢概ネ平坦ニシテ潤葉樹林ナリト  
 ス  
 本區域内ニ於ケル河川ノ主ナルモノハ「ナイオンナイ」「フレツマ」「大ヤマンベツ」及「ルウタカ」川  
 等ニシテ湖水ニアリテハ「チベサニ」「ワワイ」「ブツセ」「トンナイチャ」「オムト」ノ諸湖アリテ本島中  
 最モ湖水多キ部分ナリトス  
 山林ハ知床半島ニアリテハ「チベサニ」湖畔「ナイオンナイ」「フレツマ」二川上流ニ於テ針葉樹林ノ  
 稍々見ルヘキモノアリト雖其他ハ針潤混森林ニシテ良材ナク岬端ニ至ルニ從ヒ疎林トナリ成長不良ナ  
 リ「トンナイチャ」以北ノ地ハ針潤混森林ニシテ「ロレー」「サカエハマ」間ハ野火ノ爲メ枯損シ雜木ノ點  
 生セルノミナリ

「ルウタカ」川上流地方ハ本島中有數ノ針葉樹林ニシテ白楊其他有用ノ潤葉樹亦少ナカラス  
 海陸交通ノ状態ハ陸上ニ在リテハ大泊ヨリ「チベサニ」マテ九里ノ間ハ人馬ノ通行安全ナレトモ以東  
 「サットボ」マテ十三里ノ間ハ干湖ノ時纔ニ駄馬ヲ通スルノミ「サットボ」以南中知床岬間及同岬ヨリ東  
 海岸「チシナイ」間ハ陸上ノ交通得テ望ムヘカラス「チシナイ」「アイロツブ」間ハ干湖ノ時辛フシテ通行  
 シ得ヘク「アイロツブ」「トンナイチャ」間ハ砂濱ニシテ車馬ヲ安全ニ通ス「トンナイチャ」ヨリ大泊

ニ至ル山道十二里間ハ人馬ヲ通シ中間ニ「キムナイ」原野アリ更ニ北シテ「トンナイイチャ」ヨリ「サカエハマ」間ハ所々海濱ヲ歩行シ得ヘキモ「シユマコタン」附近ノ險アルヲ以テ海上ニ依ルヲ便トス海上ニアリテハ夏期「チベサニ」「トンナイイチャ」「サカエハマ」ニ毎月數回定期船ノ出入アリ其他各地漁場ニ出入ノ船舶アリテ不便ナシト雖冬期ハ航海全ク杜絶ス然レトモ港灣ト稱スヘキモノ殆トナク唯「アイロツプ」灣ノミ稍々風波ヲ避クルコトヲ得ルノミナリ

本區域中稍大ナル部落ハ「チベサニ」「トーブツ」「トンナイイチャ」等ニシテ「チベサニ」「トンナイイチャ」ニハ大泊支廳出張所アリ此等ノ住民ハ主トシテ漁業ヲ營ムモ「チベサニ」「トーブツ」間ノモノハ農耕ヲ兼業トスルモノ多シアイヌ人ノ居住スルハ「トンナイイチャ」「オチヨボカ」「ロレー」「サカエハマ」等ニシテ何レモ漁獵ヲ業トセリ

氣候ハ概シテ大泊地方ト大差ナキモ東海岸地方ニアリテハ稍々低温ナルカ如ク「ルウタカ」川上流原野ハ山間ナルヲ以テ霜雪ノ時期早シ

**第一節 ナベサニ原野**

**位置及地勢** 本原野ハ大泊ヲ距ルコト東九里亞庭灣沿岸ノ地ニシテ西ハ山麓ヲ限リトシ東ハ「アラクリ」原野ニ連リ北ハ「チベサニ」「ツワイ」兩湖ニ通スル水流ヲ界トシ南ハ海ニ面ス「チベサニ」

川ハ西方ノ山溪ニ源ヲ發シ亞庭灣ニ注ク

**面積** 總面積百二十二萬坪 牧場適地

**土性及植物** 「チベサニ」川以東ノ海岸ハ砂地ニシテ地味劣レルモ湖水流域沿岸ハ稍々肥沃ナリ河川以西ハ臺地ヲ形成シ粘質壤土ニシテ海岸ノ地ハ概ネ肥沃ナリ故ニ農耕ニ適スル地積少ナカラサルモ全般ヨリスレハ牧場適地ナリトス所生植物ハ「とどまつ」「あさみ」「ななつば」「ぼうな」「いたどり」「よもぎ」及禾本科雜草等ナリ

**排水水害及用水** 水害ノ憂ナク排水ノ必要ナシ「チベサニ」川及其他ノ水流ハ皆飲料ニ適ス

**交通及市場** 大泊ニ至ル海岸通路ハ所々難所アリテ交通不便ナレトモ海上平穩ナルトキハ川崎船其他ニテ往來スルコト容易ナリ

本地ニハ露人舊部落アリ漁農民約二十戸居住シ日用物品ハ辨スルコトヲ得ヘキモ多額ノモノハ大泊ヨリ仰カサルヘカラス又長濱出張所郵便局ノ所在地ナリ

**第二節 アラクリ原野**

**位置及地勢** 西ハ「チベサニ」原野ニ接シ南ハ海ニ東北ニ方ハ「ツワイ」「アツセ」二湖ニ面シ三方水ヲ以テ圍マル地勢平坦ニシテ狹長幅員僅ニ百五十間乃至五百間ナレトモ延長約三里ニ達ス

面積 總面積百八十一萬坪 牧場適地

土性及植物

海岸ハ砂地ニシテ地味劣レルモ湖畔ハ砂質壤土ニシテ肥沃ナリ所生植物ハ湖畔

「とどまつ」落葉松ノ點生ヲ見ルノミニシテ他ハ「ぼうな」「あざみ」「いたどり」「よもぎ」「ななつば」「かや」其他禾本科雜草ノ生スル草原ナリトス

排水水害及用水

「ワワイ」湖ハ飲料ニ適スルモ「ブツセ」湖ハ鹽分多ク飲料ニ供スルコトヲ得ス水害ナク又排水ノ必要ナシ

交通及市場

大泊ヲ距ル陸路十二里海陸ノ交通物資ノ供給等「チベサニ」ト大差ナシ

第三節 トーブツ原野

位置及地勢

大泊ヲ距ル東十五里「ブツセ」湖東岸ノ地ニシテ東方山ヲ負ヒ西方湖水ニ面シ原野

内三川アリテ一號二號三號ノ稱アリ盡ク東方山脈ニ源ヲ發シ湖ニ注ク就中大ナルハ三號川ナリ面積 總面積百七十八萬坪

内譯

三十八萬坪 農耕適地  
百四十萬坪 牧場適地

土性及植物

農耕ニ適スルハ湖口附近及一號二號川沿岸ニシテ砂質壤土ヨリ成リ其他三號川沿岸ハ濕地多ク其他ハ高臺及瀨湖ノ地ニシテ牧場ニ適ス土性砂質又ハ粘質壤土ニシテ肥瘠一樣ナラス所生植物ハ箇所ニヨリ異ナルモ樹種ハ「やちだも」「やなぎ」「はんのき」「ななかまど」「とどまつ」等ニシテ草類ハ「ななつば」「いたどり」「あざみ」「ふき」「ぼうな」「よもぎ」「すげ」「よし」等ナリ

排水水害及用水

三號川附近ノ濕地ハ排水ノ必要アリ河水ハ概ネ清澄ニシテ飲料トナスヲ得ルモ湖水ハ之ヲ用フルコト能ハス

交通及市場

大泊ヨリノ陸路ハ交通不便ナルモ「トーブツ」ハ小船碇繋ニ便ナルヲ以テ海上常ニ大泊トノ交通ヲ絶タス「トーブツ」ニハ雜貨商三戸アリ日用品ヲ辨スルコトヲ得ヘシ

第四節 コナヨベツ撰定地

本地ハ「トーブツ」原野ニ接シ海岸ニ布延セル平坦ナル砂地ニシテ地積四十八萬坪「はんのき」「とどまつ」「やなぎ」等ノ疎林ニ「ぼうな」「ななつば」「よもぎ」「かや」等ヲ生シ牧場ニ適ス唯水利ニ乏シキヲ以テ井ヲ鑿ツノ必要アリ大泊ヲ距ル十六里「トーブツ」ヲ距ル一里ニシテ日用物資ハ「トーブツ」ヨリ購入ス

### 第五節 ナイオンナイ撰定地

本地ハ大泊ヲ距ル十七里「トーブツ」ヲ距ル二里「ナイオンナイ」川沿岸ノ地ニシテ地積三十八萬坪概ネ砂質壤土ニシテ其深サ二尺五寸乃至三尺アリ地味肥沃農耕ニ適シ「やなぎ」「はんのき」「あかだも」等ノ疎林ニ「ぼうな」「あざみ」「ななつば」「いたどり」「いらくさ」「ふさ」等ヲ生ス  
河川ハ飲料ニ適シ交通市場ハ「コチヨベツ」ニ同シ

### 第六節 フレツマ原野

本原野ハ大泊ヲ距ル十八里「フレツマ」川沿岸ノ地ニシテ地積七十一萬坪「やなぎ」「はんのき」「あかだも」等ノ疎林ニ「あざみ」「ぼうな」「ななつば」「いたどり」「いらくさ」「ふさ」「とくさ」等ヲ生セル砂質壤土ニシテ地味良好農耕ニ適ス河水ヲ飲料ニ供スルコトヲ得ヘク春期融雪ノ候河畔ノ低地ハ浸水スルコトアリ交通市場ノ状態ハ「コチヨベツ」ニ異ナラス

### 第七節 小ヤマンベツ撰定地

本地ハ大泊ヲ距ル十九里小「ヤマンベツ」川沿岸ノ地ニシテ海岸附近ハ砂地多ク且ツ湿地アリテ牧場

ニ利用スルヲ適當トシ上流地方ハ「やなぎ」「はんのき」「ぼうな」「あざみ」「いらくさ」「ななつば」ヲ生スル砂質壤土ニシテ農耕ニ適ス總地積四十一萬坪内農耕適地三十萬坪牧草適地十一萬坪ナリ  
河水ハ飲料ニ適シ春期融雪ノ際ハ浸水ノ虞レアリ又海岸附近ノ湿地ハ排水溝ヲ設クルノ必要アリ  
交通及市場ノ状況ハ「コチヨベツ」原野ニ異ナラス

### 第八節 大ヤマンベツ原野

位置及地勢 本原野ハ亞庭灣内最終ノ撰定地ニシテ大泊ヨリ十九里半アリ大「ヤマンベツ」川沿岸ノ狭長ナル地ニシテ幅百間乃至二百間延長約二里半アリ海岸一部ノ湿地ヲ除ケハ地味良好ニシテ農耕ニ適ス

面積 總面積八十七萬坪

内 譯

六十六萬坪 農耕適地  
二十一萬坪 牧場適地

土性及植物 海岸附近ハ砂地ニシテ地味良好ナラサルモ上流ニ至ルニ從ヒ砂質壤土トナリ其層深クシテ肥沃ナリ「やなぎ」「はんのき」ノ疎林ニ「ぼうな」「あざみ」「いらくさ」「ななつば」「ふさ」等



ヲ生ス

排水水害及用水 海岸附近ノ湿地ハ排水ノ要アリ河水ハ飲料ニ適シ水害ノ形跡ヲ認メス  
交通及市場 「コチヨベツ」原野ニ大差ナシ

### 第九節 メナベツ原野

位置及地勢 大泊ヨリ中知床半島ヲ廻リテ陸路四十三里「トンナイチャ」ヨリ南陸路二十二里  
東海岸最南端ノ撰定地ニシテ「メナベツ」川沿岸ニ位シ地勢狹長延長約三里アリ

面積 總面積九十六萬坪 農耕適地

土性及植物 概ネ砂質壤土ニシテ其深サ二尺乃至三尺地味肥沃農耕ニ適シ「やなぎ」「はんのき」  
等ノ疎林ニ「ぼうな」「なつば」「あざみ」「ふき」「いたどり」「しらくさ」等ヲ生ス

排水水害及用水 河水ハ飲料ニ適シ水害ノ跡ヲ認メス

交通及市場 陸上ノ交通甚タ不便ニシテ運搬交通共ニ専ラ海上ヨリセサルヘカラサルモ灣内大  
「ヤマンベツ」ヨリ本地ニ山越ヲ爲スノ徑路アリ附近住民ナク商舖ナケレハ物資ハ小樽又ハ大泊地方ヨ  
リ移入スルノ外ナシ

### 第十節 トーボロ原野

位置及地勢 東海岸「トンナイチャ」ノ東南三里北ハ海ニ面シ南ハ「トーボロ」湖及山ヲ以テ限  
リ東ハ「アイロツプ」ヲ境トシ海岸ニ布延セル平地ニシテ地勢狹長地味良好ナラス

面積 總面積百七十五萬坪 牧場適地

土性及植物 概ネ砂地ニシテ地味肥沃ナラス「やなぎ」「はんのき」「しらかんば」ニ僅少ノ「と  
どまつ」及落葉松ヲ交ヘ「なつば」「ささ」「いたどり」「すげ」「よもぎ」及禾本科雜草ヲ生ス

排水水害及用水 「トーボロ」湖ハ飲料ニ供スルコトヲ得ヘク水害ノ憂ナシ

交通及市場 「トンナイチャ」ニ至ル海岸ハ車馬ノ通行安全ニシテ同地ニハ富内出張所郵便局及  
雜貨商三戸アリテ日用品ヲ辨スルコトヲ得ヘシ又夏期ニハ毎月三回定期船ノ出入アリ

### 第十一節 オナヨボカ原野

位置及地勢 東海岸「トンナイチャ」ノ北二里「オチヨボカ」川ノ沿岸ニアリ三面山ヲ以テ圍マレ  
東方開キテ海ニ面シ地味良好農耕ニ適ス

面積 總面積百三十二萬五千坪 農耕適地

第七章 「チベサニ」「サカエハマ」間及「ルツタカ」川上流沿岸

土性及植物 河岸ノ地ハ砂質壤土ヨリ成リ臺地及山麓ノ地ハ粘質壤土ヨリ成ル所生植物ハ「やなぎ」「はんのき」「あかだも」「ななかまど」「ななつば」「ぼうな」「いらくさ」「あざみ」等ニシテ「あかだも」ハ頗ル大ナルモノアリ草類ノ繁茂亦良好ナリ

排水水害及用水 河水ハ飲料ニ適シ水害ノ形跡ナシ又魚類多クシテ保護河川ナリ

交通及市場 「トンナイチャ」ニ至ルハ僅ニ二里ナリト雖ニ箇所ノ渡船場アリ就中「オムト」湖口ノ渡船場ハ少シク風波アレハ通行スルコト能ハス

日用品ハ「トンナイチャ」ヨリ購入ス

「オチヨボカ」河口附近ニ特許漁場及數戸ノ「アイヌ」人居住セリ

### 第十二節 ロレー原野

位置及地勢 東海岸「ドブキ」ノ南二里半ノ地ニアリ西南山ヲ以テ限リ地勢西ヨリ東ニ漸降シ

原野内數條ノ細流アリ東流シテ海ニ注ク

面積 總面積三百十二萬坪 牧場適地

土性及植物 概ネ砂質壤土ナレトモ所々ニ礫地アリ「はんのき」「しらかんば」ノ疎林ニ「ななつば」「あざみ」「かや」等ヲ生ス

排水水害及用水 原野内ニ於ケル數條ノ細流ハ微濁ヲ帶フルモノアリト雖皆飲用ニ供スヘク水害ナク排水ノ必要ナシ

交通及市場 「ドブキ」ニ至ル海岸道路ハ車馬ノ通行安全ニシテ同地ニハ榮濱出張所郵便局及雜貨商アリテ日用品ヲ購入スルコトヲ得ヘシ

### 第十三節 キムナイ原野

位置及地勢 大泊ヨリ「サオスチャ」ノスコエヲ經テ東海岸「トンナイチャ」ニ通スル徑路ニ沿ヒ

東流シテ「トンナイチャ」湖ニ注ク「キムナイ」川沿岸左右ノ平地地ヲ「キムナイ」原野トシ地勢狭長東方

ニ傾テ緩斜シ湖畔ヲ除クノ外山陵ヲ以テ包圍セラル東西南長四里幅員四百間内外潤葉樹林ニ草原ヲ交ヘ河口附近ニハ少シク落葉松林アリ

面積 總面積三百四十五萬六千坪 農耕適地

氣候 本原野ハ未タ住民ナク從テ氣象ノ觀測ヲ爲シタルコトナキモ地形潮流等ノ關係ヨリ考フレハ霜雪時ハ大泊ニ比シ稍々後ルモノトセハ大差ナカルヘシ

土性及植物 河畔ハ一般ニ地味肥沃ニシテ上層一尺乃至三尺ノ壤土アリテ下層ハ礫土若クハ粘土ナリ草原及樹林ハ一尺内外ノ腐植土ノ下概ネ粘土ナリ所生植物ハ河口附近ハ落葉松ノ純林ナレトモ

上流一帯「やちだも」「わかだも」「しらかんば」「やなぎ」等の潤葉樹混生シ下草ニハ「えぞにう」「ななつば」等繁茂ス

排水水害及用水

中流沿岸地方ヲ除キ概ネ湿润ナルヲ以テ耕作ニ先チ排水スルノ必要アリ河畔一部ノ低地ニハ河水汎濫ノ形跡アルモ其他ニ於テハ之ヲ見ス上流及左右溪間ヨリ出ツル細流ハ清冽ニシテ飲料ニ適スルモ下流ハ涸濁シテ用水ト爲ス能ハス

交通及市場

大泊ヨリ「トンナイチャ」ニ至ル十二里間ニ於テ本原野ハ約十里ノ位置ニアリ通路ハ橋ニ人馬ヲ通スルノミニシテ加工シタルモノニアラス未タ人家ナク住民ナキカ故ニ物資ハ總テ大泊ヨリ仰カサルヘカラス

第十四節 ルウタカ川上流原野

位置及地勢

三十八九年撰定シタル「ルウタカ」原野北端ヨリ「ルウタカ川」ニ沿ヒ上流豊原真間間ヲ通スル街道ノ逢坂清水驛間ニ至ル延長約二十里間ノ狭長ナル地ニシテ河川沿岸及山麓臺地等ヲ含ム現今ハ未タ無人ノ境ナリトス

面積

總面積一千三百五十萬坪

農耕適地

土性及植物

沿岸ノ平地ハ砂質壤土ニシテ其層一尺五寸乃至三尺アリテ最モ肥沃ナレトモ臺地

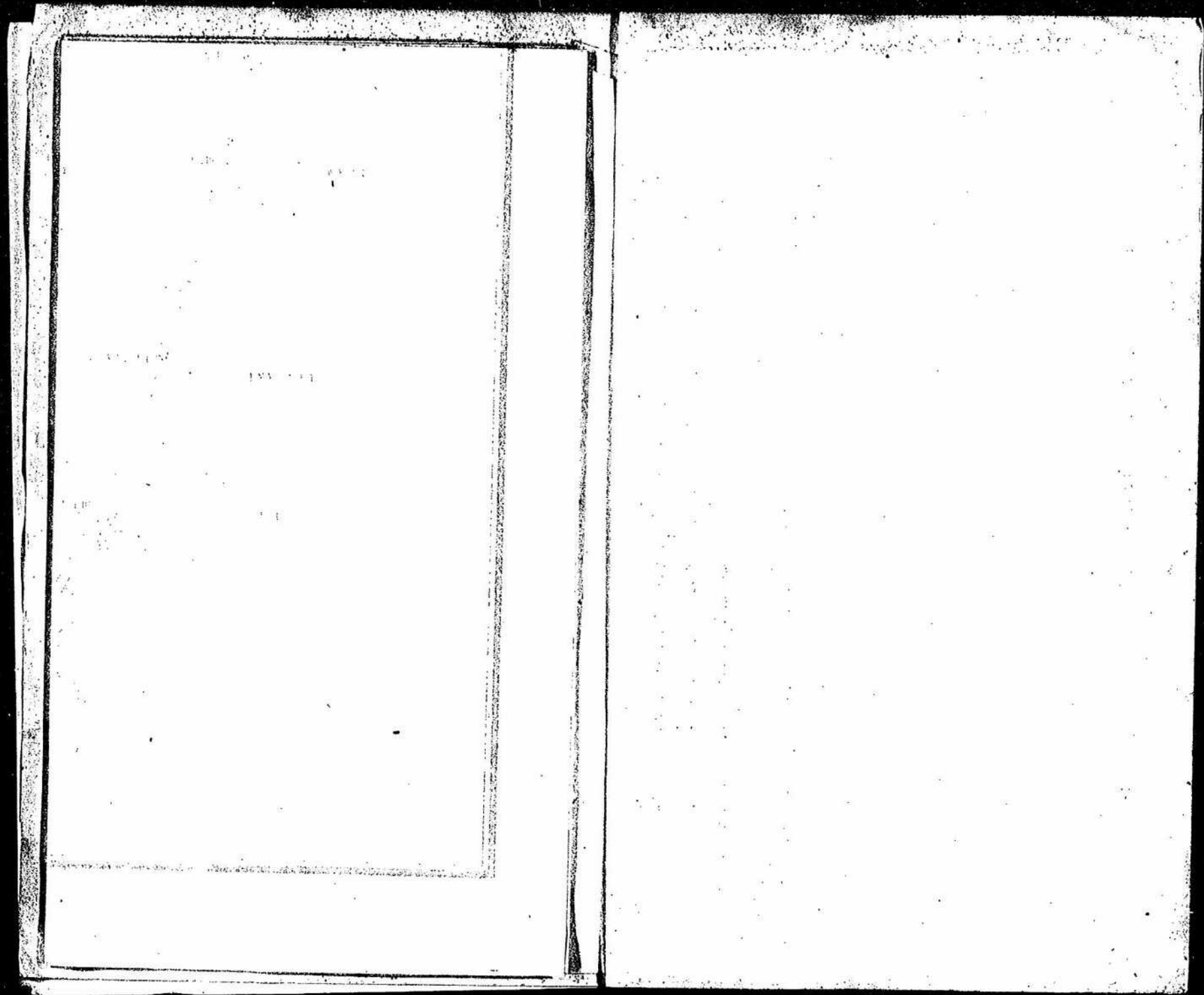
及山麓ノ地ハ粘質壤土ニシテ地味少シク劣レリ所生植物ハ「わかだも」「やなぎ」「はんのき」「しらかんば」ニ稀ニ「とどまの」ヲ交ヘ「ぼうな」「ななつば」「あざみ」「ふさ」「いらくさ」笹等ノ下草アリ

排水水害及用水

本支流其清澄ニシテ飲料ニ適シ河身ハ屈曲多キヲ以テ低地ハ浸水ノ虞アリ又多少湿地アルヲ以テ排水施設ノ必要アリ

交通及市場

真岡街道附近ハ交通ノ便アレトモ他ハ全ク無人ノ境ナルヲ以テ本原野ヲ開發スルニハ道路ヲ開鑿セサルヘカラス







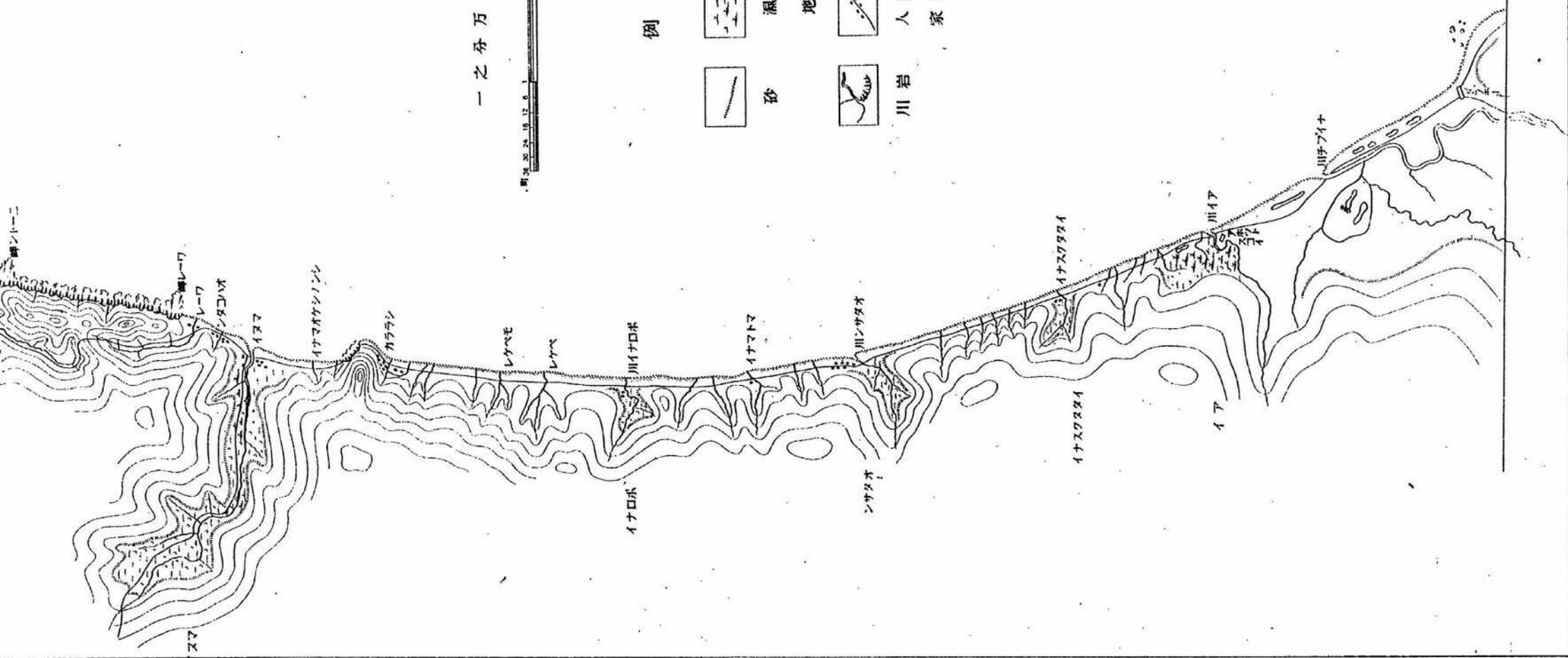
其壹

一之分万十二尺例比

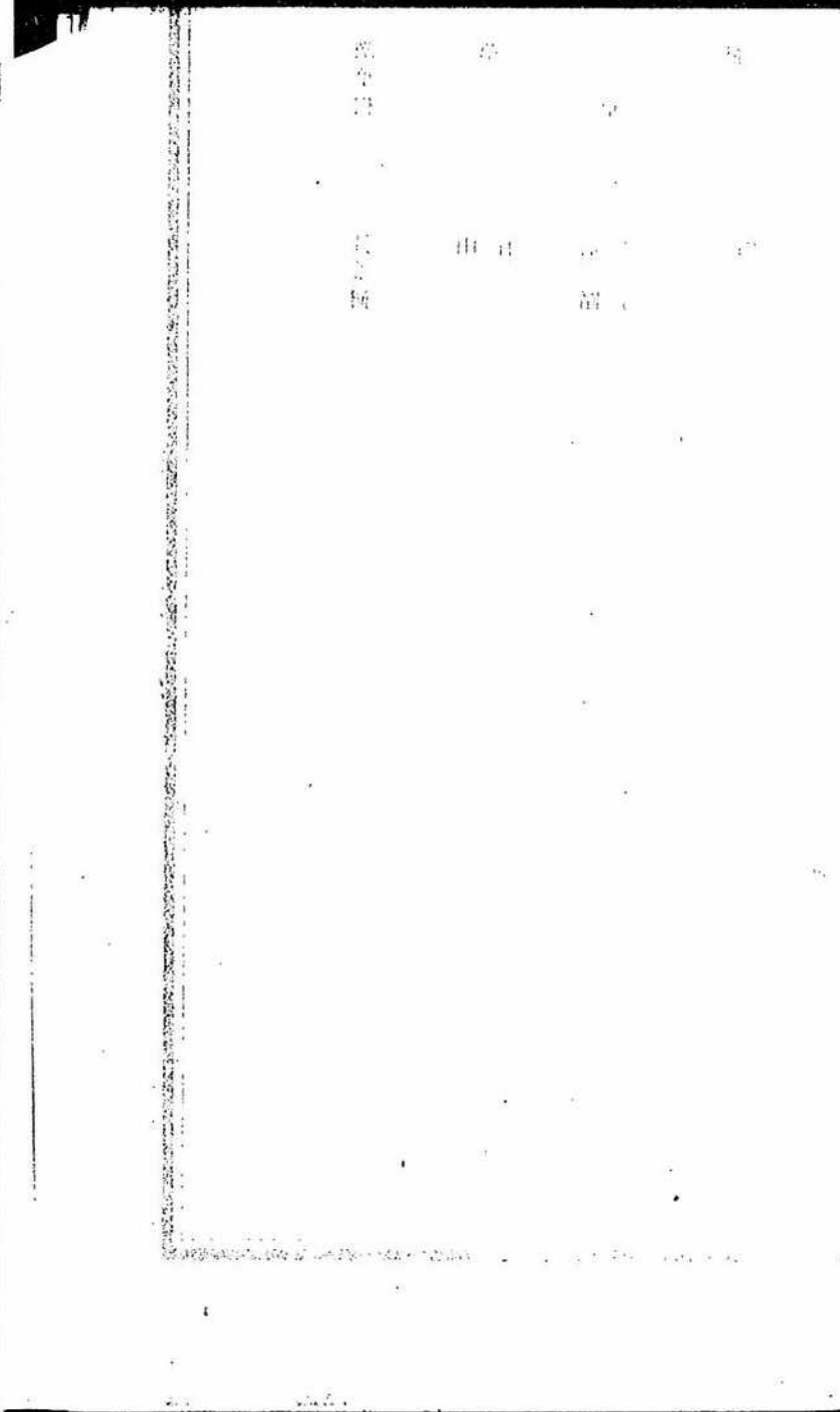
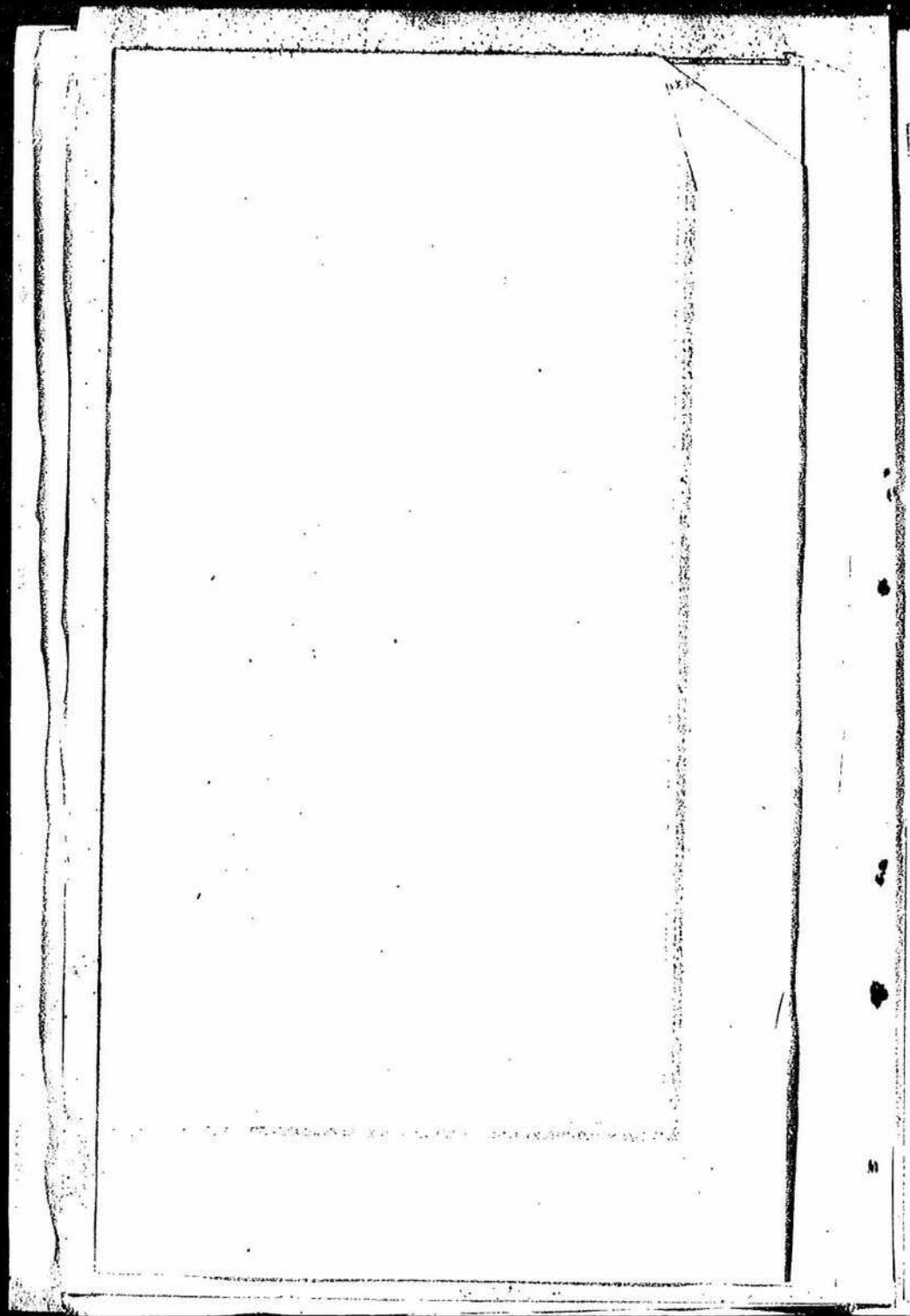


例九

	砂		川岩
	湿地		人道 家路
	草		丘山
	酒葉樹		針葉樹

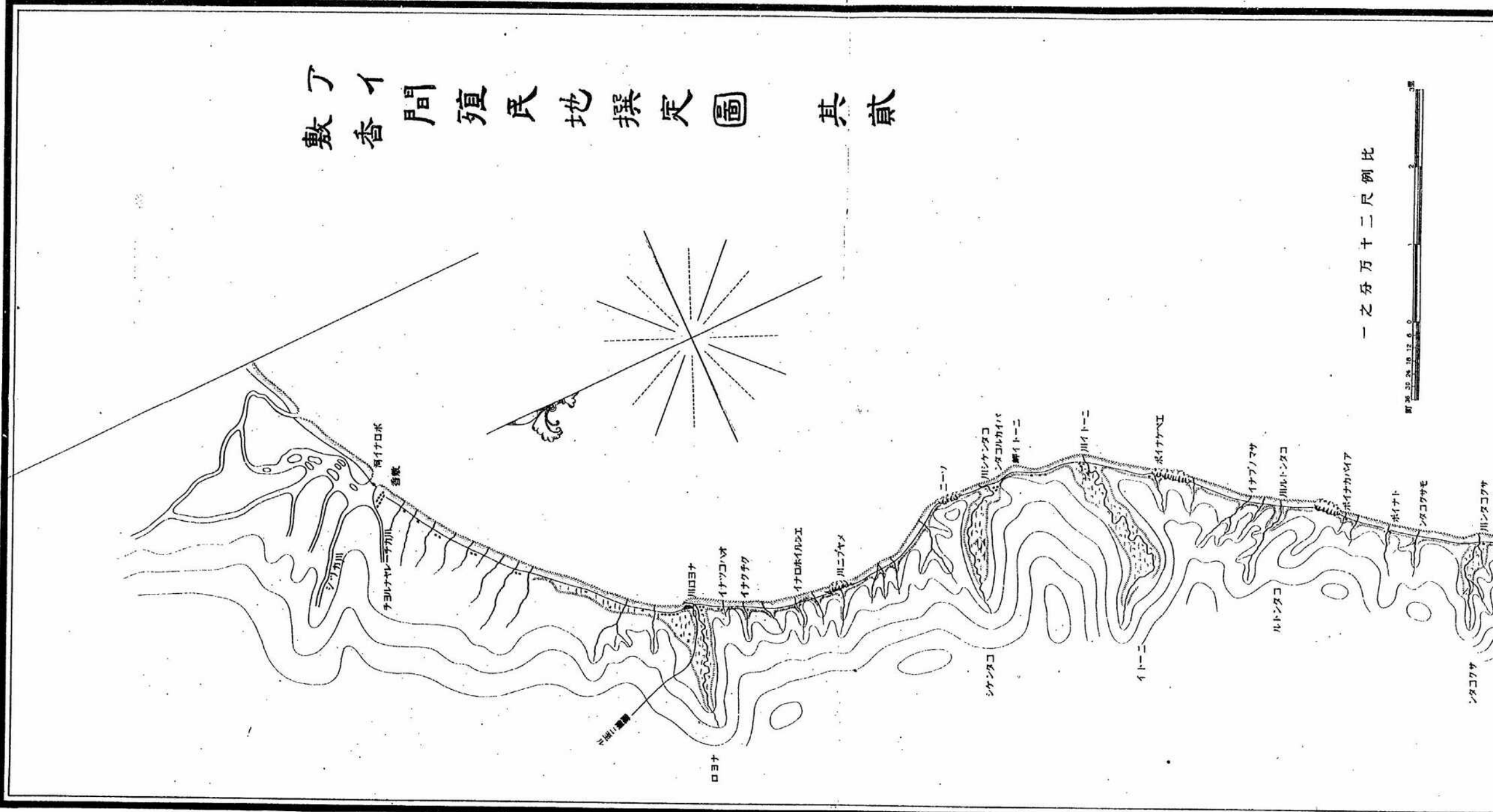


裏面白紙





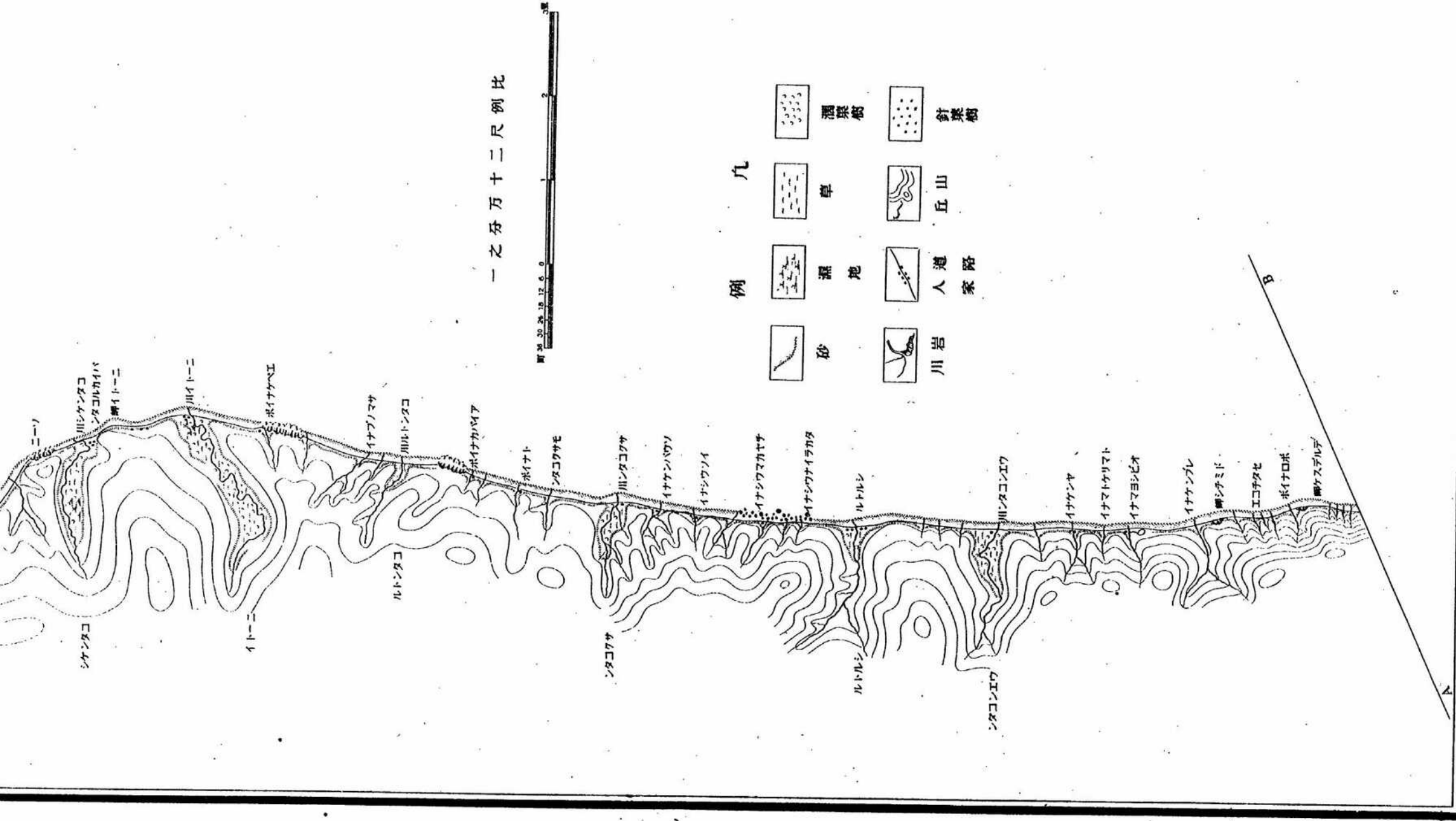
# 其貳 圖定地民殖問香丁 數



一之分万十二尺例比







一之分万十二尺例比



例 凡

- 砂
- 湿地
- 草
- 酒粟藪
- 川岩
- 人進家路
- 丘山
- 針葉樹

裏面白紙



樺太殖民地撰定報文

1110

コタシ	1,000,000				1,000,000
ナヨロ	400,000	1,210,000			1,710,000
計	7,500,000	6,000,000			15,000,000

即ち總面積一千四百三萬一千坪内農耕適地七百九十五萬一千坪牧場適地六百八萬坪ニシテ海岸線ノ延長ニ比シ撰定地積狭少ナルノ感アリト雖之レ交通地勢ノ關係上開發容易ナル地ヲ先ツ撰ヒタル爲メニシテ地方ノ漸次開闢セラルルト共ニ將來農牧ニ利用セラルヘキ地尙ホ尠カラス而シテ撰定地中農耕適地多キハ主トシテ河川沿岸ノ潤葉樹林地ナルカ爲メナリ本區域内ニ於ケル地勢ハ概ネ西方ヨリ東方ニ傾斜シ樺太山脈ヲ以テ西海岸ト向背ス河川ハ皆地勢ニ從ヒテ東流シ概ネ水勢急ナリ其大ナルモノヲ舉クレハ「アイ」(幅十五六間)「オタサン」(幅二十間)「マヌイ」(幅三十間)「マクシコタン」(幅四十間)「カシボ」(幅三十間)「ツエシコタン」(幅三十間)「シルトル」(幅四十間)「ニートイ」(幅三十間)「コタンケシ」(幅二十間)「ナヨロ」(幅十五六間)ノ十川ナリ河水ハ概シテ清澄ニシテ鱒ノ浜上多ク保護河川ナリ海岸線ハ五十七里ニ互ルト雖屈曲甚タ少ナク港灣ト稱スヘキモノナシ海岸ハ「アイ」ヨリ「シララカ」間ハ砂濱連続シ「ワール」「ホヤング」間ハ斷崖絶壁海ニ接シ著名ノ難所ナリ「ホヤング」「ナヨロ」間ハ山脚直ニ海ニ臨ミ或ハ高臺ノ先端斷絶シテ峭壁ヲ爲シ或ハ緩傾斜ヲナシテ狭キ砂濱ナルアリ「ナヨロ」敷香間ハ一帯平坦ナル砂地ニシテ通行最モ容易ナリ

本區域内ニ於ケル交通路ハ「ドブキ」ヨリ海岸ニ沿ヒ敷香ニ至ルモノト「マヌイ」ヨリ西海岸「クシエシナイ」ニ至ル山道トアリ海岸線ハ未タ修築シタル道路ナク纒ニ海濱ヲ往復スレトモ「ワール」「マクシコタン」間ハ通行最モ困難ナリ河川中渡船場アルハ十二箇所ニシテ官設驛遞所ハ「アイ」「シララカ」「チカボロナイ」「マクシコタン」「シルトル」「ニートイ」敷香ノ七箇所ニアリ「マヌイ」ヨリ「クシエシナイ」ニ至ル山道ハ八里中間ニ驛遞所アレトモ道路ハ露領時代ヨリ修築セズ橋梁破損シ路傍雜草繁茂シ且ツ濕潤ナル箇所多キヲ以テ通行困難ナリ

海上ハ五月ヨリ十一月間「シララカ」「フレチシ」敷香ニ毎月數回定期船ノ寄港アリ又各地漁場ニ出入スル帆汽船少ナカラス且ツ海波靜穩ノ時ハ各地間小舟ヲ以テ交通スルカ故ニ敢テ不便ヲ感セサルモ冬期ハ全ク航海杜絶ス

前述ノ如ク海陸ノ交通未タ不便ナルヲ以テ此地方ヲ開發スルニハ陸路ヲ修築シ定期船ノ寄港ヲ増加スルヲ急務ナリトス

四十二年八月末「アイ」敷香間ニ於ケル「アイヌ」人ノ現住者ハ總計七十戸三百五十五人ニシテ「アイ」「オタサン」「シララカ」「マヌイ」「オハコタン」「カシボ」「シルトル」「ニートイ」「コタンケシ」「ナヨロ」等ヲ主ナル部落トス此等ノ土人ハ漁獵ヲ以テ生活スレトモ近年不漁ノ爲メ生計困難ナルモノ多ク將來農耕ヲ獎勵スルノ必要アリ

邦人ノ居住スル處ハ「モットマリ」漁業區畫地ニ於ケル約三十戸最モ多ク之ニ次クハ「ナヨロ」ノ八戸ニシテ其他ハ各地ニ特許漁場ノ點在スルノミナリ

本區域内ニ於テ露領時代ニ經營セル舊部落ハ「マクンコタン」「シルトル」「ナヨロ」ノ三箇所ニシテ「マクンコタン」ニ十二戸「シルトル」ニ十戸「ナヨロ」ニ十七戸ノ残留家屋アリ「マクンコタン」ニハ四戸十六人ノ露人現住シテ狩獵耕作ニ從事シ「シルトル」ニハ驛遞ニ一戸使用セル外他ハ居住者ナクシテ廢頓シ「ナヨロ」ニハ八戸ノ現住アル外他ハ空屋ナリ以上三部落ニ於ケル露人經營ノ跡ヲ見ルニ「マクンコタン」「シルトル」ハ漁獵牧畜ヲ主トシ「ナヨロ」ハ附近既墾荒蕪地ノ狀態ヨリ見ルモ農牧ヲ主トシタルカ如シ

本區域ニ於ケル氣候ハ北知床半島ノ突出ニヨリ寒流直達セス西ハ山脈ヲ以テ限ラレ各地河川ト山地トノ關係ニヨリ風當リ甚シカラス比較的溫暖ニシテ南部ハ内淵地方ニ同シク北部「ナヨロ」地方亦之ニ大差ナシ敷香測候所ノ觀測ニヨル氣象ノ大略ヲ舉クレハ春霜ハ四十一年ハ六月二十日四十二年ハ六月十七日ニ終リ秋霜ハ四十一年ハ十月二日四十二年ハ十月四日ニ來リ初雪四十一年ハ十月十九日四十二年ハ十月二十三日終雪四十一年ハ五月二十四日四十二年ハ五月二十五日ニシテ融雪期ハ四十一年ハ四月二十四日四十二年ハ五月十二日ナリ風向ハ冬期ハ北若クハ北西夏期ハ南又ハ南東多ク冬期最低溫度零下三十一度(四十一年)零下三十九度(四十二年)夏期最高溫度三十三度(四十二年)ニシテ一月最モ寒ク八月最モ暑シ濃霧ハ五月ヨリ八月マテハ一箇月數日アレトモ其他ノ月ニハ殆ト之ヲ見ス

以上ノ狀態ニヨレハ略内淵原野ト同等ノ程度ニ利用スルヲ得ヘシト雖交通不便ナルヲ缺點トス而シテ此ノ地方ニ於テハ未タ廣ク農牧ヲ經營セルモノナク僅ニ自家用蔬菜若クハ麥類ヲ耕作セルノミナレトモ最北ノ「ナヨロ」ニ於ケル耕種ノ結果ヲ見レハ裸麥馬鈴薯及普通ノ蔬菜類ハ完全ニ成育スルコト疑ヲ容レス

### 第一節 アイ原野

**位置及地勢** 本原野ハ「ドブキ」ヲ距ル北四里ノ地ニアリ西ハ山ヲ繞ラシ東ハ海ニ臨ミ北ハ針葉樹林ヲ界トシ南ハ「アイ川」ヲ隔テテ「ナイプチ」原野ニ連リ地勢概ネ平坦ニシテ農耕ニ適ス

**面積** 總面積百二十一萬坪 農耕適地

**土性及植物** 概ネ粘質壤土ヨリ成リ原野ノ中央ヨリ西部ノ地ハ最モ肥沃ニシテ「はんのき」「やなぎ」等ノ下ニ「なつば」「ぼうな」「あざみ」「いらくさ」等ヲ生シ中央ヨリ東部海岸ノ地ハ濕地草原ニシテ「すげ」「よし」「あひぬわら」等ヲ生ス

**排水水害及用水** 本地ハ海岸附近ニ於テ高ク堤塘狀ヲ爲シ溜水停滯シテ濕潤ナル所多クレハ數條ノ排水ヲ設クルノ必要アリ「アイ川」ハ稍々清潔ニシテ飲料ト爲スコトヲ得ヘシト雖其他ノ小川ハ



沼澤シテ飲料ニ適セス

交通及市場 「ドブキ」ニ至ル南四里間ハ車馬共ニ交通便ニシテ日用物資ハ同地ニテ購求スルコトヲ得ヘシ

### 第二節 イタタクスナイ撰定地

本地ハ「ドブキ」ヲ距ル北六里「イタタクスナイ」川沿岸ノ地ニシテ西南北ノ三方山ヲ繞ラシ東方僅ニ開ケテ海ニ面ス面積十六萬坪概ネ砂質壤土ニシテ「やなぎ」「はんのき」ノ下ニ「ぼうな」「いらくさ」「あさみ」「ふさ」等ヲ生シ地味肥沃農耕ニ適ス「イタタクスナイ」川ハ清冽ニシテ飲料ニ供スヘク「ドブキ」ニ至ル海岸ハ能ク車馬ヲ通シ日用品ハ同地ヨリ購入ス

### 第三節 オタサン撰定地

本地ハ「ドブキ」ヨリ北八里「シララカ」ヨリ南五里「オタサン」川兩岸ノ地ニシテ面積四十六萬坪「あかだも」「やなぎ」「はんのき」ノ疏林ニ「ななつば」「ぼうな」「いたどり」「いらくさ」「あさみ」「ふさ」等ヲ生セル砂質壤土ニシテ地味肥沃農耕ニ適ス河水ハ飲料ニ適シ「ドブキ」「シララカ」ニ至ルニハ車馬ノ通行安全ニシテ兩所トモ日用品ヲ辨スルコトヲ得ヘシ

### 第四節 ボロナイ撰定地

本地ハ「シララカ」ノ南三里「ボロナイ」川沿岸ノ地ニシテ面積二十六萬坪「やなぎ」「はんのき」ノ疏林ニ「ななつば」「ぼうな」「いたどり」「いらくさ」「ふさ」等ヲ生スル砂質壤土ニシテ地味良好農耕ニ適ス河水ハ清澄ニシテ飲料ニ供スルコトヲ得ヘク「シララカ」ニ至ルニハ車馬ヲ通シ同地ニハ郵便局驛遞雜貨商等アリテ日用物資ヲ辨スルコトヲ得ヘシ

### 第五節 マヌイ原野

位置及地勢 本原野ハ「マヌイ」川沿岸ノ地ニシテ地勢西北ニ延長シ下流ハ概ネ平坦ナル樹林濕地ニシテ上流ノ大部分ハ燒跡地ノ傾斜面ヨリ成ル河川沿岸ハ地味肥沃ニシテ多少ノ農耕適地アレトモ概シテ牧場適地ナリトス

面積 總面積三百二十四萬坪 牧場適地

土性及植物 河川沿岸ノ地ハ褐色壤土一尺乃至一尺七寸ノ下層粘土ヨリ成リ傾斜面ノ燒跡地ハ上層一二寸ノ腐植土ノ下層質粘土或ハ赤褐色礫質粘土ヨリ成リ濕地ハ概ネ腐植土一尺乃至一尺五六寸ニシテ下層ハ一般粘土ナリ所生植物ハ「はんのき」「やなぎ」最モ多ク「しらかんば」「にはとこ」「さん

ざし「ななかまど」之ニ次キ下流ニ至レハ落葉松ヲ混生セリ下草ハ「ななつば」ぼうな「あざみ」ふき「よもぎ」あいなわら「えぞにら」ノ類ニシテ燒跡地ニハ多ク「あいなわら」ヲ生ス

排水水害及用水 下流ニ於ケル湿地ニハ排水ヲ施スノ要アリ「マヌイ」川ハ幅七八間乃至十間水清澄ニシテ飲料ニ適シ又水害ノ形跡ヲ認メス

交通及市場 本地ハ「マヌイ」ヨリ西海岸「クシユンナイ」ニ通スル道路沿ニ在リ現今ハ露領時代ヨリノ徑路ニ依リ交通セルモ駄馬ヲ通スルコト能ハス

「マヌイ」ヨリ「クシユンナイ」ニ至ル八里「シララカ」ニ至ル二里ニシテ日用物資ハ同地ヨリ仰カサルハカラス

### 第六節 ナカボロナイ原野

位置及地勢 本地ハ「マヌイ」ヲ距ル北四里「チカボロナイ」川沿岸及左右ノ高臺地ヨリ成リ東方ノ一部僅ニ開キテ海ニ面シ他ハ悉ク低山ヲ以テ圍繞セラル高臺地其大部分ヲ占メ地勢高低起伏アレトモ牧場ニ適シ平坦ニシテ農耕ニ適スルハ「チカボロナイ」川沿岸ノ潤葉樹林ノミナリ

面積 總地積百四十四萬坪

内譯

三十一萬坪

農耕適地

百十三萬坪

牧場適地

土性及植物 河川沿岸ノ地ハ粘質壤土一尺四五寸乃至二尺アリテ最モ肥沃ナリ高臺及傾斜地ハ概シテ腐植土二寸ノ下壤質粘土或ハ礫質粘土ヨリ成リ下流ニ於ケル濕潤地ハ腐植土一尺乃至一尺五六寸下層褐色粘土ナリ

所生植物ハ河川沿岸ハ「やなぎ」「はんのき」「しらかんば」にはとこ「ぼうな」「ななつば」「あざみ」「あいなわら」「よもぎ」「すげ」「さくらさ」ノ類トシ高臺地ハ多ク針葉樹林ノ燒跡地ニシテ「あいなわら」ヲ生シ湿地ニハ「あいなわら」「くさそてつ」ノ類ヲ生ス

排水水害及用水 「チカボロナイ」川ハ幅六七間アリテ飲料ニ適シ沿岸水害ノ跡ヲ認メス下流ニ於ケル湿地ニハ排水溝ヲ設クルノ必要アリ

交通及市場 本地ヨリ南「ワール」ニ至ル三里半北「マグンコタン」ニ至ル六里二十八町アリ此間海岸ハ巖絶壁ニシテ全ク通行スル能ハス山道ハ露領時代ニ開鑿セシモノナルモ其後修理ヲ爲ササル爲メ橋梁破損シ路傍ノ雜草ハ其高サ丈餘ニ達シ通行頗ル困難ナルヲ以テ海波靜穩ノ日ヲ待チテ舟行ヲ爲スモノ多シ

「チカボロナイ」河口ニ特許漁場及官設驛遞アリ日用物資等ヲ辨スルニハ現今甚タ不便ナリ

第七節

チカボロナイ  
間撰定地

本地ハ「マグンコタン」「チカボロナイ」間ノ道路ニ沿ヒ「マグンコタン」川支流沿岸ノ狭長ナル潤葉樹林ニシテ延長三千間幅百間乃至二百間アリ地味肥沃農耕ニ適ス面積四十七萬坪土性ハ概シテ上層二三寸ノ腐植土ノ下褐色粘質壤土或ハ淡黑色壤土一尺乃至二尺ニシテ下層ハ粘土ヨリ成ル所生植物ハ「やなぎ」「はんのき」「しらかんば」にはとこ等ノ下ニ「あいぬわら」「ぼうな」「あざみ」「よもぎ」「えぞにう」「いらくさ」「ふき」等アリテ其高サ丈餘ニ達ス

本地内ニ於ケル河川ハ清澄ニシテ飲料ニ適ス本地ヨリ山道約一里半ニシテ「マグンコタン」ニ至ルヘク同地ヘハ交通容易ナルモ南方「ワール」ニ至ル間ハ通路險惡ニシテ困難ナリ「マグンコタン」ニハ巡查駐在所官設驛遞及殘留露人四戸現住シ露人ハ牛馬四頭ヲ所有シ宅地附近ニ麥類馬鈴薯ヲ耕作シ秋冬ノ候ハ狩獵ニ従事セリ

第八節

カシボ撰定地

本地ハ「カシボ」川沿岸ノ地ニシテ面積僅ニ十二萬坪ノ小地積ニ過キサレトモ地味肥沃農耕ニ適ス全地平坦ナル潤葉樹林ニシテ上層腐植土二三寸ノ下褐色壤土七八寸乃至一尺二三寸ニシテ下層ハ礫質粘土

ナリ所生植物ハ「やなぎ」「しらかんば」類ニ下草ハ「ぼうな」「ななつば」「あざみ」「よもぎ」「ふき」等ヲ生ス

「カシボ」川ハ飲料ニ適シ同河口ニ「アイヌ」人五戸居住スル外邦人ハ未タ在住セス交通及物資ノ供給共ニ不便ナリトス

第九節

ウエンコタン原野

位置及地勢 本原野ハ敷香ヲ距ル南二十一里餘「ウエンコタン」川沿岸ノ地ニシテ東南ハ海ニ面シ他ハ山ヲ以テ圍マル概ネ平坦ナル潤葉樹林ニシテ地味良好農耕ニ適ス

面積 總地積六十二萬坪 農耕適地

地味及植物 土性ハ概ネ粘質壤土一尺四五寸乃至二尺ノ下粘土又ハ砂礫ナリトス所生植物ハ「やなぎ」「はんのき」「にはとこ」「しらかんば」「あいぬわら」「とくさ」「よもぎ」「しらくさ」「ぼうな」「ななつば」等繁茂ス

排水水害及用水 「ウエンコタン」川ハ二十四五間乃至三十間アリ河底砂礫ヨリ成リ水清クシテ飲料ニ適シ水害ノ憂ナク又鱒ノ湖上多ク保護河川ナリ

交通及市場 本地ヨリ敷香ニ至ル海濱ノ砂道ハ人馬ヲ通スレトモ此間特許漁場ノ點在セル外殆

ト居住者ナク物資ノ供給ハ甚タ不便ナリ

### 第十節 シルトル撰定地

本地ハ敷香ヲ距ル南方二十里「シルトル」川沿岸ノ平地ナレトモ地勢河口ヨリ八百間ノ上流ニ至レハ急ニ狭マリ兩岸絶壁トナレルヲ以テ地積僅ニ二十三萬坪ニ過キス所生植物ハ「ウエンコタン」原野ト大差ナク肥沃ニシテ農耕ニ適セリ

「シルトル」川ハ清澄ニシテ鱒ノ浜上多ク保護河川タリ  
本地ヨリ敷香ニ至ル海濱ハ人馬ヲ通スルモ漁期ヲ除ケハ全ク無人ノ境ニ等シキヲ以テ不便ナリトス

### 第十一節 サクコタン撰定地

本地ハ敷香ヲ距ル南十六里半「サクコタン」川沿岸ノ狭長ナル地ニシテ地積二十九萬坪全部潤葉樹林ニシテ地味肥沃農耕ニ適ス  
土性及所生植物交通市場ノ状態等ハ「シルトル」原野ト大差ナク「サクコタン」川ハ清冽ニシテ飲料ニ供スルコトヲ得ヘシ

### 第十二節 ボンコタン撰定地

本地ハ敷香ヲ距ル南約十三里半「ボンコタン」川沿岸ノ潤葉樹林ニシテ地積七萬五千坪地味肥沃ニシテ農耕ニ適ス土性所生植物交通市場ノ状態ハ「サクコタン」ニ大差ナシ

### 第十三節 ニートイ原野

位置及地勢 本地ハ敷香ヲ距ル南十一里餘「ニートイ」川左右沿岸ノ平地ニシテ東ハ濶ケテ海ニ面シ他ハ悉ク低山ヲ以テ圍繞セラル地勢西方ニ布延シ延長約四千間幅二百五十間ヨリ廣キハ六百間ニ達ス

面積 總面積百八十八萬六千坪 農耕適地

土性及植物 土性ハ河畔一部ノ砂礫土ヲ除クノ外ハ一般其質細微ニシテ粘力アル沖積土一尺五寸乃至二尺四五寸下層粘土或ハ砂礫ヨリ成リ頗ル肥沃ナリトス所生樹木ハ「やなぎ」「どろのき」「はんのき」最モ多ク「かば」「にはとこ」「さんざし」「しゆり」之ニ次キ下草ハ「あひぬわら」「しらくさ」「ななつば」「ぼらな」とくさ「よもぎ」「あざみ」ノ類トス

排水水害及用水 全地殆ト排水ヲ施スノ要ナク「ニートイ」川ハ幅二十五六間乃至三十間アリ



水勢急ナルヲ以テ舟楫ヲ用フヘカラサルモ木材ノ管流ニハ便ナリ河水ハ清澄ニシテ飲料ニ適スレトモ沿岸ノ地ハ融雪霖雨ノ際多少浸水ノ憂アル箇所アリ

交通及市場

本地ヨリ敷香ニ至ル十一里ノ海濱ハ人馬ヲ通スヘク物資ハ同市街ヨリ購入セサルヘカラス「ニートイ」河口ニ「アイヌ」人四戸河口ヲ距ル北十町ノ「トイクシ」ニハ巡查駐在所官設驛遮所特許漁場及「アイヌ」人二戸現在セリ

第十四節 コタンケシ原野

位置及地勢

本地ハ敷香ヲ距ル南約十里「コタンケシ」川沿岸ノ平地ニシテ東ハ海ニ臨ミ他ノ三方ハ針葉樹林ノ低山ヲ以テ圍マル地勢西北ニ延長シ長サ約三千間幅廣キ處ニ於テ五百餘間アリ潤葉樹林大部分ヲ占メ地味概シテ良好ナリ

面積

總面積百三萬坪 農耕適地

地味及植物

「ニートイ」原野ニ大差ナシ

排水水害及用水

「コタンケシ」川ハ幅十五六間水流急ニシテ舟楫ニ便ナラサルモ清冽ニシテ飲料ニ適シ沿岸水害ノ形跡ヲ認メサルモ所々流木ノ停滯セルモノアルヲ以テ之ヲ除去セサルヘカラス又鱈「やまめ」「うごひ」「いわな」等ノ魚類ヲ産ス

交通及市場

敷香ニ至ル海岸ハ人馬ノ交通安全ニシテ物資ハ同地ヨリ仰カサルヘカラス「コタンケシ」河口ニ「アイヌ」人三戸現住内一戸ハ渡船業ヲ營メリ

第十五節 ナヨロ原野

位置及地勢

本原野ハ敷香ヲ距ル南約四里半「ナヨロ」川沿岸ノ潤葉樹林並ニ其左岸ノ臺地ヨリ北方海岸ニ布延スル草原地ヨリ成リ東ハ一圓海ニ面シ他ハ針葉樹林ヲ以テ限ラル地勢一般平坦ナルモ地味肥沃農耕ニ適スルハ「ナヨロ」川沿岸ノ地ニシテ他ハ牧場地ト爲スヲ適當トス

面積

總地積二百五十四萬坪

内 譯

農耕適地 八十三萬坪  
牧場適地 百七十一萬坪

土性及植物

「ナヨロ」川沿岸ノ地ハ河畔一部ノ砂礫土ヲ除キ他ハ概ネ褐色壤土ニシテ其深サ一尺五六寸乃至二尺七八寸アリテ地味肥沃ナリト雖臺地ハ一般上層腐植土一二寸ノ下壤質粘土ニシテ地味良好ナラス又海岸ノ草原地ハ砂礫土ヨリ成リ其針葉樹林ニ接スル部分ハ濕潤ニシテ腐植土七八寸ヨリ一尺四五寸ニ及フ處アリ

河岸ノ地ハ「やなぎ」「どろのき」「はんのき」「しゆり」「しらかんば」「にはとこ」「ななかまど」等ノ樹林ニ「あひぬわら」「しらくさ」「あざみ」「よもぎ」「ななつば」「ぼうな」等ノ雜草繁茂シ臺地ハ「とどまつ」「えぞまつ」ノ針葉樹林地ト其燒跡地ト相半シ燒跡地ニハ「あひぬわら」多シ海岸ノ草原地ハ「あひぬわら」「ヨマトシ」「はんのき」「やなぎ」等ノ矮樹點生ス

**排水水害及用水** 海岸ノ草原濕地ハ排水ヲ設クルノ必要アリ河畔ノ地ハ融雪期ニ水害ヲ被ムルノ虞アルヲ以テ所々ニ停滯セル流水ヲ除去スレハ其他ヲ減スルコトヲ得ヘシ「ナヨロ」川ハ幅十三四間アリ水流急ニシテ舟楫ノ便ナク河水ハ飲料ニ適ス

**交通及市場** 敷香ニ至ル四里半ノ海岸ハ車馬ノ交通容易ニシテ同地ニハ定期船ノ出入アリ二三有力ナル商舖アルヲ以テ物資ノ供給充分ナリ

又「ナヨロ」舊部落ニハ現住者八戸海岸ニ「アイヌ」人六戸商店一戸アリ日用ノ諸品ハ購求スルコトヲ得ヘシ

**氣候及農耕ノ状態**

「ナヨロ」舊部落ニハ露人殘留ノ家屋十七戸アリテ内八戸ノ現住者アリ概ネ漁夫和夫等ナレトモ二三戸ハ稻農耕ヲ主トシ其他モ多少蔬菜類ヲ栽培セリ作物ハ裸麥、馬鈴薯、甘藷、豌豆、蕪菁、葱、胡蘿蔔、牛蒡ノ類ニシテ其生育良好ナリ播種期ハ裸麥六月上旬馬鈴薯六月中旬其他ノ蔬菜類ハ五月中旬ヨリ順次播下シ裸麥ハ九月十日前後ニ收穫シ多キハ一段歩一石八斗ノ收量ア

リ馬鈴薯ハ一段歩四十俵ヲ産ス

霜雪ノ時期ハ例年初霜九月中旬終霜六月中旬初雪十月下旬若クハ十一月初旬ニシテ十二月中旬根雪トナリ翌年四月下旬融解ス

六月上旬ヨリ七月中旬ニ至ル間ハ屢々濃霧アル時期ナルモ四十二年ハ僅ニ四五回ニシテ農作物ニ障害ヲ及ホスコトナシト云フ

附

録

樺太野生植物  
(樹木)

名	種	學名	科名	所生地	備考
ととま(樺松)		<i>Abies sachalinensis</i> Mast.	松柏	山野乾燥地各所	建築用材、諸器具、製紙原料
えぞま(蝦夷松)		<i>Picea japonensis</i> Fisch	同上	ととまト混生ス	同上
あしえぞま(アシマ)		<i>Picea glehnii</i> Mast.	同上	同ルウタカ河域最も多シ	諸川材、造船材
ぐ(樺太落葉松)		<i>Larix dahurica</i> Turcz.	同上	山野濕地、東北部及亞	諸川材、薪、電柱
からふとわん(あららぎ)		<i>Taxus baccata</i> L. var. <i>Microcarpa</i> Trautv.	同上	庭園附近ニ最も多シ	常緑喬木又ハ小木
はいま(樺松)		<i>Pinus pumila</i> Pall.	同上	深山中及濕地	諸器具、床柱、庭園植込鉢植
はこやなぎ		<i>Populus tremula</i> L.	楊柳	高山、泥炭地、海邊、	常緑小葉
どろやなぎ(白楊)		<i>Populus suaveolens</i> Fisch.	同上	原野乾燥地	庭園植込、土人實ヲ食ス
びつこやなぎ		<i>Salix Caprea</i> L.	同上	河畔及山野、ボロナイ	落葉喬木、諸細工
えぞやなぎ		<i>Salix daphnoides</i> Vill.	同上	山野乾燥地各所	諸細工、皮ニテ草鞋繩ヲ作ル
ながはやなぎ		<i>Salix Aynea</i> Anders.	同上	河畔肥沃地各所	同上
さぬやなぎ		<i>Salix Viminalis</i> L.	同上	同	同
しらべ		<i>Betula alba</i> L. var. <i>Fyscia</i> Trautv.	樺木	河岸肥沃地各所	同
附録				山野乾燥地各所	諸細工、皮ハ附木代用トス



附録

やまはんのき	<i>Alnus incana</i> Willd.	樺木	河岸及湿地	落葉喬木 薪炭材、諸細工
けやまはんのき	<i>Alnus hirsuta</i> Turcz.	同上	同上	同上
みでまはんのき	<i>Alnus fruticosa</i> Ruprecht.	同上	山野乾燥地	同上
いらふとなら	<i>Quercus Mongolica</i> Fischl.	殼斗	山野海岸乾燥地	落葉喬木 薪炭、川材
おひょう	<i>Ulmus mandchuricus</i> Sm. var. <i>laetifolia</i> Trautv.	榆	内部山野林中	落葉喬木、薪炭、川材、 皮ハ、アツシクノ原料
あかだも(楠)	<i>Ulmus Compositus</i> Sm. var. <i>Valgaris</i> Planch.	同上	内部河野平野沃地	落葉喬木
やちだも(栲)	<i>Fraxinus Mandchurica</i> Rupr.	木犀	同上	薪炭、薪炭材、枕木、諸細工
なながまど	<i>Sorbus Aucuparia</i> L.	薔薇	山野林中各所	同上
おほらふんざし	<i>Betulae sanguinea</i> Pall.	同上	同上	落葉喬木 薪炭、小細工、庭園植込
しり	<i>Prunus Sauri</i> Fr. Schm.	同上	同上	落葉喬木 薪炭、小細工
みやまざくら	<i>Prunus Maximowiczii</i> Rupr.	同上	山野乾燥地 大泊附近最も多シ	落葉喬木 薪炭、小細工、庭園植込
やまざくら	<i>Prunus Pseudohirsuta</i> Lindl.	同上	西海岸真岡以南山野高 燥地	落葉喬木 器具、小細工、皮細工、蜜食
にはと(接骨木)	<i>Sambucus racemosa</i> L.	忍冬	各所	落葉灌木
こくわ(國條桃)	<i>Achindia arguta</i> Planch.	國條桃	亞庭灣沿岸及西海岸南 部	落葉蔓本 蔓ヲ挿メ代リトシ蜜ヲ食ス
ひまぶた(山葡萄)	<i>Vitis Colquhounii</i> Pulliat.	葡萄	西海岸南部	同上
はりぞ(山椒)	<i>Kalopanax ridinifolium</i> Miq.	五加	河野平野、亞庭灣沿岸 及西海岸南部	落葉喬木 建築、造船、川材

(草木)

しんた(紫)	<i>Phellodendron Amurense</i> Rupr.	芸香	同上	落葉喬木 建築用材、皮ハ染料
いたぶ(く)	<i>Acer Mono Maxim.</i>	無患樹	同上	落葉喬木 薪炭材、農具ノ柄、小細工
はまなす	<i>Rosa rugosa</i> Thunb.	薔薇	海岸砂地	果實ヲ食ス、根ハ染料
たがれごぼら	<i>Rosa acicularis</i> Lindl.	同上	山野及海岸	同上
らふふごぼら	<i>Rosa daurica</i> Pall.	同上	同上	同上
ほろむしごじ	<i>Lyonia Calyculata</i> Reichb.	石南	山野卑湿地	同上
いとつじ	<i>Lyonia Palustris</i> L. var. <i>dilatatum</i> Vahl.	同上	同上	同上
こひし	<i>Vaccinium Vitis Idaea</i> L.	同上	山地	果實ヲ食ス

よ	<i>Artemisia Valgaris</i> L. var. <i>indica</i> Maxim.	敗醬	原野沃地	葉四尺 飼料 嫩葉ヲ餅ニ入ル
な	<i>Cacalia hirsuta</i> L.	菊	同上	葉七八尺 嫩芽ヲ食ス
はな	<i>Senecio palnatus</i> Pall.	同上	同上	葉七八尺 嫩芽ヲ食ス
ふ	<i>Petasites Japonicus</i> Miq.	同上	同上	葉柄五六尺 嫩葉柄ヲ食ス
えぞ	<i>Christum Weyrichii</i> Maxim.	同上	同上	葉長七八尺 嫩芽ヲ食ス
さ	<i>Cissium Pochellum</i> A. Gr.	同上	同上	葉長四五尺 嫩芽ヲ食ス

附録

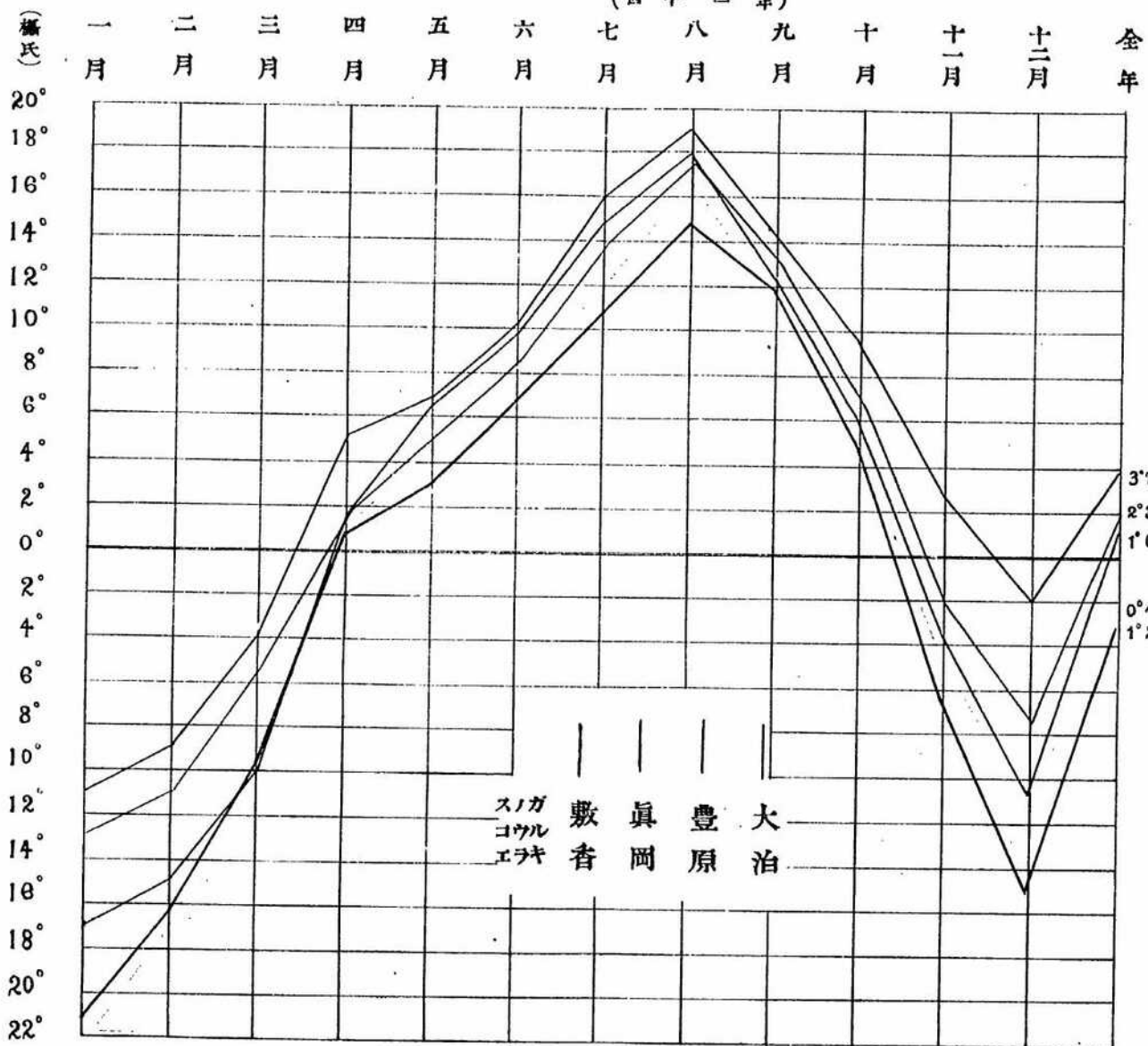
いんげん(豆)	Polygonum siechalinensis Fr. Schmidt.	蓼	原野及海岸	莖一丈餘 嫩芽ヲ食ス
いんげん(豆)	Urtica Thunbergiana N. et Z.	蕨	原野沃地	莖四五尺刺アリテ觸ルレハ疼痛ヲ感ス 葉ヨリ纖維ヲ採ル、嫩葉ヲ食フ
いんげん(豆)	Iyschit on Kuntschense Schott.	天南星	原野沼地	早春白色ノ一瓣ヲ抽ク
いんげん(豆)	Symplocarpus foetidus Schieb.	同上	同上	早春暗紫色ノ一瓣ヲ抽ク
いんげん(豆)	Equisetum hyemale L.	木賊	原野沃地ノ陰地	莖二尺 牛馬飼料
いんげん(豆)	Phragmites Communis Trin.	禾木	原野湿地	莖長六七尺 屋根葺等ニ用フ
いんげん(豆)	Torreya Nudifera S. et Z.	同上	山野高燥地	莖長四五尺
いんげん(豆)	Calamagrostis sp.	同上	山野各所	牛馬飼料、木鳥ニ最も豊富ナリ
いんげん(豆)	Struthiopteris germanica Willd.	羊齒	山野陰地	莖三四尺 嫩芽ヲ食ス
いんげん(豆)	Pteridium aquilinum Kuhn.	同上	山野乾燥地	同上
いんげん(豆)	Caltha palustris L. var. typica Rgl.	毛茛	卑湿地	莖一尺内外、春黄花ヲ開ク 嫩葉ヲ食ス
いんげん(豆)	Aconitum Fischeri Reicht.	同上	原野陰地	莖四五尺、秋藍色ノ花ヲ開ク 花莖根共大毒アリニ用フ
いんげん(豆)	Angelica urticata Maxim.	嫩形	原野沃地	莖七八尺
いんげん(豆)	Anthriscus nemorosa Spreng.	同上	原野肥沃ノ陰地	莖一二尺 嫩葉ヲ食フ
いんげん(豆)	Sasa kurilensis Mak. et Shim.	禾木	山野乾燥地	同上
いんげん(豆)	Filipendula multijuga Maxim.	薔薇	山野各所	同上

いんげん(豆)	Carex sp.	莎草	原地	莖長二三尺 編、漚、草履等ヲ作ル 根ヲ薬用トス
いんげん(豆)	Thalictrum aquilegifolium L.	毛茛	山野乾燥地	花ヲ管シ根ハ薬用
いんげん(豆)	Paeonia obovata Maxim.	同上	山野乾燥地	莖長二三尺、秋藍色ノ花ヲ開ク 牛馬飼料
いんげん(豆)	Viola cracca L. var. Japonica Mig.	荳	原野	同上
いんげん(豆)	Amphispiza Edgeworthi Benth.	荳	原野	同上
いんげん(豆)	Coelopleurum Gmeline Ledeb.	嫩形	山野陰地	莖二三尺 皮ヲ去リ生食ス
いんげん(豆)	Heracleum Lanatum Michx.	同上	原野沃地	莖五六尺 皮ヲ去リ生食ス
いんげん(豆)	Araliacordata Th.	土當歸	山野林中	莖五六尺 嫩芽ヲ食ス
いんげん(豆)	Iris sibirica L.	芍薬	原野湿地	莖一二尺 夏紫花ヲ開ク
いんげん(豆)	Cetraria islandica Ach.	地衣類	泥炭地	馴鹿ノ飼料
いんげん(豆)	Chiodia fragiferina Web.	同上	同上	同上
いんげん(豆)	Usnea longissima Ach.	同上	同上	同上



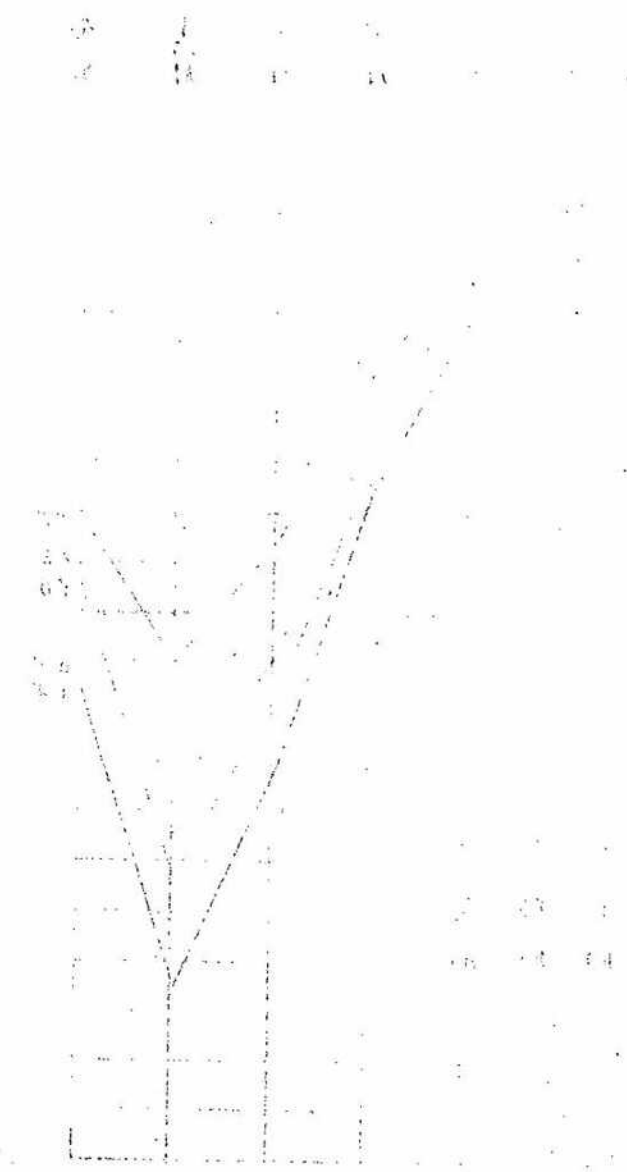
# 平均気温

{ 三十九年 }  
 { 四十年 }  
 { 四十一年 }



裏面白紙





自三十九年  
至四十一年三箇年間平均氣溫表

(攝氏)

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年	高極	低極
大泊	(-) 三三	(-) 二二	(-) 一五	一六	二二	二八	三三	三九	三三	二八	二二	(-) 一五	(-) 一三	三九	(-) 一三
豊原	(-) 二七	(-) 一五	(-) 一〇	一八	二五	三二	三九	三三	二八	二二	(-) 一五	(-) 一〇	(-) 一〇	三九	(-) 一三
眞岡	(-) 一〇	(-) 九	(-) 一〇	一四	二〇	二六	三二	三三	二八	二二	(-) 一五	(-) 一〇	(-) 一〇	三九	(-) 一三
スガキノツラ	(-) 三三	(-) 二五	(-) 一八	二二	二八	三三	三九	三三	二八	二二	(-) 一五	(-) 一〇	(-) 一〇	三九	(-) 一三
香	(-) 三三	(-) 二五	(-) 一八	二二	二八	三三	三九	三三	二八	二二	(-) 一五	(-) 一〇	(-) 一〇	三九	(-) 一三
數	(-) 三三	(-) 二五	(-) 一八	二二	二八	三三	三九	三三	二八	二二	(-) 一五	(-) 一〇	(-) 一〇	三九	(-) 一三

備考

ガルクノウラスコエ、敷香ハ四十一年一箇年ノ観測ニ依ル

(一)ハ零點以下ヲ示ス

高極低極トハ三箇年中ニ於ケル最高最低溫度ヲ示ス

附録



平均湿度(%)

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
大泊	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
眞岡	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
ガレキノワラス	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
コエノワラス	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
香	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55

備考 本表ハ四十一年ノ観測ニ依ル

降水量(總量耗)

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
大泊	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
眞岡	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
ガレキノワラス	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
コエノワラス	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
香	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

備考 本表ハ四十一年ノ観測ニ依ル

日照時(總計時間)

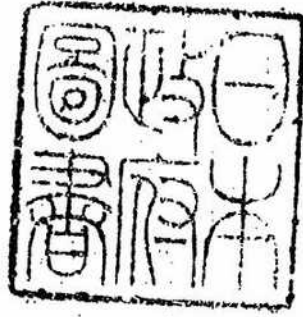
地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
大泊	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
眞岡	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
ガレキノワラス	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
コエノワラス	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
香	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150

備考 本表ハ四十一年ノ観測ニ依ル

重要農作物播種收穫期節粒收量表

作物名	播種期	收穫期	段當收穫概量
大豆	自五月上旬至同下旬	九月上旬	一石二斗
粟	同上	八月下旬	一石二斗
春小	同上	九月中旬	一石二斗
秋小	自八月下旬至九月上旬	九月上旬	一石二斗
燕麥	自五月上旬至同下旬	九月中旬	二石五斗
附録	同上	同上	一石二斗





馬	蹄	春	養	附
鈴		時		錄
		勞		
薯	豆	苦	麥	
同	自	自	自	
上	五	五	六	
	月	月	月	
	上	上	上	
	旬	旬	旬	
	至	至	至	
	同	同	同	
	下	中	中	
	旬	旬	旬	
九	同	同	九	
月			月	
上			中	
旬	上	上	旬	
四	一	一	一	三
百	石	石	石	
貫	百	五	斗	

明治四十三年五月廿七日印刷  
 明治四十三年五月三十日發行

樺太廳第二部拓殖課

印刷者 手塚 猛 昌  
 東京市京橋區館屋町十五番地

印刷所 東洋印刷株式會社  
 東京市芝區愛宕町三丁目二番地